審査意見への対応を記載した書類（6 月）

（目次）　情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

1. 【全体計画審査意見１・３の回答について】
＜カリキュラム・ポリシーと養成する人材像との対応関係が不明確＞
カリキュラム・ポリシーに基づいた教育で養成する人材像がもつ能力を習得できるか不明確である。例えば、「データベースの原理・考え方や基本構造を理解している」とあるが、必修科目の「データベース」のみの履修では養成する人材像が備える能力を修得できないことが考えられる。再度カリキュラムや科目設定を改めると同時に、必要に応じてカリキュラム・ポリシーも改めること。 1
2. 【全体計画審査意見２・４の回答について】
＜卒業要件とディプロマ・ポリシーとの対応関係が不明確＞
履修モデルに示す科目は選択必修科目となっておらず、学生が履修モデル通りの科目を実際に履修をするかについて疑義があり、履修モデルと異なる履修状況での卒業も考えられるため、設定する卒業要件を満たすことでディプロマ・ポリシーを実現できるか不明確である。卒業要件とディプロマ・ポリシーの対応関係を説明するとともに、必要に応じてディプロマ・ポリシー及び卒業要件を改めること。 49
3. 【全体計画審査意見５の回答について】
＜アドミッション・ポリシーで求める人材が不明確＞
アドミッション・ポリシーの説明において、①②と③若しくは④の項目に当てはまる者を受け入れる方針とあるが、４つの項目の幾つかに当てはまれば良いのか、それとも、４つ全ての項目に当てはまれば良いのか、明確にすること。 92
4. 【全体計画審査意見１０の回答について】
＜展開科目の必修・選択の設定が不適切＞
展開科目におけるグローバルコミュニケーション科目群について、学生は必修科目「ビジネス英語Ⅰ～Ⅳ」のみ履修し、選択科目を履修しなくとも外国人と協働して仕事をするための能力を身に付けることができるのか不明確なため、明確にすること。例えば、「実践英語（製造業やファイナンス）」や「英語プレゼンテーション」は養成する人材像を踏まえると、重要な科目であると考えられる。展開科目の必修・選択の履修区分を含め、科目の設定を修正すること。その際にはディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとの整合性についても留意すること。 95
5. 【全体計画審査意見１２の回答について】
＜臨地実習の計画が不適切＞
臨地実務実習について、目的である「イノベーション人材としてのスキルを修得させる」ことが達成できる計画となっているか疑義があるため、以下の２点を明らかにすること。

……111
（1）臨地実務実習施設について、実習先において目的を達成できる実習内容となっているか不明確である。実習先ごとの学生の具体的実習内容と、その実習内容が実施可能である施設の個々の選定理由を明らかにし、臨地実務実習先の教育にふさわしい施設であるかを明らかとすること。また、必要に応じて実習先を改めること。……111
（2）学生が作成する実習日誌とインターンシップノートの関連性が不明確である。また、ルーブリック評価による成績評価と「インターンシップⅠ」及び「インターンシップⅡ」のシラバスにおける成績評価の基準及び方法で示す総合評価に食い違いがあり、どのように成績評価点が付与されるか不明確であるため、改めること。……116
6. 【全体計画審査意見 15 の回答について】
＜専任教員数が設置基準を満たしていない＞
専任教員数について、専門職大学設置基準の規定を満たしていないため、適切に改めること。……121
7. 【全体計画審査意見２０の回答について】
＜学生へのサポート体制が不明確＞
入学生全員が同じＰＣ（文言は説明文と同様）環境で授業を受けられるようあらかじめ大学が手配すると説明があるが、学生へのノートＰＣの故障や盗難といったトラブルのサポート体制が不明確であるため、明らかとすること。例えば、ＰＣが故障し授業に持ち込めなかった学生への保証はどうするのか、また、イノベーションマネジメント局内に担当者を置き、一時的なサポートを行うとあるが、学内担当者のＰＣサポートの専門性が不明確であるため、サポート体制について改めて説明すること。……126
【審査意見以外への対応事項】……130
6 月 29 日の実地審査にて「共同学習の場の充実」についてのご意見を頂いたため、共同学習の場についての説明をするとともに、設置の趣旨等を記載した書類において説明を追記する。……130

（是正事項）情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

1. 【全体計画審査意見１・３の回答について】

＜カリキュラム・ポリシーと養成する人材像との対応関係が不明確＞

カリキュラム・ポリシーに基づいた教育で養成する人材像がもつ能力を習得できるか不明確である。例えば、「データベースの原理・考え方や基本構造を理解している」とあるが、必修科目の「データベース」のみの履修では養成する人材像が備える能力を修得できないことが考えられる。再度カリキュラムや科目設定を改めると同時に、必要に応じてカリキュラム・ポリシーも改めること。

（対応）

カリキュラム・ポリシーに基づいた教育で養成する人材像がもつ能力を習得できるか不明確であるとのご指摘を踏まえ、カリキュラムや科目設定について見直しを行った。

「データベースの原理・考え方や基本構造を理解している」と例示いただいている必修科目の「データベース」のみの履修では養成する人材像が備える能力を習得できないことが考えられるとのご指摘も含め、カリキュラムや科目設定を見直した。具体的には、ご指摘に基づき基礎的な知識やスキルを習得する「データ構造と処理法」「データベース」ののちに、同じく必修科目である「情報技術演習Ⅰ」の内容を改め、データベースに関する知識やスキルを応用・実践できるよう科目内容を修正した。あわせて、選択科目の「情報技術演習Ⅱ」についても、データベースも含め知識やスキルをさらに深めるとともに応用・実践する内容に科目内容を修正した。

「オペレーティングシステム」については、基本的なファイル操作、スクリプト操作、単純なOSの基本操作について学ぶ内容となっている。これらの操作内容そのものは高等学校等での「情報科」等の学習等で身についている学生もいる可能性もあるが、基本的な技術・理論の成り立ちから学びたい学生や操作そのものに不慣れな学生もいることを想定し、1年前期の選択科目として配置する。コンピュータプログラムの実行の基本的な事項（メモリの考え方、内部表現、排他制御など処理）については、「コンピュータとソフトウェア基礎」等、関連する必修科目において学習する。いずれも情報通信技術領域の基本的な事項となることから、履修指導時や導入教育に説明を行い、個々の学生に必要な履修を促す。また、「オペレーティングシステム」も含む、選択必修科目や選択科目で希望者が多数となった際にはクラス増設等も配慮する。

また、カリキュラム・ポリシーのうち、「職業的自立を図る能力」について、科目設定の目的とカリキュラム編成の内容を整理した。補正申請時は「変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、職業倫理や数学などの内容を学ぶ。」となっていたが、ここで指す「職業倫理」は「グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。」うち、現代社会に該当する科目であったこと、また「数学」そのものだけでなく、数学を通じて習得する論理力や処理能力であったことから、「変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力、数的処理能力などの内容を学ぶ。」に内容を改める。

＜カリキュラム・ポリシーと養成する人材像、習得する能力との関係＞

本学で養成する人材像は「変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」としている。具体的に有する能力としては、ディプロマ・ポリシーに記載のとおり、「職業的自立を図る能力」「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」「時代の変化に対応するビジネスの総合力」を有することとしている。これらの能力を身に付けるため、必要となる基礎的な知識・スキルを習得する科目、またそれを応用・実践し知識・スキルを深める科目を履修できるよう、カリキュラム・ポリシーを定めカリキュラムを編成している。カリキュラム・ポリシーでは、ディプロマ・ポリシーに定める能力を習得するための科目編成の方針を示しているが、ご指摘の回答として、養成する人材像がもつ能力を習得するために必要な科目をどのように習得していくかについて、カリキュラム・ポリシーに基づきカリキュラムマップ（別紙１）およびカリキュラム構成図（別紙２）とあわせて具体的に示す。なお、カリキュラム・ポリシーには説明のため①－１）、２）など番号を付す。

養成する人材像で備える能力のうち「職業的自立を図る能力」については以下の CP①－１）～３）のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP①－１）　自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「イノベーションの志」「スタディスキル」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」を必修科目として履修する。

CP①－２）　グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。

上記の能力のうち、グローバルな視野を持つためのスキルを身に付けるために「英語コア・スキルズⅠ」「英語コア・スキルズⅡ」を必修科目として履修する。また、課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身につけるために「リサーチ入門」を必修科目として履修するほか、「先端グローバル社会」「ICT と人間」「職業倫理」「科学史」から１科目以上を選択必修科目として履修する。

CP①－３）　変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力、数的処理能力などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身に付けるため「数学基礎 A」「数学基礎 B」「数学基礎 C」から 2 科目以上を選択必修科目として履修する。

また、上記の必修科目・選択必修科目以外に、CP①－２）３）問わず選択必修科目の中から１科目以上の履修を行う科目編成とし、上記 CP①－１）～３）に従った履修により、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得し「職業的自立を図る能力」を習得する。

養成する人材像で備える能力のうち「経営に関する知識・スキル」については以下の CP②－１）～５）のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目及び選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP②－１）　企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「マネジメント（経営学基礎）」「スタートアップ基礎（起業論）」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「オペレーションズマネジメント」「問題形成と問題解決」「組織行動論」「ビジネスゲームによる経営意思決定」「人的資源管理論」「イノベーション特論」から１科目以上を選択必修科目として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、企業経営の学びを深める。

CP②－２）　市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「マーケティング基礎」を必修科目として履修する。これらの知識やスキルを深めるとともに実践的に習得するため「ビジネスフィールドリサーチⅠ」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」を必修として履修する。加えて、経営課題発見のための応用的知識を選択科目として履修することができる。

CP②－３）　企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「アカウンティング入門」「法務リテラシーⅠ」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「アカウンティング応用」「法務リテラシーⅡ」「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」から１科目以上を選択必修として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、経営理論や実践的技法の学びを深めることや会計の実務を習得する。

CP②－４）　目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3 年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約 640 時間設定する。

上記を習得する場として、「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」を必修科目として履修する。

CP②－５）　新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう 4 年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ」「イノベーションプロジェクトⅡ」「イノベーションプロジェクトⅢ」「イノベーションプロジェクトⅣ」「イノベーションプロジェクトⅤ」「イノベーションプロジェクトⅥ」を設置する。

新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる力を習得するとともに、基礎的な知識・スキルとして習得した「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」などの内容を実践する場として「イノベーションプロジェクトⅠ」「イノベーションプロジェクトⅡ」「イノベーションプロジェクトⅢ」「イノベーションプロジェクトⅣ」「イノベーションプロジェクトⅤ」「イノベーションプロジェクトⅥ」を必修科目として履修する。

上記 CP②－１）～５）に従った履修により、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解するために必要な「経営に関する知識・スキル」を習得する。

養成する人材像で備える能力のうち「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキル」については、以下の CP③－１）～５）のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP③－１）　システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するため必要となる基礎的な知識・スキルとそれらを応用・実践するために「プログラミングⅠ」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミングⅡ」「ソフトウェア設計・構築」「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」を必修科目として履修する。また、ソフトウェアやシステムに関する開発設計の応用を選択科目の履修により学ぶ。

CP③－２）　コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するため必要となる基礎的な知識・スキルとそれらを応用・実践するために「プログラミングⅠ」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミングⅡ」「ソフトウェア設計・構築」を必修科目として履修する。また、情報系数学応用など選択科目の履修により、ソフトウェア構築の応用や高度化に対応する。

CP③－３）　基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「ネットワーク技術」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「ネットワーク構築Ⅰ」「情報セキュリティ演習Ⅰ」から１科目以上を選択必修科目として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、ネットワークやセキュリティについて深くあるいは広く学ぶ。

CP③－４）　データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「データ構造と処理法」「データベース」を、それらを演習で習得するために「情報技術演習Ⅰ」を必修科目として履修する。また、より学びを深めるために「情報技術演習Ⅱ」を選択科目として設定した。なお、ご指摘に従い「情報技術演習Ⅰ」と「情報技術演習Ⅱ」の内容を改めた。

CP③－５）　情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

CP③－１）～４）を通じて習得した知識・スキルを基に、新たなサービスを実現するためのコンセプト実証システムを設計構築する能力を身に付けられるように、「モバイルサービス概論」「Web システム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」「データサイエンス」「クラウド」「スーパーコンピュータ」「ビッグデータ」「IoT」「AI」から１科目以上を選択必修科目として履修するほか、より応用力を高める際には選択必修科目からさらに選択して学ぶ。

上記 CP③－１）～５）に従った履修により、システム開発に活用するために必要な「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキル」を習得する。

なお、職業選択科目においては、養成する人材像に必要な知識・スキル、実践力を習得していく過程で、さらに学びを深めることができるよう、上記の必修科目・選択必修科目以外に、4 科目以上の履修を行う科目編成となっている。選択科目には、経営では「地方創生とイノベーション」「新興市場における事業開発」「クロステックビジネスデザイン」など、ビジネス基礎で学んだ内容をより深める応用的な理論やケーススタディを学ぶ科目を配置している。情報通信技術では「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」など情報通信技術に関する基本的な技術・理論の成り立ちを解説するもの、「情報システムのプロジェクト管理」「モデル化と要求開発」など、情報システムに関するプロジェクトマネジメントや改善等についての知識やスキルをさらに深める科目があり、学びを深めることが可能である。

選択科目の履修に当たっては、イノベーションプロジェクトやインターンシップなどでの振り返りをもとに、担任となる専任教員とイノベーションマネジャーによる個別面談や履修指導を行うことで、選択必修科目とあわせて適切な履修がなされるよう、指導を行っていく。

養成する人材像で備える能力のうち「国際的コミュニケーション能力」については、以下の CP④－１）～２）のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP④－１）　英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに、英語でのアカデミックリテラシーの習得やより具体的なビジネスの現場でのルール理解やスキル習得を図るため、「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」から１科目以上を選択必修科目として履修する。また、それらを応用・実践するためにビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションで構成される「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」から１科目以上を選択必修科目として履修する。さらに、選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。

CP④－２）　文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに文化的背景の異なる人々と協働するために「実践英語：多文化理解」「実践英語：日本文化」「英米文学演習」から１科目以上を選択必修科目として履修し、英語で文化を学ぶ。また、

経営や技術などの専門的な内容について英語で応用・実践するために「実践英語：ファイナンス」「実践英語：イノベーション」「実践英語：製造業」「実践英語：IoT」から１科目以上を選択必修科目として履修し、具体的なテーマや課題を設定し、文化的背景の異なる人々と協働できるよう実践的に学ぶ。さらに、選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。

上記の必修科目・選択必修科目以外に、選択必修科目の中から２科目以上の履修を行う科目編成とし、上記 CP④－１）～２）に従った履修により、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付け、「国際的コミュニケーション能力」を習得する。

養成する人材像で備える能力のうち「時代の変化に対応するビジネスの総合力」については以下の CP⑤のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。

CP⑤　経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

CP①～④を通じ習得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を必修科目として履修する。

CP⑤では、経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用し、「時代の変化に対応するビジネスの総合力」を習得する。

上記の通り、養成する人材像がもつ「職業的自立を図る能力」「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」「時代の変化に対応するビジネスの総合力」について、カリキュラム・ポリシーに従い、必要となる基礎的な知識・スキルと、これを応用・実践し知識・スキルを深める科目を設定し、習得する。これらの科目設定により養成する人材像がもつ能力を習得することが可能であると考える。

＜上記に伴う、科目設定の変更＞

選択必修科目となることに伴い、年間開講数を変更した。

・アカウンティング応用　年間開講数 1→2

・法務リテラシーⅡ　年間開講数 1→2

・クラウド　年間開講数 1→2

・ビッグデータ　年間開講数 1→2

・IoT　年間開講数 1→2

・ネットワーク構築Ⅰ　年間開講数 1→3

・情報セキュリティ演習Ⅰ　　年間開講数 1→3

（新旧対照表）教育課程等の概要

<table>
<tr><th colspan="6">新</th><th colspan="6">旧</th></tr>
<tr><td colspan="6">[2 ページ]</td><td colspan="6">[2 ページ]</td></tr>
<tr><td rowspan="2">授業科目の名称</td><td colspan="3">専任教員の配置</td><td colspan="2" rowspan="2">備考</td><td rowspan="2">授業科目の名称</td><td colspan="3">専任教員の配置</td><td colspan="2" rowspan="2">備考</td></tr>
<tr><td>教授</td><td>准教授</td><td>講師</td><td>教授</td><td>准教授</td><td>講師</td></tr>
<tr><td>クラウド</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td>クラウド</td><td></td><td>(追記)</td><td>1</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">[3～4 ページ]</td><td colspan="6">[3 ページ]</td></tr>
<tr><td colspan="6">卒業・修了要件及び履修方法</td><td colspan="6">卒業・修了要件及び履修方法</td></tr>
<tr><td colspan="6">【卒業要件】
次により必修科目 94 単位、選択科目 34 単位以上、計 128 単位以上を修得すること。
卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。
・基礎科目 20 単位
－必修 12 単位
選択必修 8 単位
・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間のうち 2 単位以上
・数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C のうち 4 単位以上
・上記 6 単位以上を含む、8 単位以上

・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む)
－必修 68 単位
選択必修 14 単位
・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論から 2 単位以上</td><td colspan="6">【卒業要件】
次により必修科目 94 単位、選択科目 34 単位以上、計 128 単位以上を修得すること。
卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。
基礎科目 20 単位以上
選択科目から 8 単位を履修する。うち、数学基礎 A～C から 4 単位以上を履修する。
職業専門科目 82 単位以上
選択科目から 14 単位を履修する。
展開科目 20 単位以上
選択科目から 12 単位を履修する。
総合科目 6 単位（追記）
実習科目の 40 単位
うち臨地実務実習(インターンシップ）24 単位を含む
（履修科目の登録の上限：
1 年次 46 単位（年間）
2-4 年次 42 単位（年間））</td></tr>
</table>

・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位 ・上記 8 単位以上を含む、14 単位以上 ・展開科目 20 単位 －必修 8 単位 選択必修 12 単位 ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上 ・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上 ・実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上 ・実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上 ・上記 8 単位以上を含む、12 単位以上 ・総合科目 6 単位（必修） 実習科目の 40 単位 うち臨地実務実習（インターンシップ）24 単位を含む （履修科目の登録の上限： 1 年次 46 単位（年間） 2-4 年次 42 単位（年間））	

（新旧対照表）授業科目の概要（13、15 ページ）

新		旧	
[13 ページ]		[13 ページ]	
情報技術演習Ⅰ	ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワーキングシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワーキングシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュ、基本動作検証、関係データベースの構築、プロジェクト管理までの演習を行う。	情報技術演習Ⅰ	ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワーキングシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワーキングシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュ、基本動作検証、（追記）プロジェクト管理までの演習を行う。
［15 ページ］		［15 ページ］	
情報技術演習Ⅱ	少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、業務フローや機能一覧、ネットワーク構成等の基本設計と、機能設計やデータベース設計等の詳細設計を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーキング統合システムの基本的な動作検証までの演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、基本設計・詳細設計の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。	情報技術演習Ⅱ	少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、ソフトウェア設計書を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーキング統合システムの基本的な動作検証までの演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、ソフトウェア設計書の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。

（新旧対照表）シラバス　情報技術演習Ⅰ　情報技術演習Ⅱ（92～93、108～109 ページ）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>[92～93 ページ]
情報技術演習Ⅰ
１．授業概要
ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワーキングシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワーキングシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュ、基本動作検証、関係データベースの構築、プロジェクト管理までの演習を行う。

２．授業の目的、目標
情報ネットワーキングアーキテクチャの全体像の理解と、演習による実際の動作実証。
ユーザインタフェース設計書の作成方法の理解と、デザインレビュの演習。
与えられた要求条件を元にした、ソフトウェア設計スキルや関係データベースの設計構築スキルなどを演習を交えて習得する。
データベース連携技術を理解し、実際の動作検証手法について基本的な内容を身に付ける。

３．授業計画
<table><tr><td>5</td><td>公開データセットを用いてデータベース設計を行い、実際に関係データベースを仮想マシン上に構築する。格納データに対して、SQL による情報検索、情報更新、情報削除等の演習を行う。</td></tr><tr><td>6</td><td>データベース連携を行うための WEB サービス設計を行い、実際に WEB データベース連携動作環境を構築する。構築した環境を用いて、WEB-API を利用した情報検索、情報更新、情報削除等の演習を行う。</td></tr><tr><td>7</td><td>情報システムの例題を提示し、概要の説明を行う。UML によるソフトウェ</td></tr></table></td>
<td>[92～93 ページ]
情報技術演習Ⅰ
１．授業概要
ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワーキングシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワーキングシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュ、基本動作検証、（追記）プロジェクト管理までの演習を行う。

２．授業の目的、目標
情報ネットワーキングアーキテクチャの全体像の理解と、演習による実際の動作実証。
ユーザインタフェース設計書の作成方法の理解と、デザインレビュの演習。
与えられた要求条件を元にした、ソフトウェア設計スキルの習得。
データベース連携技術の理解と、演習による実際の動作検証手法（追記）を身に付ける。

３．授業計画
<table><tr><td>5</td><td>情報システムの例題を提示し、概要の説明を行う。UML によるソフトウェア仕様設計手法、演習の進め方について説明する。例題に対するクラス図等の記述手法について説明し、演習を行う。</td></tr><tr><td>6</td><td>例題に対するコンポーネント図等の記述手法について説明し、演習を行う。</td></tr><tr><td>7</td><td>例題に対するユースケース図等の記述手法について説明し、演習を行う。</td></tr></table></td></tr>
</table>

	ア仕様設計手法、演習の進め方について説明する。例題に対するクラス図等の記述手法について説明し、演習を行う。
8	例題に対するコンポーネント図、ユースケース図、シーケンス図等の記述手法について説明し、演習を行う。

６．教科書／参考文献

教科書：演習資料を別途配布する

参考文献：

『Web エンジニアの教科書』
佐々木 達也、瀬川　雄介、内藤　賢司(著)、シーアンドアール研究所、2015 年

『Web を支える技術 -HTTP、URI、HTML、そして REST』
山本 陽平（著)、技術評論社、2010 年

『実例で学ぶソフトウェア開発』
NTT データソフトウェア工学推進センタ(著)、オーム社、2008 年

『UML による一気通貫 DB システム設計（DB Magazine SELECTION)』
細川 努　(著)、翔泳社 、2007 年

[108～109 ページ]

情報技術演習Ⅱ

１．授業概要

少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、業務フローや機能一覧、ネットワーク構成等の基本設計と、機能設計やデータベース設計等の詳細設計を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーキング統合システムの基本的な動作検証までの演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、基本設計・詳細設計の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。

8	例題に対する（追記）シーケンス図等の記述手法について説明し、演習を行う。

６．教科書／参考文献

教科書：演習資料を別途配布する

参考文献：

『Web エンジニアの教科書』
佐々木 達也、瀬川　雄介、内藤　賢司(著)、シーアンドアール研究所、2015 年

『Web を支える技術 -HTTP、URI、HTML、そして REST』
山本 陽平（著)、技術評論社、2010 年

『実例で学ぶソフトウェア開発』
NTT データソフトウェア工学推進センタ(著)、オーム社、2008 年

（追記）

[108～109 ページ]

情報技術演習Ⅱ

１．授業概要

少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、ソフトウェア設計書を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーキング統合システムの基本的な動作検証ま　での演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、ソフトウェア設計書の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。

３．授業計画		３．授業計画	
２	演習に必要なネットワーク設計技術、データベース構築技術、WEB データベース連携技術、各種クラウドサービス、WEB-API、その他各種ソフトウェアについて説明を行い、基本動作の検証を行う。	２	演習に必要な（追記）各種ソフトウェアについて説明を行い、基本動作の検証を行う。

（新旧対照表）学則　別表２

新

情報経営イノベーション専門職大学

情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科　卒業要件

科目区分			卒業単位 必修	選択必修①	選択必修②	選択	自由	小計
基礎科目	現代社会基礎		12	6 ※1	2	0	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	8	8 ※4	0	6	0	82
		ビジネス応用	0				0	
		ビジネス実践	42				0	
	情報通信技術	システムデザイン基礎	18				0	
		システムデザイン応用	0				0	
		ネットワークセキュリティ	0				0	
展開科目	グローバルコミュニケーション		8	8 ※3	4	0	0	20
総合科目			6	0	0	0	0	6
合計			94	22	6	6	0	128

※１

・　先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間のうち２単位以上

・　数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C のうち４単位以上

※２

・　オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論から２単位以上

・　アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、フ

旧

情報経営イノベーション専門職大学

情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科　卒業要件

科目区分			卒業単位 必修	(追記)	(追記)	選択	自由	小計
基礎科目	現代社会基礎		12	(追記)	(追記)	8	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	8	(追記)	(追記)	14	0	82
		ビジネス応用	0				0	
		ビジネス実践	42				0	
	情報通信技術	システムデザイン基礎	18				0	
		システムデザイン応用	0				0	
		ネットワークセキュリティ	0				0	
展開科目	グローバルコミュニケーション		8	(追記)	(追記)	12	0	20
総合科目			6	(追記)	(追記)	0	0	6
合計			94	(追記)	(追記)	34	0	128

（追記）

ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・　ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・　モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位 ※３ ・　英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上 ・　英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上 ・　実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上 ・　実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上	
備考 ・実験・実習科目から 40 単位以上を修得すること。 ※臨地実務実習(インターンシップⅠ・Ⅱ）含む ・インターンシップ科目の履修条件として、原則以下の科目の単位を修得していることとする。「マネジメント（経営学基礎)」「マーケティング基礎」「法務リテラシーⅠ」「アカウンティング入門」「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」 「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」「ビジネスフィールドリサーチⅠ」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」 ・総計で、卒業単位を 128 単位以上とする。	備考 ・実験・実習科目から 40 単位以上を修得すること。 ※臨地実務実習(インターンシップⅠ・Ⅱ）含む ・インターンシップ科目の履修条件として、原則以下の科目の単位を修得していることとする。 「マネジメント（経営学基礎)」「マーケティング基礎」「法務リテラシーⅠ」「アカウンティング入門」「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」 「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」「ビジネスフィールドリサーチⅠ」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」 ・総計で、卒業単位を 128 単位以上とする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（24、41～47、53～58 ページ）

新	旧
[24 ページ] １．教育内容 ①基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。 ・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。 ・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。 ・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力や数的処理能力などの内容を学ぶ。 [41～47 ページ] (2)カリキュラムと科目設定について 　ディプロマ・ポリシーに記載の「職業的自立を図る能力」「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」「時代の変化に対応するビジネスの総合力」を身に付けるため、必要となる基礎的な知識・スキルを習得する科目、またそれを応用・実践し知識・スキルを深める科目を履修できるよう、カリキュラム・ポリシーに基づき、科目を設定している。なお、説明のために、カリキュラム・ポリシーそれぞれについて、①－１)、①－２）等の番号を付す。 　養成する人材像で備える能力のうち「職業的自立を図る能力」については以下の CP①－１）～３）のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目およ	[24 ページ] １．教育内容 ①基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。 ・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。 ・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。 ・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、職業倫理や数学などの内容を学ぶ。 [41 ページ] （追記）

び選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。 CP①－１）　自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「イノベーションの志」「スタディスキル」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」を必修科目として履修する。 CP①－２）　グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。 上記の能力のうち、グローバルな視野を持つためのスキルを身に付けるために「英語コア・スキルズⅠ」「英語コア・スキルズⅡ」を必修科目として履修する。また、課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身につけるために「リサーチ入門」を必修科目として履修するほか、「先端グローバル社会」「ICT と人間」「職業倫理」「科学史」から１科目以上を選択必修科目として履修する。 CP①－３）変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力、数的処理能力などの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身に付けるため「数学基礎 A」	

「数学基礎 B」「数学基礎 C」から 2 科目以上を選択必修科目として履修する。 また、上記の必修科目・選択必修科目以外に、CP①－２）３）の選択必修科目の中から１科目以上の履修を行う科目編成とする。 上記 CP①－１）～３）に従った履修により、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得し「職業的自立を図る能力」を習得する。 養成する人材像で備える能力のうち「経営に関する知識・スキル」については以下の CP②－１）～５）のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目及び選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。 CP②－１）　企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「マネジメント（経営学基礎)」「スタートアップ基礎（起業論)」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「オペレーションズマネジメント」「問題形成と問題解決」「組織行動論」「ビジネスゲームによる経営意思決定」「人的資源管理論」「イノベーション特論」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、企業経営の学びを深める。 CP②－２）　市場の情報収集や調査を行い、経営課	

題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「マーケティング基礎」を必修科目として履修する。これらの知識やスキルを深めるとともに実践的に習得するため「ビジネスフィールドリサーチⅠ」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」を必修として履修する。加えて、経営課題発見のための応用的知識を選択科目として履修することができる。 CP②－３）　企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「アカウンティング入門」「法務リテラシーⅠ」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「アカウンティング応用」「法務リテラシーⅡ」「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」から１科目以上を選択必修として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、経営理論や実践的技法の学びを深めることや会計の実務を習得する。 CP②－４）　目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3 年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約 640 時間設定する。	

上記を習得する場として、「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」を必修科目として履修する。 CP②－５）　新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう４年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ」「イノベーションプロジェクトⅡ」「イノベーションプロジェクトⅢ」「イノベーションプロジェクトⅣ」「イノベーションプロジェクトⅤ」「イノベーションプロジェクトⅥ」を設置する。 新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる力を習得するとともに、基礎的な知識・スキルとして習得した「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」などの内容を実践する場として「イノベーションプロジェクトⅠ」「イノベーションプロジェクトⅡ」「イノベーションプロジェクトⅢ」「イノベーションプロジェクトⅣ」「イノベーションプロジェクトⅤ」「イノベーションプロジェクトⅥ」を必修科目として履修する。 上記 CP②－１）～５）に従った履修により、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できる「経営に関する知識・スキル」を習得する。 養成する人材像で備える能力のうち「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキル」については、以下の CP③－１）～５）のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。	

CP③－１）　システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するため必要となる基礎的な知識・スキルとそれらを応用・実践するために「プログラミングⅠ」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミングⅡ」「ソフトウェア設計・構築」「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」を必修科目として履修する。また、ソフトウェアやシステムに関する開発設計の応用を選択科目の履修により学ぶ。 CP③－２）　コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するため必要となる基礎的な知識・スキルとそれらを応用・実践するために「プログラミングⅠ」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミングⅡ」「ソフトウェア設計・構築」を必修科目として履修する。また、情報系数学応用など選択科目の履修により、ソフトウェア構築の応用や高度化に対応する。 CP③－３）　基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連	

携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「ネットワーク技術」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「ネットワーク構築Ⅰ」「情報セキュリティ演習Ⅰ」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、ネットワークやセキュリティについて深くあるいは広く学ぶ。 CP③－４）　データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「データ構造と処理法」「データベース」を、それらを演習で習得するために「情報技術演習Ⅰ」を必修科目として履修する。また、「情報技術演習Ⅱ」を選択科目として設定した。 CP③－５）　情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。 CP③－１）～４）を通じて習得した知識・スキルを基に、新たなサービスを実現するためのコンセプト実証システムを設計構築する能力を身に付けられるように、「モバイルサービス概論」「Web システム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」「データサイエンス」「クラウド」「スーパーコンピュータ」「ビッグデータ」「IoT」「AI」から１科目以上を選択必修科目として履修するほか、より応用力を高	

める際には選択必修科目からさらに選択して学ぶ。 上記 CP③－１）～５）に従った履修により、システム開発に活用するために必要な「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキル」を習得する。 なお、職業選択科目においては、養成する人材像に必要な知識・スキル、実践力を習得していく過程で、さらに学びを深めることができるよう、上記の必修科目・選択必修科目以外に、4 科目以上の履修を行う科目編成となっている。選択科目には、経営では「地方創生とイノベーション」「新興市場における事業開発」「クロステックビジネスデザイン」など、ビジネス基礎で学んだ内容をより深める応用的な理論やケーススタディを学ぶ科目を配置している。情報通信技術では「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」など情報通信技術に関する基本的な技術・理論の成り立ちを解説するもの、「情報システムのプロジェクト管理」「モデル化と要求開発」など、情報システムに関するプロジェクトマネジメントや改善等についての知識やスキルをさらに深めることが可能である。選択科目の履修に当たっては、イノベーションプロジェクトやインターンシップなどでの振り返りをもとに、担任となる専任教員とイノベーションマネジャーによる個別面談や履修指導を行うことで、選択必修科目とあわせて適切な履修がなされるよう、指導を行っていく。 養成する人材像で備える能力のうち「国際的コミュニケーション能力」については、以下の CP④－１）～２）のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。 CP④－１）　英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニ	

ケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに、英語でのアカデミックリテラシーの習得やより具体的なビジネスの現場でのルール理解やスキル習得を図るため、「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。また、それらを応用・実践するためにビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションで構成される「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」から１科目以上を選択必修科目として履修する。さらに選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。 CP④－２）　文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに文化的背景の異なる人々と協働するために「実践英語：多文化理解」「実践英語：日本文化」「英米文学演習」から 1 科目以上を選択必修科目として履修し、英語で文化を学ぶ。また、経営や技術などの専門的な内容について英語で応用・実践するために「実践英語：ファイナンス」「実践英語：イノベーション」「実践英	

語：製造業」「実践英語：IoT」から１科目以上を選択必修科目として履修し、具体的なテーマや課題を設定し、文化的背景の異なる人々と協働できるよう実践的に学ぶ。さらに、選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。 上記の必修科目・選択必修科目以外に、選択必修科目の中から 2 科目以上の履修を行う科目編成とし、上記 CP④－１）～２）に従った履修により、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付け、「国際的コミュニケーション能力」を習得する。 養成する人材像で備える能力のうち「時代の変化に対応するビジネスの総合力」については以下のCP⑤のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。 CP⑤　経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。 CP①～④を通じ習得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を必修科目として履修する。 CP⑤では、経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用し、「時代の変化に対応するビジネスの総合力」を習得する。 これらにより、養成する人材像がもつ「職業的自	

立を図る能力」「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」「時代の変化に対応するビジネスの総合力」について、カリキュラム・ポリシーに従い、必要となる基礎的な知識・スキルと、これを応用・実践し知識・スキルを深める科目を設定し、これを修得するよう科目を編成している。	
(3) 教育課程の不断の見直しについて （中略）	(2) 教育課程の不断の見直しについて （中略）
(4) 社会貢献、地域と一体化した教育	(3) 社会貢献、地域と一体化した教育
[53～58 ページ] (5) 卒業要件 卒業単位数は、基礎科目 20 単位(必修 12 単位、選択必修 8 単位)、職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む必修 68 単位、選択必修 14 単位)、展開科目 20 単位(必修 8 単位、選択必修 12 単位)、総合科目 6 単位(必修)を修得し、合計 128 単位とする。専門職大学の卒業要件である、実験・実習又は実技による授業科目の修得 40 単位は、職業専門科目及び展開科目の必修科目に含まれている。 学長は、本学に 4 年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、情報経営イノベーション学士(専門職)の学位を授与する。	[47～51 ページ] (5) 卒業要件 卒業単位数は、基礎科目 20 単位(必修 12 単位、数学基礎 A～C のうち 4 単位以上、数学基礎 A～C の 4 単位以上を含む 8 単位以上を選択必修)、職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む必修 68 単位（追記）)、展開科目 20 単位(必修 8 単位（追記）)、総合科目 6 単位(必修)を修得し、合計 128 単位とする。専門職大学の卒業要件である、実験・実習又は実技による授業科目の修得 40 単位は、職業専門科目及び展開科目の必修科目に含まれている。 学長は、本学に 4 年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、情報経営イノベーション学士(専門職)の学位を授与する。
卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。 ・基礎科目 20 単位 －必修 12 単位 イノベーションの志、スタディスキル、英語コア・スキルズⅠ、英語コア・スキルズⅡ、リサーチ入門、キャリアデザインⅠ、	（追記）

キャリアデザインⅡ 選択必修 8 単位 ・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間から 2 単位以上 ・数学基礎 A～C のうち 4 単位以上 ・上記 6 単位以上を含む、8 単位以上 ・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む) －必修 68 単位 マネジメント（経営学基礎）、マーケティング基礎、法務リテラシーⅠ、アカウンティング入門、 スタートアップ基礎（起業論）、イノベーションプロジェクトⅠ、イノベーションプロジェクトⅡ、イノベーションプロジェクトⅢ、イノベーションプロジェクトⅣ、イノベーションプロジェクトⅤ、イノベーションプロジェクトⅥ、ビジネスフィールドリサーチⅠ、ビジネスフィールドリサーチⅡ、インターンシップⅠ、インターンシップⅡ、プログラミングⅠ、プログラミングⅡ、データ構造と処理法、コンピュータとソフトウェア基礎、ネットワーク技術、ソフトウェア設計・構築、データベース、情報技術演習Ⅰ、システム設計演習 選択必修 14 単位 ・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論から 2 単位以上 ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演	

習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位 ・上記 8 単位以上を含む、14 単位以上 ・展開科目 20 単位 －必修 8 単位 ビジネス英語実習Ⅰ、ビジネス英語実習Ⅱ、ビジネス英語実習Ⅲ、ビジネス英語実習Ⅳ 選択必修 12 単位 ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上 ・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上 ・実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上 ・実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上 ・上記 8 単位以上を含む、12 単位以上 ・総合科目 6 単位(必修) 総合理論演習、総合実践演習	
(6) 履修モデル （中略） 上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37 科目を必修科目と（削除）した。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7 科目、職業専門科目 24 科目(うちビジネス基礎科目群の 4 科目、ビジネス実践科目群 11 科目、システムデザイン基礎科目群 9 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目、総合科目 2 科目である。あわせて、選択必修科目として 12 科目を設定した。内訳は基礎科目 3 科目、職業専門科目	(6) 履修モデル （中略） 上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37 科目を必修科目と指定した。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7 科目、職業専門科目 24 科目(うちビジネス基礎 4 科目、ビジネス実践 11 科目、システムデザイン基礎 9 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目、総合科目 2 科目である。（追記）これらの科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国

4 科目(うちビジネス基礎科目群とビジネス応用科目群のうち所定の 2 科目、システムデザイン基礎科目群とシステムデザイン応用科目群のうち所定の 1 科目、ネットワーク・セキュリティ科目群から所定の 1 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目である。これらの科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図している。選択必修科目を設け、それぞれの能力について、基礎となる知識・スキルを習得する科目と、その知識・スキルの応用や実践を行う科目の単位修得を行うことができるよう卒業要件を設定している。そのため履修モデル通りに履修しなかった場合でも、養成する人材像が備える能力を身につけることができ、ディプロマ・ポリシーを実現することができる。	際的なコミュニケーション能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図している。（追記）
さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、必修科目と選択必修科目により適切な履修を可能にするとともに、選択科目については学生の希望する進路の実現にむけた選択方法を履修指導する。その際、履修モデルとして以下を提示して履修指導することでディプロマ・ポリシーに応じた知識・スキルの修得を可能とさせる。	さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、選択科目を多数用意し、学生の希望する進路の実現にむけた履修モデルとして以下の３パターンを展開する。
（中略） また職業専門科目のうち情報通信技術については、1 年次の「オペレーティングシステム」でコンピュータ操作の基本的な技術・理論の成り立ちを学ぶとともに、2 年次の「ネットワーク構築演習Ⅰ」や 3 年次の「クラウド」などを通じ、これらの技術	（中略） 幅広く経営に関する知識や、その知識を応用した課題発見力や解決力、事業の企画・立案や実行に関する実践力を習得するために、経営科目において、2 年次に「マーケティング応用」を通じ実際の企業のマーケティング活動の分析を、「問題形成と問題

の知識、スキルを習得する。 グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。具体的にはコミュニケーション力については、2 年次の「英語ビジネスマネジメント」、3 年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4 年次の「英語プレゼンテーション」を通じ英語でビジネスを進めるためのルールの理解やスキルの習得及びその実践を行う。また、3 年次の「実践英語：日本文化」を通じ英語で文化への理解を深め、4 年次の「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」を通じて、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するための幅広い英語力を高める。 職業専門科目のうち経営については、幅広く経営に関する知識やその知識を応用した課題発見力や解決力、事業の企画・立案や実行に関する実践力を習得する。2 年次に「アカウンティング応用」を通じ企業の経営状況の分析を深め企業の付加価値を高めるための知識を習得する。あわせて、「マーケティング応用」を通じ実際の企業のマーケティング活動の分析を、「問題形成と問題解決」を通じ問題解決手法をそれぞれ学ぶことで課題発見力・解決力を習得する。3～4 年次に情報通信技術を用いたビジネスやサービスの企画・立案に関する実践力を身に付ける「イノベーション特論」「クロステックビジネスデザイン」をそれぞれ履修する。また、これに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する力を習得する。	解決」を通じ問題解決手法をそれぞれ学ぶことで課題発見力・解決力を習得する。3～4 年次に情報通信技術を用いたビジネスやサービスの企画、立案に関する実践力を身に付ける「イノベーション特論」「クロステックビジネスデザイン」と、課題発見や解決の手法を高める「デザインと経営」をそれぞれ履修する。 情報通信技術については、（追記）2 年次の「モバイルサービス概論」や 3 年次の「クラウド」などを通じ、これらの技術の基本的な知識、スキルを習得する。 グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。具体的にはコミュニケーション力については、3 年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4 年次の「英語プレゼンテーション」を通じ習得する。また 2 年次の「英語ビジネスマネジメント」、3 年次の「英語通訳論」、4 年次の「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」を通じて、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するための英語力を高める。
② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進め	② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進め

る人材を目指す履修モデル（資料 12-②-1、12-②-2） （中略） また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科学史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのように寄与してきたかを学び、サービスを開発するための素地を作る。経営科目では「オペレーションズマネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーションの基本的な知識を、「法務リテラシーⅡ」を通じ情報通信技術や知的財産の取り扱いについて応用的な知識を習得する。グローバルコミュニケーションでは、情報通信技術に関する新たな知識、スキルや、国際化が進む中でプロジェクトを推進するために必要な知識を習得する。具体的には 2 年次の「英語アカデミックリテラシー」「英語通訳論」を通じ英語コミュニケーション力を身につける。「英語ネゴシエーション」を通じプロジェクトを進めるうえでの交渉力を習得する。また「実践英語：多文化理解」「実践英語：日本文化」を通じ、文化理解と英語コミュニケーション力を習得する。3 年次の「実践英語：製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを広く習得する。3 年次の「実践英語：製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを習得する。 （中略） 資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサービスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推進する役割を発揮するために、1～2 年次の必修科目を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習得したうえで、2 年次に解析や情報処理の考え方や技法として「情報系数学応用 A」を、プロジェクトの立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システムのプロジェクト管理」を履修する。また、2 年次に「情報セキュリティ演習Ⅰ」を通じ情報セキュリテ	る人材を目指す履修モデル（資料 12-②-1、12-②-2） （中略） また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科学史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのように寄与してきたかを学び、サービスを開発するための素地を作る。経営科目では「オペレーションズマネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーションの基本的な知識を（追記）習得する。グローバルコミュニケーションでは、情報通信技術に関する新たな知識、スキルや、国際化が進む中でプロジェクトを推進するために必要な知識を習得する。具体的には 2 年次の「英語アカデミックリテラシー」を通じ、情報通信技術に関する新たな知識やスキルを習得するための基本的な英語力を養成するとともに、（追記）3 年次の「実践英語：製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを習得する。また「実践英語：多文化理解」「英語通訳論」「実践英語：日本文化」を通じ、さまざまな文化や背景を持つ人々との意思疎通を図り、協同していくための知識とコミュニケーション力を習得する。またプロジェクトを進めるうえでの交渉力を「英語ネゴシエーション」を通じ習得する。 （中略） 資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサービスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推進する役割を発揮するために、1～2 年次の必修科目を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習得したうえで、2 年次に解析や情報処理の考え方や技法として「情報系数学応用 A」を、プロジェクトの立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システムのプロジェクト管理」を履修する。（追記） 3 年次は「システムインテグレーション」を通じ、情報通

ィ全般の知識やスキルの定着を図るとともに、3 年次は（削除）「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェア開発の概念や改善手法を（削除）習得する。また、技術の発展事例として「ビッグデータ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキルを習得する。（削除）	信技術を用いたサービス改善・開発における課題発見力・解決力・プロジェクト管理に関する実践力を、「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェア開発の概念や改善手法をそれぞれ習得する。また、技術の発展事例として「ビッグデータ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキルを習得する。また、経営科目から「組織行動論」を履修し、通じプロジェクトなど集団活動でのマネジメント手法や、組織課題の改善をはかるために必要な知識やスキルを習得する。
（中略） 情報通信技術科目では、2 年次の「Web システム演習」（削除）起業してビジネスやサービスを生み出すための知識やスキルを習得するとともに、2 年次に「情報セキュリティ演習Ⅰ」を通じ情報セキュリティ全般の知識やスキルの定着を図る。新たなサービスを実現するためのコンセプト実証システムを設計構築する能力を身に付けられるように、「モバイルサービス概論」を履修する。 あわせて経営科目では、財務・会計分野の（削除）「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。	（中略） 情報通信技術科目では、2 年次の「Web システム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」を通じ、起業してビジネスやサービスを生み出すための知識やスキルを習得する（追記）。 あわせて経営科目では、財務・会計分野の「アカウンティング応用」「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。
グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には 3 年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4 年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力を習得する。あわせて、2 年次の「英語ビジネスマネジメント」を通じ英語でビジネスを進めるための	グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には 3 年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4 年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力を習得する。あわせて、2 年次の「英語ビジネスマネジメント」「実践英語：多文化理解」、4 年次の「実

具体的なルールの理解やスキルの習得を深める。また、2 年次の「実践英語：多文化理解」を通じ英語で文化への理解を深めるとともに、4 年次の「実践英語：ファイナンス」を通じ、経営に関する専門分野への理解と国際社会において幅広く活躍するための英語力を高める。 また、学んだ技術を生かし提案したサービスを継続できるよう、起業や事業継続に関する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修する。	践英語：ファイナンス」を通じ、経営に関する専門分野への理解と国際社会において活躍するための英語力を高める。 （追記）
(7) 履修指導方法 本学の履修指導としては、以下を実施する。 ①履修指導の手引きを作成し指導を行う(全学年全学生対象) 学務委員会が中心となり、本学部のカリキュラム・ポリシー、教育課程の全体像、単位の考え方、学習方法、科目一覧、担当教員一覧、履修規程、履修モデル、卒業要件、履修登録の注意点等を掲載した手引きを作成し、全学生に配布のうえ履修指導に用いる。さらにサイト上でも公開し確認できるようにする。	(7)履修指導方法 本学の履修指導としては、以下を実施する。 ①履修指導の手引きを作成し指導を行う(全学年全学生対象) 学務委員会が中心となり、本学部のカリキュラム・ポリシー、教育課程の全体像、単位の考え方、学習方法、科目一覧、担当教員一覧、履修規程、（追記）卒業要件、履修登録の注意点等を掲載した手引きを作成し、全学生に配布する。さらにサイト上でも公開し確認できるようにする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　資料 12　履修モデル

新　[資料 12-①　履修モデル]

①　ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を目指す履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 職業倫理	2							
				後期	○ 数学基礎B	2	後期	○ ICTと人間	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択													
		ビジネス応用	選択				前期	○ アカウンティング応用	2	後期	○ イノベーション特論	2	前期	クロステックビジネスデザイン（削除）	2	
							後期	○ 問題形成と問題解決	2							
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択	前期	オペレーティングシステム	2		（削除）								
		システムデザイン応用	選択							後期	○ クラウド	2				
		ネットワークセキュリティ	選択				前期	○ ネットワーク構築Ⅰ	2							
					単位数	26		単位数	22		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	○ 英語ビジネスマネジメント	2	前期	○ 実践英語：日本文化	2	前期	○ 英語プレゼンテーション	2	
										後期	○ 英語ディスカッション・ディベート	2	前期	○ 実践英語：IoT	2	
													後期	○ 実践英語：イノベーション	2	
					単位数	4		単位数	6		単位数	4		単位数	6	20
総合科目			必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	33		合計単位数	37		合計単位数	14	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

新　[資料 12-②-1　履修モデル]

②-1　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、システムデザインの応用分野へ学びを進め、さらに様々な技術間の横断的な開発プロジェクトのリーダーとしてプロジェクト管理について学ぶ履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
				後期	○ 数学基礎C	2	後期	○ 科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択				前期	○ オペレーションズマネジメント	2							
		ビジネス応用	選択				前期	○ 法務リテラシーⅡ	2							
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択				後期	情報系数学応用B	2							
		システムデザイン応用	選択				後期	情報システムのプロジェクト管理	2	前期	ソフトウェアプロセスと品質	2				
										後期	○ ビッグデータ	2				
											（削除）					
		ネットワークセキュリティ	選択				後期	○ 情報セキュリティ演習Ⅰ	2							
					単位数	24		単位数	26		単位数	30		単位数	2	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ（実習）	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				前期	○ 英語アカデミックリテラシー	2	前期	○ 英語通訳論	2	後期	○ 英語ネゴシエーション	2	
							後期	○ 実践英語：多文化理解	2	前期	○ 実践英語：日本文化	2				
										後期	○ 実践英語：製造業	2				
					単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総合科目		―	必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	39		合計単位数	39		合計単位数	8	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

新　[資料 12-②-2　履修モデル]

②-2　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーになる履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
				後期	○ 数学基礎C	2	後期	○ 科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択				前期	○ オペレーションズマネジメント	2							
		ビジネス応用	選択				前期	○ 法務リテラシーⅡ	2							
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ（実習）	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ（実習）	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択							前期	情報系数学応用C	2				
		システムデザイン応用	選択					（削除）					前期	○ スーパーコンピュータ	2	
		ネットワークセキュリティ	選択				前期	○ ネットワーク構築Ⅰ	2	前期	ネットワーク構築Ⅲ	2				
							後期	ネットワーク構築Ⅱ	2							
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ（実習）	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ（実習）	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				前期	○ 英語アカデミックリテラシー	2	前期	○ 英語通訳論	2	後期	○ 英語ネゴシエーション	2	
							後期	○ 実践英語：多文化理解	2	後期	○ 実践英語：日本文化	2				
										後期	○ 実践英語：製造業	2				
					単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総合科目		―	必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	37		合計単位数	39		合計単位数	10	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

新　[資料 12-③　履修モデル]

③　起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	－	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
				後期	○ 数学基礎B	2										
				後期	○ 数学基礎C	2										
					単位数	16		単位数	3		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択													
		ビジネス応用	選択				後期	○ ファイナンス入門	2	後期	地域創生とイノベーション	2	後期	税務会計・会計処理	2	
										後期	○ コーポレートファイナンス	2				
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択				前期	○ モバイルサービス概論	2							
		システムデザイン応用	選択				前期	○ Webシステム演習	2							
		ネットワークセキュリティ	選択				後期	○ 情報セキュリティ演習Ⅰ	2							
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	－	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	○ 英語ビジネスマネジメント	2	後期	○ 英語ディスカッション・ディベート	2	前期	○ 実践英語：ファイナンス	2	
							後期	○ 実践英語：多文化理解	2				前期	○ 英語プレゼンテーション	2	
													後期	○ 英語ネゴシエーション	2	
					単位数	4		単位数	8		単位数	2		単位数	6	20
総合科目			必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	35		合計単位数	35		合計単位数	14	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

旧　　[資料 12-①　履修モデル]

①　ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を目指す履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	イノベーションの志	2	前期	キャリアデザインⅠ	1	後期	キャリアデザインⅡ	1				
				前期	スタディスキル	2										
				前期	英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	リサーチ入門	2										
				後期	英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	数学基礎A	2	前期	職業倫理	2							
				後期	数学基礎B	2	後期	ICTと人間	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	マーケティング基礎	2										
				後期	法務リテラシーⅠ	2										
				後期	アカウンティング基礎	2										
			選択													
		ビジネス応用	選択				前期	マーケティング応用	2	後期	イノベーション特論	2	前期	クロステックビジネスデザイン	2	
							後期	問題形成と問題解決	2				前期	デザインと経営	2	
		ビジネス実践	必修	前期	イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	インターンシップⅠ	12				
				後期	スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	インターンシップⅡ	12				
							後期	ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	プログラミングⅠ	2	前期	ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
				前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	プログラミングⅡ	2	後期	システム設計演習	2							
				後期	ネットワーク技術	2										
			選択		（追記）		前期	モバイルサービス概論	2							
		システムデザイン応用	選択							後期	クラウド	2				
		ネットワークセキュリティ	選択					（追記）								
					単位数	24		単位数	22		単位数	30		単位数	6	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	英語ビジネスマネジメント	2	前期	英語通訳論	2	前期	英語プレゼンテーション	2	
										後期	英語ディスカッション・ディベート	2	前期	実践英語：IoT	2	
													後期	実践英語：イノベーション	2	
					単位数	4		単位数	6		単位数	4		単位数	6	20
総合科目			必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	33		合計単位数	37		合計単位数	16	128
														（追記）		

旧　　[資料 12-②-1　履修モデル]

②-1　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、システムデザインの応用分野へ学びを進め、さらに様々な技術間の横断的な開発プロジェクトのリーダーとしてプロジェクト管理について学ぶ履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	イノベーションの志	2	前期	キャリアデザインⅠ	1	後期	キャリアデザインⅡ	1				
				前期	スタディスキル	2										
				前期	英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	リサーチ入門	2										
				後期	英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	数学基礎A	2	前期	先端グローバル社会	2							
				後期	数学基礎C	2	後期	科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	マーケティング基礎	2										
				後期	法務リテラシーⅠ	2										
				後期	アカウンティング基礎	2										
			選択				前期	オペレーションズマネジメント	2							
		ビジネス応用	選択				後期	組織行動論	2							
		ビジネス実践	必修	前期	イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	ビジネスフィールドリサーチⅠ（実習）	2	前期	インターンシップⅠ（実習）	12				
				後期	スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	インターンシップⅡ（実習）	12				
							後期	ビジネスフィールドリサーチⅡ（実習）	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	プログラミングⅠ（実習）	2	前期	ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
				前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	プログラミングⅡ（実習）	2	後期	システム設計演習	2							
				後期	ネットワーク技術	2										
			選択				後期	情報系数学応用B	2							
		システムデザイン応用	選択				後期	情報システムのプロジェクト管理	2	前期	ソフトウェアプロセスと品質	2				
										後期	システムインテグレーション	2				
										後期	ビッグデータ	2				
		ネットワークセキュリティ	選択					（追記）								
					単位数	24		単位数	24		単位数	32		単位数	2	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	ビジネス英語実習Ⅰ（実習）	2	前期	ビジネス英語実習Ⅲ（実習）	2							
				後期	ビジネス英語実習Ⅱ（実習）	2	後期	ビジネス英語実習Ⅳ（実習）	2							
			選択				前期	英語アカデミックリテラシー	2	前期	英語通訳論	2	後期	英語ネゴシエーション	2	
							後期	実践英語：多文化理解	2	後期	実践英語：日本文化	2				
										後期	実践英語：製造業	2				
					単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総合科目		―	必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	37		合計単位数	41		合計単位数	8	128

（追記）

旧　[資料 12-②-2　履修モデル]

②-2　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーになる履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	イノベーションの志	2	前期	キャリアデザインⅠ	1	後期	キャリアデザインⅡ	1				
				前期	スタディスキル	2										
				前期	英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	リサーチ入門	2										
				後期	英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	数学基礎A	2	前期	先端グローバル社会	2							
				後期	数学基礎C	2	後期	科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	マーケティング基礎	2										
				後期	法務リテラシーⅠ	2										
				後期	アカウンティング基礎	2										
			選択				前期	オペレーションズマネジメント	2							
		ビジネス応用	選択					（追記）								
		ビジネス実践	必修	前期	イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	ビジネスフィールドリサーチⅠ（実習）	2	前期	インターンシップⅠ（実習）	12				
				後期	スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	インターンシップⅡ（実習）	12				
							後期	ビジネスフィールドリサーチⅡ（実習）	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	プログラミングⅠ（実習）	2	前期	ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
				前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	プログラミングⅡ（実習）	2	後期	システム設計演習	2							
				後期	ネットワーク技術	2										
			選択				後期	情報系数学応用B	2	前期	情報系数学応用C	2				
		システムデザイン応用	選択										前期	スーパーコンピュータ	2	
		ネットワークセキュリティ	選択				前期	ネットワーク構築Ⅰ	2	前期	ネットワーク構築Ⅲ	2				
							後期	ネットワーク構築Ⅱ	2							
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	ビジネス英語実習Ⅰ（実習）	2	前期	ビジネス英語実習Ⅲ（実習）	2							
				後期	ビジネス英語実習Ⅱ（実習）	2	後期	ビジネス英語実習Ⅳ（実習）	2							
			選択				前期	英語アカデミックリテラシー	2	前期	英語通訳論	2	後期	英語ネゴシエーション	2	
							後期	実践英語：多文化理解	2	後期	実践英語：日本文化	2				
										後期	実践英語：製造業	2				
					単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総合科目		―	必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	37		合計単位数	39		合計単位数	10	128

（追記）

旧　[資料 12-③　履修モデル]

③　起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	－	必修	前期	イノベーションの志	2	前期	キャリアデザインⅠ	1	後期	キャリアデザインⅡ	1				
				前期	スタディスキル	2										
				前期	英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	リサーチ入門	2										
				後期	英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	数学基礎A	2	前期	先端グローバル社会	2							
				後期	数学基礎B	2										
				後期	数学基礎C	2										
					単位数	16		単位数	3		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	マーケティング基礎	2										
				後期	法務リテラシーⅠ	2										
				後期	アカウンティング基礎	2										
			選択													
		ビジネス応用	選択				前期	アカウンティング応用	2	後期	地域創生とイノベーション	2	後期	税務会計・会計処理	2	
							後期	ファイナンス入門	2	後期	コーポレートファイナンス	2				
		ビジネス実践	必修	前期	イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	インターンシップⅠ	12				
				後期	スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	インターンシップⅡ	12				
							後期	ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	プログラミングⅠ	2	前期	ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
				前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	プログラミングⅡ	2	後期	システム設計演習	2							
				後期	ネットワーク技術	2										
			選択													
		システムデザイン応用	選択				前期	Webシステム演習	2							
							前期	インタラクティブ・システムデザイン	2							
		ネットワークセキュリティ	選択					（追記）								
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	－	必修	前期	ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	英語ビジネスマネジメント	2	後期	英語ディスカッション・ディベート	2	前期	実践英語：ファイナンス	2	
							後期	実践英語：多文化理解	2				前期	英語プレゼンテーション	2	
													後期	英語ネゴシエーション	2	
					単位数	4		単位数	8		単位数	2		単位数	6	20
総合科目			必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	35		合計単位数	35		合計単位数	14	128

（追記）

（新旧対照表）別紙 3（設置の趣旨等を記載した書類　資料 19　カリキュラムマップ）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　資料 15　時間割（前期）

新

		実習室①	実習室②	演習室①	演習室②	演習室③	演習室④	演習室⑤	演習室⑥	演習室⑦	演習室⑧	演習室⑨	演習室⑩	講義室①	講義室②	講義室③	講義室④	講義室⑤	講義室⑥	講義室⑦
月	1	1年【実習】プログラミングⅠ（寺脇）	1年【実習】ビジネス英語実習Ⅰ（Hug）											1年【講義】数学基礎A（碓）	2年【演習】データベース（片桐）					
	2											4年【演習】実践英語：IoT（市川）		1年【講義】数学基礎A（碓）	2年【演習】データベース（片桐）	2年【講義】職業倫理（小林奥）			2年【講義】アカウンティング応用（中嶋）	
	3	1年【実習】プログラミングⅠ（寺脇）	1年【実習】ビジネス英語実習Ⅰ（Hug）									4年【演習】英語プレゼンテーション（佐伯）		1年【講義】数学基礎A（碓）	2年【演習】データベース（片桐）	2年【講義】先端グローバル社会（小林久）		3年(4-5月のみ)【講義】英語通訳論（阿部川）	2年【講義】アカウンティング応用（中嶋）	
	4				1年【演習】オペレーティングシステム（井澤）							4年【演習】実践英語：ファイナンス（佐伯）		1年【講義】数学基礎A（碓）	2年【演習】データベース（片桐）	2年【講義】情報系数学応用A（落合）				
	5	1年【実習】プログラミングⅠ（寺脇）	1年【実習】ビジネス英語実習Ⅰ（阿部川）		1年【演習】オペレーティングシステム（井澤）			4年【演習】総合実践演習（川上）	4年【演習】総合実践演習（難波）	4年【演習】総合実践演習（江端）	4年【演習】総合実践演習（志村）			1年【講義】数学基礎A（碓）	2年【演習】データベース（片桐）	2年【講義】情報系数学応用A（落合）				
	6																			
火	1	1年【実習】プログラミングⅠ（寺脇）	1年【実習】ビジネス英語実習Ⅰ（藤井）																	
	2							3年(4-5月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（川上）	3年(4-5月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（久米）	3年(4-5月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（志村）	3年(4-5月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（乗浜）	3年(4-5月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（松村）				2年【講義】マーケティング応用（富澤）				
	3	1年【実習】プログラミングⅠ（寺脇）	1年【実習】ビジネス英語実習Ⅰ（Hug）					4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（川上）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（久米）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（志村）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（乗浜）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（松村）			2年【講義】オペレーションズマネジメント（三澤）	2年【講義】法務リテラシーⅡ（境）		3年(4-5月のみ)【講義】情報系数学応用C（落合）		
	4							2年【演習】イノベーションプロジェクトⅢ（川上）	2年【演習】イノベーションプロジェクトⅢ（久米）	2年【演習】イノベーションプロジェクトⅢ（志村）	2年【演習】イノベーションプロジェクトⅢ（乗浜）	2年【演習】イノベーションプロジェクトⅢ（松村）								
	5					2年【演習】インタラクティブシステムデザイン（[illegible]）	3年(4-5月のみ)【講義】モデル化と要求事項（寺脇）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅠ（川上）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅠ（久米）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅠ（志村）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅠ（乗浜）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅠ（松村）				2年【講義】法務リテラシーⅡ（境）		3年(4-5月のみ)【講義】ビジネスゲームによる経営意思決定（寺裏）		
	6																		4年【講義】新興市場における事業開発（志村）	
水	1		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅲ（阿部川）						3年(4-5月のみ)【演習】情報技術演習Ⅱ（鎌谷）					1年【講義】スタディスキル（加藤）	1年【講義】マーケティング基礎（富澤）					
	2					2年【演習】Webシステム演習（落合）					4年【演習】AI（Adrian、落合）			1年【講義】スタディスキル（加藤）	1年【講義】マーケティング基礎（富澤）	2年【講義】職業倫理（小林奥）				
	3		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅲ（Hug）				2年【演習】ネットワーク構築Ⅰ（山内）							1年【講義】スタディスキル（加藤）	1年【講義】マーケティング基礎（富澤）	2年【講義】先端グローバル社会（小林久）		3年(4-5月のみ)【講義】英語通訳論（阿部川）	4年【講義】デザインと経営（小林久）	
	4						2年【演習】ネットワーク構築Ⅰ（山内）	2年【演習】ソフトウェア設計・構築（桐谷）						1年【講義】スタディスキル（加藤）	1年【講義】マーケティング基礎（富澤）				4年【講義】クロステックビジネスデザイン（[illegible]）	
	5		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅲ（Hug）					2年【演習】ソフトウェア設計・構築（桐谷）	4年【演習】総合実践演習（寺脇）	4年【演習】総合実践演習（平山）	4年【演習】総合実践演習（久米）	4年【演習】総合実践演習（三澤）		1年【講義】スタディスキル（加藤）	1年【講義】マーケティング基礎（富澤）	3年(4-5月のみ)【講義】情報系数学応用C（落合）		3年(4-5月のみ)【講義】英語通訳論（阿部川）	1年【講義】[illegible]	
	6							4年【演習】総合実践演習（中嶋）	4年【演習】総合実践演習（富澤）	4年【演習】総合実践演習（碓）	4年【演習】総合実践演習（片桐）	4年【演習】総合実践演習（加藤）								
木	1							2年【演習】ソフトウェア設計・構築（桐谷）	2年【演習】英語アカデミック・リテラシー（奥村）					1年【講義】マネジメント（経営学基礎）（[illegible]）	1年【講義】コンピュータとソフトウェア基礎（[illegible]）			3年(4-5月のみ)【演習】情報セキュリティ演習Ⅱ（平山）		
	2						2年【演習】ネットワーク構築Ⅰ（山内）	2年【演習】ソフトウェア設計・構築（桐谷）	2年【演習】英語アカデミック・リテラシー（奥村）		4年【演習】スーパーコンピュータ（堀田）	4年【演習】英語プレゼンテーション（佐伯）		1年【講義】マネジメント（経営学基礎）（[illegible]）	1年【講義】コンピュータとソフトウェア基礎（[illegible]）					
	3						3年(4-5月のみ)【演習】ネットワーク構築Ⅲ（山内）	2年【演習】ソフトウェア設計・構築（桐谷）	2年【演習】英語アカデミック・リテラシー（奥村）		4年【演習】実践英語：IoT（市川）	4年【演習】実践英語：ファイナンス（佐伯）		1年【講義】マネジメント（経営学基礎）（[illegible]）	1年【講義】コンピュータとソフトウェア基礎（[illegible]）					
	4							2年【実習】ビジネスフィールドリサーチⅠ（川上）	2年【実習】ビジネスフィールドリサーチⅠ（久米）	2年【実習】ビジネスフィールドリサーチⅠ（各務）	2年【実習】ビジネスフィールドリサーチⅠ（乗浜）	2年【実習】ビジネスフィールドリサーチⅠ（松村）		1年【講義】マネジメント（経営学基礎）（[illegible]）	1年【講義】コンピュータとソフトウェア基礎（[illegible]）					
	5													1年【講義】マネジメント（経営学基礎）（[illegible]）	1年【講義】コンピュータとソフトウェア基礎（[illegible]）			3年(4-5月のみ)【講義】人的資源管理論（青田）		
	6																			
金	1		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅲ（藤井）	1年【演習】データ構造と処理法（片桐）	1年【演習】英語コア・スキルズⅠ（奥村）			3年(4-5月のみ)【演習】実践英語：日本文化（市川）				4年【演習】実践英語：IoT（市川）		1年【講義】イノベーションの志（中村）	2年【講義】キャリアデザインⅠ（富澤）					
	2			1年【演習】データ構造と処理法（片桐）	1年【演習】英語コア・スキルズⅠ（奥村）							4年【演習】英語プレゼンテーション（佐伯）		1年【講義】イノベーションの志（中村）	2年【講義】キャリアデザインⅠ（富澤）					
	3		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅲ（Joe）	1年【演習】データ構造と処理法（片桐）	1年【演習】英語コア・スキルズⅠ（奥村）			3年(4-5月のみ)【演習】実践英語：日本文化（市川）				4年【演習】実践英語：ファイナンス（佐伯）		1年【講義】イノベーションの志（中村）	2年【講義】キャリアデザインⅠ（富澤）			3年(4-5月のみ)【講義】ソフトウェアプロセスと品質（寺脇）		
	4			1年【演習】データ構造と処理法（片桐）	1年【演習】英語コア・スキルズⅠ（奥村）									1年【講義】イノベーションの志（中村）	2年【講義】キャリアデザインⅠ（富澤）	2年【講義】モバイルサービス概論（碓）				
	5			1年【演習】データ構造と処理法（片桐）	1年【演習】英語コア・スキルズⅠ（奥村）			3年(4-5月のみ)【演習】実践英語：日本文化（市川）	4年【演習】総合実践演習（鎌谷）	4年【演習】総合実践演習（堀田）	4年【演習】総合実践演習（落合）	4年【演習】総合実践演習（桐谷）		1年【講義】イノベーションの志（中村）	2年【講義】キャリアデザインⅠ（富澤）	2年【講義】モバイルサービス概論（碓）				
	6																			
土	1						3年【実習】インターンシップⅠ事前指導(4-5月)事後指導(8月)（富澤）	3年【実習】インターンシップⅠ事前指導(4-5月)事後指導(8月)（久米）	3年【実習】インターンシップⅠ事前指導(4-5月)事後指導(8月)（井澤）	3年【実習】インターンシップⅠ事前指導(4-5月)事後指導(8月)（加藤）	3年【実習】インターンシップⅠ事前指導(4-5月)事後指導(8月)（山内）									
	2																			
	3																			
	4																			
	5																			
	6																			

資料 15　時間割（前期）

旧

		演習室1	演習室2	演習室1	演習室2	演習室3	演習室4	演習室5	演習室6	演習室7	演習室8	演習室9	演習室10	講義室1	講義室2	講義室3	講義室4	講義室5	講義室6	講義7
月	1		1年 【実習】 プログラミング Ⅰ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習 Ⅰ （Hug）										1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【演習】 データベース （片桐）					
	2											4年 【演習】 実践英語：IoT （市川）		1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【演習】 データベース （片桐）	2年 【講義】 職業倫理 （小林巣）			（過記）	
	3		1年 【実習】 プログラミング Ⅰ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習 Ⅰ （Hug）								4年 【演習】 英語プレゼンテーション （佐伯）		1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【演習】 データベース （片桐）	2年 【講義】 先端グローバル社会 （小林久）		3年(4-5月のみ) 【講義】 英語通訳論 （阿部川）	（過記）	
	4				1年 【演習】 オペレーティングシステム （井澤）							4年 【演習】 実践英語：ファイナンス （佐伯）		1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【演習】 データベース （片桐）	2年 【講義】 情報系数学応用A （落合）				
	5		1年 【実習】 プログラミング Ⅰ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習 Ⅰ （阿部川）	1年 【演習】 オペレーティングシステム （井澤）			4年 【演習】 総合実践演習 （川上）	4年 【演習】 総合実践演習 （梶波）	4年 【演習】 総合実践演習 （江頭）	4年 【演習】 総合実践演習 （志村）			1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【演習】 データベース （片桐）	2年 【講義】 情報系数学応用A （落合）				
	6																			
火	1		1年 【実習】 プログラミング Ⅰ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習 Ⅰ （藤井）																
	2							3年(4-5月) 【演習】 イノベーションロジェクトⅤ （川上）	3年(4-5月) 【演習】 イノベーションロジェクトⅤ （久米）	3年(4-5月) 【演習】 イノベーションロジェクトⅤ （志村）	3年(4-5月) 【演習】 イノベーションロジェクトⅤ （栗浜）	3年(4-5月) 【演習】 イノベーションロジェクトⅤ （松村）				2年 【講義】 マーケティング応用 （富澤）				
	3		1年 【実習】 プログラミング Ⅰ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習 Ⅰ （Hug）				4年 【演習】 イノベーションロジェクトⅥ （川上）	4年 【演習】 イノベーションロジェクトⅥ （久米）	4年 【演習】 イノベーションロジェクトⅥ （志村）	4年 【演習】 イノベーションロジェクトⅥ （栗浜）	4年 【演習】 イノベーションロジェクトⅥ （松村）			2年 【講義】 オペレーションズマネジメント （三澤）	（過記）		3年(4-5月のみ) 【講義】 情報系数学応用C （落合）		
	4							2年 【演習】 イノベーションロジェクトⅢ （川上）	2年 【演習】 イノベーションロジェクトⅢ （久米）	2年 【演習】 イノベーションロジェクトⅢ （志村）	2年 【演習】 イノベーションロジェクトⅢ （栗浜）	2年 【演習】 イノベーションロジェクトⅢ （松村）								
	5					2年 【演習】 インタラクティブシステムデザイン （井澤）	3年(4-5月のみ) 【講義】 モデル化と要求事項 （寺脇）	1年 【演習】 イノベーションロジェクトⅠ （川上）	1年 【演習】 イノベーションロジェクトⅠ （久米）	1年 【演習】 イノベーションロジェクトⅠ （志村）	1年 【演習】 イノベーションロジェクトⅠ （栗浜）	1年 【演習】 イノベーションロジェクトⅠ （松村）				2年 【講義】 法務リテラシーⅡ （境）		3年(4-5月のみ) 【講義】 ビジネスゲームによる経営意思決定 （寺裏）		
	6																		4年 【講義】 新興市場における事業開発 （志村）	
水	1		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅲ （阿部川）						3年(4-5月のみ) 【演習】 情報技術演習Ⅱ （鎌谷）					1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）					
	2					2年 【演習】 Webシステム演習 （落合）					4年 【演習】 AI （Adrian、落合）			1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）	2年 【講義】 職業倫理 （小林巣）				
	3		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅲ （Hug）				2年 【演習】 ネットワーク構築Ⅰ （山内）							1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）	2年 【講義】 先端グローバル社会 （小林久）		3年(4-5月のみ) 【講義】 英語通訳論 （阿部川）	4年 【講義】 デザインと経営 （小林久）	
	4						（過記）	2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）						1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）				4年 【講義】 クロスセックビジネスデザイン （藤森）	
	5		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅲ （Hug）					2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）	4年 【演習】 総合実践演習 （寺脇）	4年 【演習】 総合実践演習 （平山）	4年 【演習】 総合実践演習 （久米）	4年 【演習】 総合実践演習 （三澤）		1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）	3年(4-5月のみ) 【講義】 情報系数学応用C （落合）		3年(4-5月のみ) 【講義】 英語通訳論 （阿部川）		
	6							4年 【演習】 総合実践演習 （中嶋）	4年 【演習】 総合実践演習 （富澤）	4年 【演習】 総合実践演習 （磯）	4年 【演習】 総合実践演習 （片桐）	4年 【演習】 総合実践演習 （加藤）								
木	1							2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）	2年 【演習】 英語アカデミック・リテラシー （奥村）					1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）			3年(4-5月のみ) 【演習】 情報セキュリティ演習Ⅱ （平山）		
	2						（過記）	2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）	2年 【演習】 英語アカデミック・リテラシー （奥村）		4年 【演習】 スーパーコンピュータ （堀田）	4年 【演習】 英語プレゼンテーション （佐伯）		1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）					
	3						3年(4-5月のみ) 【演習】 ネットワーク構築Ⅲ （山内）	2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）	2年 【演習】 英語アカデミック・リテラシー （奥村）		4年 【演習】 実践英語：IoT （市川）	4年 【演習】 実践英語：ファイナンス （佐伯）		1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）					
	4							2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅠ （川上）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅠ （久米）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅠ （各務）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅠ （栗浜）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅠ （松村）		1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）					
	5													1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）			3年(4-5月のみ) 【講義】 人的資源管理論 （青田）		
	6															2年 【講義】 アカウンティング応用 （中嶋）				
金	1		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅲ （藤井）	1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅠ （奥村）			3年(4-5月のみ) 【演習】 実践英語：日本文化 （市川）				4年 【演習】 実践英語：IoT （市川）		1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインⅠ （富澤）					
	2			1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅠ （奥村）							4年 【演習】 英語プレゼンテーション （佐伯）		1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインⅠ （富澤）					
	3		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅲ （Joe）	1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅠ （奥村）			3年(4-5月のみ) 【演習】 実践英語：日本文化 （市川）				4年 【演習】 実践英語：ファイナンス （佐伯）		1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインⅠ （富澤）			3年(4-5月のみ) 【講義】 ソフトウェアプロセスと品質 （寺脇）		
	4			1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅠ （奥村）									1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインⅠ （富澤）	2年 【講義】 モバイルサービス概論 （磯）				
	5			1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅠ （奥村）			3年(4-5月のみ) 【演習】 実践英語：日本文化 （市川）	4年 【演習】 総合実践演習 （鎌谷）	4年 【演習】 総合実践演習 （堀田）	4年 【演習】 総合実践演習 （落合）	4年 【演習】 総合実践演習 （桐谷）		1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインⅠ （富澤）	2年 【講義】 モバイルサービス概論 （磯）				
	6																			
土	1						3年 【実習】 インターンシップⅠ 事前指導(4-5月) 事後指導(5月) （富澤）	3年 【実習】 インターンシップⅠ 事前指導(4-5月) 事後指導(5月) （久米）	3年 【実習】 インターンシップⅠ 事前指導(4-5月) 事後指導(5月) （井澤）	3年 【実習】 インターンシップⅠ 事前指導(4-5月) 事後指導(5月) （加藤）	3年 【実習】 インターンシップⅠ 事前指導(4-5月) 事後指導(5月) （山内）									
	2																			
	3																			
	4																			
	5																			
	6																			

資料 15　時間割（後期）

新

		実習室①	実習室②	演習室①	演習室②	演習室③	演習室④	演習室⑤	演習室⑥	演習室⑦	演習室⑧	演習室⑨	演習室⑩	講義室①	講義室②	講義室③	講義室④	講義室⑤	講義室⑥	講義室⑦
月	1	1年【実習】プログラミングⅡ（寺脇）	1年【実習】ビジネス英語実習Ⅱ（Hug）		2年【演習】英語ビジネスマネジメント（阿部川）	2年【演習】情報技術演習Ⅰ（鎌谷）	3年(12-1月のみ)【演習】英語ディスカッション・ディベート（市川）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（江端）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（川上）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（難波）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（三澤）	4年【演習】英語ネゴシエーション（佐伯）								
	2				2年【演習】英語ビジネスマネジメント（阿部川）	2年【演習】情報技術演習Ⅰ（鎌谷）						4年【演習】英語ネゴシエーション（佐伯）			3年(12-1月)【講義】キャリアデザインⅡ（富澤）					
	3	1年【実習】プログラミングⅡ（寺脇）	1年【実習】ビジネス英語実習Ⅱ（Hug）		2年【演習】英米文学演習（阿部川）	2年【演習】情報技術演習Ⅰ（鎌谷）	3年(12-1月のみ)【演習】英語ディスカッション・ディベート（市川）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（片桐）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（志村）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（富澤）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（三澤）	3年(12-1月のみ)【演習】クラウド（各務）			3年(12-1月)【講義】キャリアデザインⅡ（富澤）					
	4					2年【演習】情報技術演習Ⅰ（鎌谷）										2年【講義】科学史（大和）				
	5	1年【実習】プログラミングⅡ（寺脇）	1年【実習】ビジネス英語実習Ⅱ（阿部川）			2年【演習】情報技術演習Ⅰ（鎌谷）		4年【演習】総合実践演習（川上）	4年【演習】総合実践演習（難波）	4年【演習】総合実践演習（江端）	4年【演習】総合実践演習（志村）				3年(12-1月)【講義】キャリアデザインⅡ（富澤）	2年【講義】科学史（大和）				
	6																			
火	1	1年【実習】プログラミングⅡ（寺脇）	1年【実習】ビジネス英語実習Ⅱ（藤井）			2年【演習】実践英語：多文化理解（市川）									2年【講義】情報システムのプロジェクト管理（栗山）					
	2					2年【演習】問題形成と問題解決（三澤）		3年(12-1月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（川上）	3年(12-1月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（久米）	3年(12-1月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（志村）	3年(12-1月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（奥浜）	3年(12-1月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（松村）		1年【講義】コンピュータアーキテクチャ（堀田）						
	3	1年【実習】プログラミングⅡ（寺脇）	1年【実習】ビジネス英語実習Ⅱ（Hug）			2年【演習】ネットワーク構築Ⅱ（山内）	3年(12-1月のみ)【演習】英語ディスカッション・ディベート（市川）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（川上）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（久米）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（志村）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（奥浜）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（松村）		1年【講義】コンピュータアーキテクチャ（堀田）	2年【講義】データサイエンス（磯、Adrian）					
	4							2年【演習】イノベーションプロジェクトⅣ（川上）	2年【演習】イノベーションプロジェクトⅣ（久米）	2年【演習】イノベーションプロジェクトⅣ（志村）	2年【演習】イノベーションプロジェクトⅣ（奥浜）	2年【演習】イノベーションプロジェクトⅣ（松村）					4年【講義】税務会計・会計処理（辻）			
	5					2年【演習】実践英語：多文化理解（市川）	3年(12-1月のみ)【演習】実践英語：製造業（佐伯）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅡ（川上）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅡ（久米）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅡ（志村）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅡ（奥浜）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅡ（松村）			2年【講義】データサイエンス（磯、Adrian）					
	6					2年【演習】実践英語：多文化理解（市川）														
水	1		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅳ（Hug）	1年【演習】英語コア・スキルズⅡ（奥村）	2年【演習】英米文学演習（阿部川）			3年(12-1月のみ)【演習】コーポレートファイナンス（辻）	3年(12-1月のみ)【演習】ビッグデータ（落合、加藤）					1年【講義】アカウンティング入門（中嶋）	1年【講義】数学基礎C（磯）					
	2			1年【演習】英語コア・スキルズⅡ（奥村）	2年【演習】英語ビジネスマネジメント（阿部川）						4年【演習】実践英語：イノベーション（三澤）	4年【演習】英語ネゴシエーション（佐伯）		1年【講義】アカウンティング入門（中嶋）	1年【講義】数学基礎C（磯）					
	3		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅳ（Hug）	1年【演習】英語コア・スキルズⅡ（奥村）	2年【演習】英米文学演習（阿部川）			3年(12-1月のみ)【演習】システムインテグレーション（平山、桐谷）	3年(12-1月のみ)【演習】IoT（鎌谷、Adrian）		4年【演習】実践英語：イノベーション（三澤）			1年【講義】アカウンティング入門（中嶋）	1年【講義】数学基礎C（磯）					
	4			1年【演習】英語コア・スキルズⅡ（奥村）			2年【演習】システム設計演習（桐谷）				4年【演習】実践英語：イノベーション（三澤）			1年【講義】アカウンティング入門（中嶋）	1年【講義】数学基礎C（磯）					
	5		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅳ（阿部川）	1年【演習】英語コア・スキルズⅡ（奥村）			2年【演習】システム設計演習（桐谷）		4年【演習】総合実践演習（寺脇）	4年【演習】総合実践演習（平山）	4年【演習】総合実践演習（久米）	4年【演習】総合実践演習（三澤）		1年【講義】アカウンティング入門（中嶋）	1年【講義】数学基礎C（磯）					
	6						4年【演習】総合実践演習（中嶋）		4年【演習】総合実践演習（富澤）	4年【演習】総合実践演習（磯）	4年【演習】総合実践演習（片桐）	4年【演習】総合実践演習（加藤）								
木	1			1年【講義】リサーチ入門（難波）				3年(12-1月のみ)【演習】英語ディスカッション・ディベート（市川）		3年(12-1月のみ)【演習】クラウド（井澤）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（久米）			1年【講義】スタートアップ基礎(起業論)（江端）		2年【講義】組織行動論（青田）				
	2			1年【講義】リサーチ入門（難波）			2年【演習】システム設計演習（桐谷）							1年【講義】スタートアップ基礎(起業論)（江端）		2年【講義】ファイナンス入門(中嶋)				
	3			1年【講義】リサーチ入門（難波）			2年【演習】システム設計演習（桐谷）	3年(12-1月のみ)【演習】実践英語：製造業（佐伯）	3年(12-1月のみ)【演習】IoT（鎌谷、Adrian）	3年(12-1月のみ)【演習】地域創生とイノベーション（久米）				1年【講義】スタートアップ基礎(起業論)（江端）		2年【講義】情報系数学応用B(片桐)				
	4			1年【講義】リサーチ入門（難波）			2年【演習】システム設計演習（桐谷）							1年【講義】スタートアップ基礎(起業論)（江端）		2年【講義】情報系数学応用B(片桐)				
	5			1年【講義】リサーチ入門（難波）				2年【演習】ビジネスフィールドリサーチⅡ（川上）	2年【演習】ビジネスフィールドリサーチⅡ（久米）	2年【演習】ビジネスフィールドリサーチⅡ（各務）	2年【演習】ビジネスフィールドリサーチⅡ（奥浜）	2年【演習】ビジネスフィールドリサーチⅡ（松村）		1年【講義】スタートアップ基礎(起業論)（江端）						
	6																			
金	1		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅳ（藤井）						3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（磯）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（加藤）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（鎌谷）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（堀田）		1年【講義】法務リテラシーⅠ（境）	1年【講義】数学基礎B（落合）	1年【講義】ネットワーク技術（Adrian、山内）				
	2							2年【演習】情報セキュリティ演習Ⅰ（平山）						1年【講義】法務リテラシーⅠ（境）	1年【講義】数学基礎B（落合）	1年【講義】ネットワーク技術（Adrian、山内）	2年【講義】ICTと人間（藤森）			
	3		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅳ（Hug）					2年【演習】情報セキュリティ演習Ⅰ（平山）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（落合）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（桐谷）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（寺脇）	3年(12-1月のみ)【演習】総合理論演習（平山）		1年【講義】法務リテラシーⅠ（境）	1年【講義】数学基礎B（落合）	1年【講義】ネットワーク技術（Adrian、山内）	2年【講義】ICTと人間（藤森）			
	4													1年【講義】法務リテラシーⅠ（境）	1年【講義】数学基礎B（落合）	1年【講義】ネットワーク技術（Adrian、山内）	3年(12-1月)【講義】キャリアデザインⅡ（富澤）			
	5							2年【演習】情報セキュリティ演習Ⅰ（平山）	4年【演習】総合実践演習（鎌谷）	4年【演習】総合実践演習（堀田）	4年【演習】総合実践演習（落合）	4年【演習】総合実践演習（桐谷）		1年【講義】法務リテラシーⅠ（境）	1年【講義】数学基礎B（落合）	1年【講義】ネットワーク技術（Adrian、山内）	3年(12-1月)【講義】キャリアデザインⅡ（富澤）			
	6																			
土	1						3年【実習】インターンシップⅡ事前指導(9月)事後指導(12月)（富澤）	3年【実習】インターンシップⅡ事前指導(9月)事後指導(12月)（久米）	3年【実習】インターンシップⅡ事前指導(9月)事後指導(12月)（井澤）	3年【実習】インターンシップⅡ事前指導(9月)事後指導(12月)（加藤）	3年【実習】インターンシップⅡ事前指導(9月)事後指導(12月)（山内）									
	2																			
	3																			
	4																			
	5																			
	6																			

資料 15　時間割（後期）

旧

		実習室①	実習室②	演習室①	演習室②	演習室③	演習室④	演習室⑤	演習室⑥	演習室⑦	演習室⑧	演習室⑨	演習室⑩	講義室①	講義室②	講義室③	講義室④	講義室⑤	講義室⑥	講義⑦
月	1		1年【実習】プログラミングⅡ（寺脇）	1年【演習】ビジネス英語実習Ⅱ（Hug）	2年【演習】英語ビジネスマネジメント（阿部川）	2年【演習】情報技術演習Ⅰ（鎌谷）	3年(12-1月の み)【演習】英語ディスカッション・ディベート（市川）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（江端）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（川上）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（難波）	(通記)	4年【演習】英語ネゴシエーション（佐伯）								
	2				2年【演習】英語ビジネスマネジメント（阿部川）	2年【演習】情報技術演習Ⅰ（鎌谷）						4年【演習】英語ネゴシエーション（佐伯）			3年(12-1月)【講義】キャリアデザインⅡ（富澤）					
	3		1年【実習】プログラミングⅡ（寺脇）	1年【演習】ビジネス英語実習Ⅱ（Hug）	2年【演習】英米文学演習（阿部川）	2年【演習】情報技術演習Ⅰ（鎌谷）	3年(12-1月の み)【演習】英語ディスカッション・ディベート（佐伯）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（片桐）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（志村）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（富澤）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（三澤）	(通記)			3年(12-1月)【講義】キャリアデザインⅡ（富澤）					
	4					2年【演習】情報技術演習Ⅰ（鎌谷）										2年【講義】科学史（大和）				
	5		1年【実習】プログラミングⅡ（寺脇）	1年【演習】ビジネス英語実習Ⅱ（阿部川）		2年【演習】情報技術演習Ⅰ（鎌谷）		4年【演習】総合実践演習（川上）	4年【演習】総合実践演習（難波）	4年【演習】総合実践演習（江端）	4年【演習】総合実践演習（志村）				3年(12-1月)【講義】キャリアデザインⅡ（富澤）	2年【講義】科学史（大和）				
	6																			
火	1		1年【実習】プログラミングⅡ（寺脇）	1年【演習】ビジネス英語実習Ⅱ（藤井）		2年【演習】実践英語：多文化理解（市川）									2年【講義】情報システムのプロジェクト管理（平山）					
	2					2年【演習】問題形成と問題解決（三澤）		3年(12-1月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（川上）	3年(12-1月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（久米）	3年(12-1月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（志村）	3年(12-1月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（栗浜）	3年(12-1月)【演習】イノベーションプロジェクトⅤ（松村）		1年【講義】コンピュータアーキテクチャ（堀田）						
	3		1年【実習】プログラミングⅡ（寺脇）	1年【演習】ビジネス英語実習Ⅱ（Hug）		2年【演習】ネットワーク構築Ⅱ（山内）	3年(12-1月の み)【演習】英語ディスカッション・ディベート（市川）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（川上）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（久米）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（志村）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（栗浜）	4年【演習】イノベーションプロジェクトⅥ（松村）		1年【講義】コンピュータアーキテクチャ（堀田）	2年【講義】データサイエンス（徽、Adrian）					
	4							2年【演習】イノベーションプロジェクトⅣ（川上）	2年【演習】イノベーションプロジェクトⅣ（久米）	2年【演習】イノベーションプロジェクトⅣ（志村）	2年【演習】イノベーションプロジェクトⅣ（栗浜）	2年【演習】イノベーションプロジェクトⅣ（松村）					4年【講義】税務会計・会計処理（辻）			
	5					2年【演習】実践英語：多文化理解（市川）	3年(12-1月の み)【演習】実践英語：製造業（佐伯）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅡ（川上）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅡ（久米）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅡ（志村）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅡ（栗浜）	1年【演習】イノベーションプロジェクトⅡ（松村）			2年【講義】データサイエンス（徽、Adrian）					
	6					2年【演習】実践英語：多文化理解（市川）														
水	1		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅳ（Hug）	1年【演習】英語コア・スキルズⅡ（奥村）	2年【演習】英米文学演習（阿部川）			3年(12-1月の み)【演習】コーポレートファイナンス（辻）	3年(12-1月の み)【演習】ビッグデータ（落合、加藤）					1年【講義】アカウンティング入門（中嶋）	1年【講義】数学基礎C（徽）					
	2			1年【演習】英語コア・スキルズⅡ（奥村）	2年【演習】英語ビジネスマネジメント（阿部川）						4年【演習】実践英語：イノベーション（三澤）	4年【演習】英語ネゴシエーション（佐伯）		1年【講義】アカウンティング入門（中嶋）	1年【講義】数学基礎C（徽）					
	3		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅳ（Hug）	1年【演習】英語コア・スキルズⅡ（奥村）	2年【演習】英米文学演習（阿部川）			3年(12-1月の み)【演習】システムインテグレーション（平山、桐谷）	(通記)		4年【演習】実践英語：イノベーション（三澤）			1年【講義】アカウンティング入門（中嶋）	1年【講義】数学基礎C（徽）					
	4			1年【演習】英語コア・スキルズⅡ（奥村）			2年【演習】システム設計演習（桐谷）				4年【演習】実践英語：イノベーション（三澤）			1年【講義】アカウンティング入門（中嶋）	1年【講義】数学基礎C（徽）					
	5		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅳ（阿部川）	1年【演習】英語コア・スキルズⅡ（奥村）			2年【演習】システム設計演習（桐谷）		4年【演習】総合実践演習（寺脇）	4年【演習】総合実践演習（平山）	4年【演習】総合実践演習（久米）	4年【演習】総合実践演習（三澤）		1年【講義】アカウンティング入門（中嶋）	1年【講義】数学基礎C（徽）					
	6						4年【演習】総合実践演習（中嶋）		4年【演習】総合実践演習（富澤）	4年【演習】総合実践演習（徽）	4年【演習】総合実践演習（片桐）	4年【演習】総合実践演習（加藤）								
木	1			1年【講義】リサーチ入門（難波）				3年(12-1月の み)【演習】英語ディスカッション・ディベート（市川）		3年(12-1月の み)【演習】クラウド（井澤）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（久米）			1年【講義】スタートアップ基礎(起業論)（江端）		2年【講義】組織行動論（有田）				
	2			1年【講義】リサーチ入門（難波）			2年【演習】システム設計演習（桐谷）							1年【講義】スタートアップ基礎(起業論)（江端）		2年【講義】ファイナンス入門（中嶋）				
	3			1年【講義】リサーチ入門（難波）			2年【演習】システム設計演習（桐谷）	3年(12-1月の み)【演習】実践英語：製造業（佐伯）	3年(12-1月の み)【演習】IoT（鎌谷、Adrian）	3年(12-1月の み)【演習】地域創生とイノベーション（久米）				1年【講義】スタートアップ基礎(起業論)（江端）		2年【講義】情報系数学応用B（片桐）				
	4			1年【講義】リサーチ入門（難波）			2年【演習】システム設計演習（桐谷）							1年【講義】スタートアップ基礎(起業論)（江端）		2年【講義】情報系数学応用B（片桐）				
	5			1年【講義】リサーチ入門（難波）				2年【実習】ビジネスフィールドリサーチⅡ（川上）	2年【実習】ビジネスフィールドリサーチⅡ（久米）	2年【実習】ビジネスフィールドリサーチⅡ（各務）	2年【実習】ビジネスフィールドリサーチⅡ（栗浜）	2年【実習】ビジネスフィールドリサーチⅡ（松村）		1年【講義】スタートアップ基礎(起業論)（江端）						
	6																			
金	1		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅳ（藤井）					(通記)	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（徽）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（加藤）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（鎌谷）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（堀田）		1年【講義】法務リテラシーⅠ（境）	1年【講義】数学基礎B（落合）	1年【講義】ネットワーク技術（Adrian、山内）				
	2													1年【講義】法務リテラシーⅠ（境）	1年【講義】数学基礎B（落合）	1年【講義】ネットワーク技術（Adrian、山内）	2年【講義】ICTと人間（藤森）			
	3		2年【実習】ビジネス英語実習Ⅳ（Hug）						3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（落合）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（桐谷）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（寺脇）	3年(12-1月の み)【演習】総合理論演習（平山）		1年【講義】法務リテラシーⅠ（境）	1年【講義】数学基礎B（落合）	1年【講義】ネットワーク技術（Adrian、山内）	2年【講義】ICTと人間（藤森）			
	4													1年【講義】法務リテラシーⅠ（境）	1年【講義】数学基礎B（落合）	1年【講義】ネットワーク技術（Adrian、山内）	3年(12-1月)【講義】キャリアデザインⅡ（富澤）			
	5							2年【演習】情報セキュリティ演習Ⅰ（平山）	4年【演習】総合実践演習（鎌谷）	4年【演習】総合実践演習（堀田）	4年【演習】総合実践演習（落合）	4年【演習】総合実践演習（桐谷）		1年【講義】法務リテラシーⅠ（境）	1年【講義】数学基礎B（落合）	1年【講義】ネットワーク技術（Adrian、山内）	3年(12-1月)【講義】キャリアデザインⅡ（富澤）			
	6																			
土	1						3年【実習】インターンシップⅡ事前指導(9月)事後指導(12月)（富澤）	3年【実習】インターンシップⅡ事前指導(9月)事後指導(12月)（久米）	3年【実習】インターンシップⅡ事前指導(9月)事後指導(12月)（井澤）	3年【実習】インターンシップⅡ事前指導(9月)事後指導(12月)（加藤）	3年【実習】インターンシップⅡ事前指導(9月)事後指導(12月)（山内）									
	2																			
	3																			
	4																			
	5																			
	6																			

（新旧対照表）教員名簿[教員の氏名等]

新

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
2	専	ﾅｶｼﾞﾏ(ｶﾜﾑﾗ)ﾘｭｳｲﾁ 中嶋(川村)隆一 ＜令和２年４月＞	アカウンティング入門	10	5
			アカウンティング応用	4	2
			ファイナンス	2	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
4	専	ｴｲﾄﾞﾘｱﾝ　ﾃﾞｲﾋﾞｯﾄﾞ ﾁｪｵｯｸ Adrian David Cheok ＜令和２年４月＞	AI	1	1
			ネットワーク技術	5	5
			データサイエンス	2	2
			IoT	2	2

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
5	専	ﾔﾏﾉｳﾁ　ﾏｻﾄ 山内　正人 ＜令和２年４月＞	インターンシップⅠ	12	1
			インターンシップⅡ	12	1
			ネットワーク技術	5	5
			ネットワーク構築Ⅰ	6	3
			ネットワーク構築Ⅱ	2	1
			ネットワーク構築Ⅲ	2	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
7	実専	ﾋﾗﾔﾏ　ﾄｼﾋﾛ 平山　敏弘 ＜令和２年４月＞	情報システムのプロジェクト管理	2	1
			システムインテグレーション	1	1

旧

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
2	専	ﾅｶｼﾞﾏ(ｶﾜﾑﾗ)ﾘｭｳｲﾁ 中嶋(川村)隆一 ＜令和２年４月＞	アカウンティング入門	10	5
			アカウンティング応用	2	1
			ファイナンス	2	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
4	専	ｴｲﾄﾞﾘｱﾝ　ﾃﾞｲﾋﾞｯﾄﾞ ﾁｪｵｯｸ Adrian David Cheok ＜平成32年４月＞	AI	1	1
			ネットワーク技術	5	5
			データサイエンス	2	2
			IoT	1	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
5	専	ﾔﾏﾉｳﾁ　ﾏｻﾄ 山内　正人 ＜平成32年４月＞	インターンシップⅠ	12	1
			インターンシップⅡ	12	1
			ネットワーク技術	5	5
			ネットワーク構築Ⅰ	2	1
			ネットワーク構築Ⅱ	2	1
			ネットワーク構築Ⅲ	2	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
7	実専	ﾋﾗﾔﾏ　ﾄｼﾋﾛ 平山　敏弘 ＜平成32年４月＞	情報システムのプロジェクト管理	2	1
			システムインテグレーション	1	1

			情報セキュリティ演習Ⅰ	6	3
			情報セキュリティ演習Ⅱ	2	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
14	実(研)	ｶﾄｳ　ﾅｵﾄ 加藤　直人 ＜令和２年４月＞	スタディスキル	10	5
			ビッグデータ	2	2
			インターンシップⅠ	12	1
			インターンシップⅡ	12	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
⑤	実(研)	ｶﾏﾀﾆ　ｵｻﾑ 鎌谷　修 ＜令和２年４月＞	情報技術演習Ⅰ	10	5
			情報技術演習Ⅱ	2	1
			IoT	2	2
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
17	実(研)	ｵﾁｱｲ　ｹｲﾋﾛ 落合　慶広 ＜令和２年４月＞	数学基礎Ｂ	10	5
			情報系数学応用Ａ	4	2
			ビッグデータ	2	2
			AI	1	1
			Web システム演習	2	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

			情報セキュリティ演習Ⅰ	2	1
			情報セキュリティ演習Ⅱ	2	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
14	実(研)	ｶﾄｳ　ﾅｵﾄ 加藤　直人 ＜平成32年４月＞	スタディスキル	10	5
			ビッグデータ	1	1
			インターンシップⅠ	12	1
			インターンシップⅡ	12	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
15	実(研)	ｶﾏﾀﾆ　ｵｻﾑ 鎌谷　修 ＜平成32年４月＞	情報技術演習Ⅰ	10	5
			情報技術演習Ⅱ	2	1
			IoT	1	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
17	実(研)	ｵﾁｱｲ　ｹｲﾋﾛ 落合　慶広 ＜平成32年４月＞	数学基礎Ｂ	10	5
			情報系数学応用Ａ	4	2
			ビッグデータ	1	1
			AI	1	1
			Web システム演習	2	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)
⑥	実み	ｶｶ゛ﾐ　ｼｹ゛ｵ 各務　茂雄 ＜令和２年４月＞	ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	1	株式会社 ドワンゴ ICT サービス 本部 本部長 (平 29.1) カドカワ 株式会社 情報 システム部 部長 (平 30.5) 株式会社 KADOKAWA ICT サービス 局　局長 (平 30.10) 株式会社 KADOKAWA Connected 代表取締役 社長 (平 31.4)
			ビジネスフィールドリサーチⅡ	2	1	
			クラウド	2	1	株式会社 KADOKAWA 執行役員 ICT サービス 局　局長 (平 30.10) 株式会社 KADOKAWA Connected 代表取締役 社長 (平 31.4)

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
25	実み	ｻｶｲ　ﾏｻﾖｼ 境　真良 ＜令和２年４月＞	法務リテラシーⅠ 法務リテラシーⅡ	10 4	5 2

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)
24	実み	ｶｶ゛ﾐ　ｼｹ゛ｵ 各務　茂雄 ＜平成 32 年４月＞	ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	1	株式会社 ドワンゴ ICT サービス 本部 本部長 (平 29.1) カドカワ 株式会社 情報 システム部 部長 (平 30.5) 株式会社 KADOKAWA ICT サービス 局　局長 (平 30.10) (追記)
			ビジネスフィールドリサーチⅡ	2	1	
			(追加)			カドカワ 株式会社 ICT サービス 本部 本部長 (平 30.5)

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
25	実み	ｻｶｲ　ﾏｻﾖｼ 境　真良 ＜令和２年４月＞	法務リテラシーⅠ 法務リテラシーⅡ	10 2	5 1

（新旧対照表）実務の経験等を有する専任教員一覧

新	旧
番号 16	番号 13
調書番号	調書番号

⑤ ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｶﾏﾀﾆ　ｵｻﾑ 鎌谷　修 ＜令和２年４月＞ 番号 20 調書番号 ⑥ ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｶｶﾞﾐ　ｼｹﾞｵ 各務　茂雄 ＜令和２年４月＞	15 ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｶﾏﾀﾆ　ｵｻﾑ 鎌谷　修 ＜平成 32 年４月＞ 番号 19 調書番号 24 ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｶｶﾞﾐ　ｼｹﾞｵ 各務　茂雄 ＜平成 32 年４月＞

（是正事項）情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

2. 【全体計画審査意見２・４の回答について】
＜卒業要件とディプロマ・ポリシーとの対応関係が不明確＞
履修モデルに示す科目は選択必修科目となっておらず、学生が履修モデル通りの科目を実際に履修をするかについて疑義があり、履修モデルと異なる履修状況での卒業も考えられるため、設定する卒業要件を満たすことでディプロマ・ポリシーを実現できるか不明確である。卒業要件とディプロマ・ポリシーの対応関係を説明するとともに、必要に応じてディプロマ・ポリシー及び卒業要件を改めること。

（対応）

履修モデルに示す科目は選択必修科目となっておらず、学生が履修モデル通りの科目を実際に履修をするかについて疑義があり、履修モデルと異なる履修状況での卒業も考えられるため、設定する卒業要件を満たすことでディプロマ・ポリシーを実現できるか不明確であるとのご指摘を踏まえ、養成する人材像に基づき、ディプロマ・ポリシーを実現することができるよう卒業要件を見直した。また、卒業要件を見直したことに伴い、履修モデルをこれに従ったものとなるよう改めた。卒業要件を見直し、選択必修科目を設定することで、基礎となる知識やスキルを習得し、習得した知識やスキルを応用・実践することが可能となることから、履修モデル通りに履修しなかった場合でも設定する卒業要件を満たすことでディプロマ・ポリシーを実現することができると考える。

＜卒業要件とディプロマ・ポリシーの関係について＞

卒業要件とディプロマ・ポリシーとの関係については、カリキュラムマップ（別紙１）およびカリキュラム構成図（別紙２）とあわせて具体的に示す。なお、ディプロマ・ポリシーには説明のため①－１）、２）など番号を付す。

基礎科目の科目設定については、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得する必要があると考え、ディプロマ・ポリシーで以下の通り具体的に定めている。

DP①－１）　自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。

DP①－２）　グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。

DP①－３）　変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

これらの能力を習得するため、基礎科目で修得すべき 20 単位のうち、必修科目を 7 科目 12 単位とし、DP①－１）の能力を「イノベーションの志」「スタディスキル」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」を通じ習得する。DP①－２）の能力を「英語コア・スキルズⅠ」「英語コア・スキルズⅡ」「リサー

チ入門」を通じ習得する。また、選択必修科目として、DP①－２）の能力を「先端グローバル社会」「職業倫理」「科学史」「ICT と人間」のうち 2 単位以上を習得し、課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を深める。DP①－３）の能力を「数学基礎 A」「数学基礎 B」「数学基礎 C」のうち 4 単位以上を修得し数的論理力、数的処理能力などの内容を学ぶことで習得する。あわせて、上記 6 単位も含む 8 単位以上を選択必修科目とし、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得する。

職業専門科目の科目設定については、経営に関する知識・スキルの習得と、情報通信技術に関する知識・スキルを習得させるため、それぞれディプロマ・ポリシーを定めた。

このうち、職業専門科目のうち経営に関する知識・スキルについてはディプロマ・ポリシーで以下の通り定めている。

DP②－１）　企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。

DP②－２）　市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。

DP②－３）　企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。

DP②－４）　新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

これらを習得するため、ビジネス領域を設定し、必修科目のうち 15 科目 50 単位と、選択必修科目として 2 科目 4 単位を修得する。

DP②－１）の能力については、必修科目として「マネジメント（経営学基礎）」「スタートアップ基礎（起業論）」を通じ習得する。また、選択必修科目として、「オペレーションズマネジメント」「問題形成と問題解決」「組織行動論」「ビジネスゲームによる経営意思決定」「人的資源管理論」「イノベーション特論」うち 2 単位以上を選択必修科目として修得し、必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践する。DP②－２）の能力については、必修科目として「マーケティング基礎」「ビジネスフィールドリサーチⅠ」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」を通じ習得する。DP②－３）の能力については、必修科目として「法務リテラシーⅠ」「アカウンティング入門」を通じ習得する。また、選択必修科目として、必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため「アカウンティング応用」「法務リテラシーⅡ」「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」のうち 2 単位以上を修得する。DP②－４）の能力については、必修科目として「イノベーションプロジェクトⅠ」「イノベーションプロジェクトⅡ」「イノベーションプロジェクトⅢ」「イノベーションプロジェクトⅣ」「イノベーションプロジェクトⅤ」「イノベーションプロジェクトⅥ」を通じ習得する。また、必修科目の「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」では、職業専門科目で修得したシステム開発スキルやビジネススキルの実践と学びの場として、2 科目 24 単位を修得する。これらを通じ、経営に関する知識・スキルを習得する。

職業専門科目のうち情報通信技術に関する知識・スキルについてはディプロマ・ポリシーで以下の通り

定めている。

DP③－１）　システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。

DP③－２）　コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。

DP③－３）　基本なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。

DP③－４）　データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。

DP③－５）　情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

これらを習得するため、情報通信技術領域では、必修科目のうち 9 科目 18 単位と、選択必修科目として 2 科目 4 単位を修得する。DP③－１）の能力については、必修科目として「プログラミングⅠ」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミングⅡ」「ソフトウェア設計・構築」「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」を通じ習得する。DP③－２）の能力については、必修科目として「プログラミングⅠ」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミングⅡ」「ソフトウェア設計・構築」を通じ習得する。DP③－３）の能力については、必修科目として「ネットワーク技術」を通じ習得する。また、選択必修科目として、必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「ネットワーク構築Ⅰ」「情報セキュリティ演習Ⅰ」から 2 単位以上を選択必修科目として修得する。DP③－４）の能力については、必修科目として「データ構造と処理法」「データベース」「情報技術演習Ⅰ」を通じ習得する。DP③－５）の能力については情報通信技術の知識やスキルを習得したうえで、新たなサービスを実現するためのコンセプト実証システムを設計構築する能力を応用的に学ぶ科目として「モバイルサービス概論」「Web システム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」「データサイエンス」「クラウド」「ビッグデータ」「IoT」「スーパーコンピュータ」「AI」のうち 2 単位以上を選択必修科目として修得する。これらを通じ、情報通信技術に関する知識・スキルを習得する。

なお、職業専門科目全体については、上記の選択必修科目を含め 14 単位以上を修得する。選択科目にはビジネス基礎で学んだ内容をより深める応用的な理論やケーススタディ、情報通信技術に関する基本的な技術・理論の成り立ちを解説するもの、情報システムに関するプロジェクトマネジメントや改善等についての知識やスキルをさらに深めるものなどが配置されている。これにより必修科目、選択必修科目で修得した経営や情報通信技術に関する知識・スキルについて、学びを深めるとともに、想定される卒業後の進路に応じた学習展開が可能である。これらを通じ、職業分野全般に必要となる経営や情報通信技術に関する能力を習得する。

展開科目・グローバルコミュニケーションの科目設定については、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付ける必要があると考え、ディプロマ・ポリシーで以下の通り具体的に定めている。

DP④－１）　英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。

DP④－２）　文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

これらの能力を習得するため、展開科目で修得すべき 20 単位のうち、必修科目を 4 科目 8 単位とし、DP④－１）、DP④－２）それぞれの能力の基礎として「ビジネス英語実習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を履修する、また、選択必修科目として、DP④－１）の能力のうち英語でのアカデミックリテラシーの習得やより具体的なビジネスの現場でのルール理解やスキル習得するため、「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」から 1 科目以上を選択必修科目として修得する。あわせてビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションをもとに、英語でのビジネスコミュニケーションを実践を交えて習得するため、「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」から 1 科目以上を選択必修科目として修得する。DP④－２）の能力のうち、文化的背景の異なる人々と協働するために、英語で文化への理解を深めるため、「実践英語：多文化理解」「英米文学演習」「実践英語：日本文化」から 1 科目以上を選択必修科目として修得する。あわせて、経営や情報通信技術などの専門的な内容について英語でコミュニケーションをとるため具体的なテーマごとに学習を深めるため、「実践英語：製造業」「実践英語：ファイナンス」「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」から 1 科目以上を選択必修科目として修得する。これらに加え、上記 8 単位も含む 12 単位以上を選択必修科目とし、国際的コミュニケーション能力を習得する。

総合科目の科目設定については、時代の変化に対応するビジネスの総合力を獲得する必要があると考え、ディプロマ・ポリシーで以下の通り具体的に定めている。

DP⑤　経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

これらの能力を習得するため、総合科目で修得すべき必修科目を 2 科目 6 単位とし、「総合理論演習」「総合実践演習」を通じ習得する。上記科目を本学の学びの集大成として修得することで、経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用するために必要な能力を獲得する。

＜卒業要件について＞

ディプロマ・ポリシーの示すそれぞれの能力を習得することが可能となるために、基礎となる知識・スキルを習得できる必修科目に加え、その知識・スキルを応用的あるいは実践的に習得する科目の履修を必ず行えるよう新たに選択必修科目を設ける。これにより卒業単位数を以下の通り改める。

卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。

・基礎科目 20 単位

－必修 12 単位

イノベーションの志、スタディスキル、英語コア・スキルズⅠ、英語コア・スキルズⅡ、リサーチ入門、キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡ

選択必修 8 単位

・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間から 2 単位以上

・数学基礎 A～C のうち 4 単位以上

・上記 6 単位以上を含む、8 単位以上

・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む)

－必修 68 単位

マネジメント（経営学基礎)、マーケティング基礎、法務リテラシーⅠ、アカウンティング入門、スタートアップ基礎(起業論)、イノベーションプロジェクトⅠ、イノベーションプロジェクトⅡ、イノベーションプロジェクトⅢ、イノベーションプロジェクトⅣ、イノベーションプロジェクトⅤ、イノベーションプロジェクトⅥ、ビジネスフィールドリサーチⅠ、ビジネスフィールドリサーチⅡ、インターンシップⅠ、インターンシップⅡ、

プログラミングⅠ、プログラミングⅡ、データ構造と処理法、コンピュータとソフトウェア基礎、ネットワーク技術、ソフトウェア設計・構築、データベース、情報技術演習Ⅰ、システム設計演習

選択必修 14 単位

・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論から 2 単位以上

・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上

・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上

・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位

・上記 8 単位以上を含む、14 単位以上

・展開科目 20 単位

－必修 8 単位

ビジネス英語実習Ⅰ、ビジネス英語実習Ⅱ、ビジネス英語実習Ⅲ、ビジネス英語実習Ⅳ

選択必修 12 単位

・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上

・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上

・実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上

・実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上

・上記 8 単位以上を含む、12 単位以上

・総合科目 6 単位(必修)

総合理論演習、総合実践演習

以上の通り、養成する人材像が備える能力を身につけるために、卒業要件を見直し、選択必修科目を設定することで、履修モデル通りに履修しなかった場合でも、基礎となる知識やスキルを習得すること、そのうえで習得した知識やスキルを応用・実践することが可能となる。よって、設定する卒業要件を満たすことでディプロマ・ポリシーを実現することができると考える。

＜卒業要件に基づく履修モデルを活用した履修指導について＞

必修科目と選択必修科目により適切な履修を可能にするとともに、選択科目については学生の希望する進路の実現にむけた選択方法を履修指導する。その際、履修モデルとして 4 パターンを提示して履修指導することでディプロマ・ポリシーに応じた能力の習得を可能とさせる。

＜上記に伴う、科目設定の変更＞

選択必修科目となることに伴い、年間開講数を変更した。

・アカウンティング応用　年間開講数 1→2

・法務リテラシーⅡ　年間開講数 1→2

・クラウド　年間開講数 1→2

・ビッグデータ　年間開講数 1→2

・IoT　年間開講数 1→2

・ネットワーク構築Ⅰ　年間開講数 1→3

・情報セキュリティ演習Ⅰ　　年間開講数 1→3

（新旧対照表）教育課程等の概要（2、3～4 ページ）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>[2 ページ]
<table>
<tr><th rowspan="2">授業科目の名称</th><th colspan="3">専任教員の配置</th><th colspan="2" rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>教授</th><th>准教授</th><th>講師</th></tr>
<tr><td>クラウド</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td></tr>
</table>
[3～4 ページ]
<table>
<tr><th>卒業・修了要件及び履修方法</th></tr>
<tr><td>【卒業要件】
次により必修科目 94 単位、選択科目 34 単位以上、計 128 単位以上を修得すること。
卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。
・基礎科目 20 単位
－必修 12 単位
選択必修 8 単位
・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間のうち 2 単位以上
・数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C のうち 4 単位以上
・上記 6 単位以上を含む、8 単位以上

・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む)
－必修 68 単位
選択必修 14 単位
・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上
・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イ</td></tr>
</table></td><td>[2 ページ]
<table>
<tr><th rowspan="2">授業科目の名称</th><th colspan="3">専任教員の配置</th><th colspan="2" rowspan="2">備考</th></tr>
<tr><th>教授</th><th>准教授</th><th>講師</th></tr>
<tr><td>クラウド</td><td></td><td>（追記）</td><td>1</td><td></td><td></td></tr>
</table>
[3 ページ]
<table>
<tr><th>卒業・修了要件及び履修方法</th></tr>
<tr><td>【卒業要件】
次により必修科目 94 単位、選択科目 34 単位以上、計 128 単位以上を修得すること。
卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。
基礎科目 20 単位以上
選択科目から 8 単位を履修する。うち、数学基礎 A～C から 4 単位以上を履修する。
職業専門科目 82 単位以上
選択科目から 14 単位を履修する。
展開科目 20 単位以上
選択科目から 12 単位を履修する。
総合科目 6 単位（追記）
実習科目の 40 単位
うち臨地実務実習(インターンシップ）24 単位を含む
（履修科目の登録の上限：
1 年次 46 単位（年間）
2-4 年次 42 単位（年間））</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

ノベーション特論から 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビックデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位 ・ネットワーク構築 I 、情報セキュリティ演習 I から 2 単位以上 ・上記 8 単位以上を含む、14 単位以上 ・展開科目 20 単位 ー必修 8 単位 選択必修 12 単位 ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上 ・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上 ・実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上 ・実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上 ・上記 8 単位以上を含む、12 単位以上 ・総合科目 6 単位（必修） 実習科目の 40 単位 うち臨地実務実習（インターンシップ）24 単位を含む （履修科目の登録の上限： 1 年次 46 単位（年間） 2-4 年次 42 単位（年間））		

（新旧対照表）授業科目の概要（13、15 ページ）

新		旧	
[13 ページ]		[13 ページ]	
情報技術演習Ⅰ	ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワーキングシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワーキングシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュ、基本動作検証、関係データベースの構築、プロジェクト管理までの演習を行う。	情報技術演習Ⅰ	ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワーキングシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワーキングシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュ、基本動作検証、（追記）プロジェクト管理までの演習を行う。
［15 ページ］		［15 ページ］	
情報技術演習Ⅱ	少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、業務フローや機能一覧、ネットワーク構成等の基本設計と、機能設計やデータベース設計等の詳細設計を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーキング統合システムの基本的な動作検証までの演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、基本設計・詳細設計の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。	情報技術演習Ⅱ	少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、ソフトウェア設計書を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーキング統合システムの基本的な動作検証までの演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、ソフトウェア設計書の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。

（新旧対照表）シラバス　情報技術演習Ⅰ　情報技術演習Ⅱ（92～93、108～109 ページ）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>[92～93 ページ]
情報技術演習Ⅰ
１．授業概要
ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワーキングシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワーキングシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュ、基本動作検証、関係データベースの構築、プロジェクト管理までの演習を行う。

２．授業の目的、目標
情報ネットワーキングアーキテクチャの全体像の理解と、演習による実際の動作実証。
ユーザインタフェース設計書の作成方法の理解と、デザインレビュの演習。
与えられた要求条件を元にした、ソフトウェア設計スキルや関係データベースの設計構築スキルなどを演習を交えて習得する。
データベース連携技術を理解し、実際の動作検証手法について基本的な内容を身に付ける。

３．授業計画
<table><tr><td>5</td><td>公開データセットを用いてデータベース設計を行い、実際に関係データベースを仮想マシン上に構築する。格納データに対して、SQL による情報検索、情報更新、情報削除等の演習を行う。</td></tr><tr><td>6</td><td>データベース連携を行うための WEB サービス設計を行い、実際に WEB データベース連携動作環境を構築する。構築した環境を用いて、WEB-API を利用した情報検索、情報更新、情報削除等の演習を行う。</td></tr><tr><td>7</td><td>情報システムの例題を提示し、概要の説明を行う。UML によるソフトウェ</td></tr></table></td>
<td>[92～93 ページ]
情報技術演習Ⅰ
１．授業概要
ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワーキングシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワーキングシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュ、基本動作検証、（追記）プロジェクト管理までの演習を行う。

２．授業の目的、目標
情報ネットワーキングアーキテクチャの全体像の理解と、演習による実際の動作実証。
ユーザインタフェース設計書の作成方法の理解と、デザインレビュの演習。
与えられた要求条件を元にした、ソフトウェア設計スキルの習得。
データベース連携技術の理解と、演習による実際の動作検証手法（追記）を身に付ける。

３．授業計画
<table><tr><td>5</td><td>情報システムの例題を提示し、概要の説明を行う。UML によるソフトウェア仕様設計手法、演習の進め方について説明する。例題に対するクラス図等の記述手法について説明し、演習を行う。</td></tr><tr><td>6</td><td>例題に対するコンポーネント図等の記述手法について説明し、演習を行う。</td></tr><tr><td>7</td><td>例題に対するユースケース図等の記述手法について説明し、演習を行う。</td></tr></table></td></tr>
</table>

	ア仕様設計手法、演習の進め方について説明する。例題に対するクラス図等の記述手法について説明し、演習を行う。
8	例題に対するコンポーネント図、ユースケース図、シーケンス図等の記述手法について説明し、演習を行う。

６．教科書／参考文献

教科書：演習資料を別途配布する

参考文献：

『Web エンジニアの教科書』
佐々木 達也、瀬川　雄介、内藤　賢司(著)、シーアンドアール研究所、2015 年

『Web を支える技術 -HTTP、URI、HTML、そして REST』
山本 陽平（著)、技術評論社、
2010 年

『実例で学ぶソフトウェア開発』
NTT データソフトウェア工学推進センタ(著)、オーム社、2008 年

『UML による一気通貫 DB システム設計（DB Magazine SELECTION)』
細川 努　(著)、翔泳社 、2007 年

[108～109 ページ]

情報技術演習Ⅱ

１．授業概要

少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、業務フローや機能一覧、ネットワーク構成等の基本設計と、機能設計やデータベース設計等の詳細設計を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーキング統合システムの基本的な動作検証までの演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、基本設計・詳細設計の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。

8	例題に対する（追記）シーケンス図等の記述手法について説明し、演習を行う。

６．教科書／参考文献

教科書：演習資料を別途配布する

参考文献：

『Web エンジニアの教科書』
佐々木 達也、瀬川　雄介、内藤　賢司(著)、シーアンドアール研究所、2015 年

『Web を支える技術 -HTTP、URI、HTML、そして REST』
山本 陽平（著)、技術評論社、
2010 年

『実例で学ぶソフトウェア開発』
NTT データソフトウェア工学推進センタ(著)、オーム社、2008 年

（追記）

[108～109 ページ]

情報技術演習Ⅱ

１．授業概要

少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、ソフトウェア設計書を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーキング統合システムの基本的な動作検証ま　での演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、ソフトウェア設計書の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。

３．授業計画		３．授業計画	
２	演習に必要なネットワーク設計技術、データベース構築技術、WEB データベース連携技術、各種クラウドサービス、WEB-API、その他各種ソフトウェアについて説明を行い、基本動作の検証を行う。	２	演習に必要な（追記）各種ソフトウェアについて説明を行い、基本動作の検証を行う。

（新旧対照表）学則　別表２

新

情報経営イノベーション専門職大学

情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科　卒業要件

科目区分			卒業単位 必修	選択必修①	選択必修②	選択	自由	小計
基礎科目	現代社会基礎		12	6 ※1	2	0	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	8	8 ※4	0	6	0	82
		ビジネス応用	0				0	
		ビジネス実践	42				0	
	情報通信技術	システムデザイン基礎	18				0	
		システムデザイン応用	0				0	
		ネットワークセキュリティ	0				0	
展開科目	グローバルコミュニケーション		8	8 ※3	4	0	0	20
総合科目			6	0	0	0	0	6
合計			94	22	6	6	0	128

※１

・　先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間のうち２単位以上

・　数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C のうち４単位以上

※２

・　オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション

旧

情報経営イノベーション専門職大学

情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科　卒業要件

科目区分			卒業単位 必修	(追記)	(追記)	選択	自由	小計
基礎科目	現代社会基礎		12	(追記)	(追記)	8	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	8	(追記)	(追記)	14	0	82
		ビジネス応用	0				0	
		ビジネス実践	42				0	
	情報通信技術	システムデザイン基礎	18				0	
		システムデザイン応用	0				0	
		ネットワークセキュリティ	0				0	
展開科目	グローバルコミュニケーション		8	(追記)	(追記)	12	0	20
総合科目			6	(追記)	(追記)	0	0	6
合計			94	(追記)	(追記)	34	0	128

（追記）

特論から 2 単位以上 ・　アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・　ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・　モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位 ※３ ・　英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上 ・　英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上 ・　実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上 ・　実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上	
備考 ・実験・実習科目から 40 単位以上を修得すること。 ※臨地実務実習(インターンシップⅠ・Ⅱ）含む ・インターンシップ科目の履修条件として、原則以下の科目の単位を修得していることとする。「マネジメント（経営学基礎)」「マーケティング基礎」「法務リテラシーⅠ」「アカウンティング入門」「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」 「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」「ビジネスフィールドリサーチⅠ」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」 ・総計で、卒業単位を 128 単位以上とする。	備考 ・実験・実習科目から 40 単位以上を修得すること。 ※臨地実務実習(インターンシップⅠ・Ⅱ）含む ・インターンシップ科目の履修条件として、原則以下の科目の単位を修得していることとする。 「マネジメント（経営学基礎)」「マーケティング基礎」「法務リテラシーⅠ」「アカウンティング入門」「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」 「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」「ビジネスフィールドリサーチⅠ」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」 ・総計で、卒業単位を 128 単位以上とする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（41～47、53～58 ページ）

新	旧
[41～47 ページ] (2)カリキュラムと科目設定について 　ディプロマ・ポリシーに記載の「職業的自立を図る能力」「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」「時代の変化に対応するビジネスの総合力」を身に付けるため、必要となる基礎的な知識・スキルを習得する科目、またそれを応用・実践し知識・スキルを深める科目を履修できるよう、カリキュラム・ポリシーに基づき、科目を設定している。なお、説明のために、カリキュラム・ポリシーそれぞれについて、①－１)、①－２）等の番号を付す。 　養成する人材像で備える能力のうち「職業的自立を図る能力」については以下の CP①－１）～３）のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。 CP①－１）　自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。 　上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「イノベーションの志」「スタディスキル」「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」を必修科目として履修する。 CP①－２）　グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に	[41 ページ] （追記）

理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。 上記の能力のうち、グローバルな視野を持つためのスキルを身に付けるために「英語コア・スキルズⅠ」「英語コア・スキルズⅡ」を必修科目として履修する。また、課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身につけるために「リサーチ入門」を必修科目として履修するほか、「先端グローバル社会」「ICT と人間」「職業倫理」「科学史」から１科目以上を選択必修科目として履修する。 CP①－３）　変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力、数的処理能力などの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身に付けるため「数学基礎 A」「数学基礎 B」「数学基礎 C」から 2 科目以上を選択必修科目として履修する。 また、上記の必修科目・選択必修科目以外に、CP①－２）３）の選択必修科目の中から１科目以上の履修を行う科目編成とする。 上記 CP①－１）～３）に従った履修により、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得し「職業的自立を図る能力」を習得する。 養成する人材像で備える能力のうち「経営に関する知識・スキル」については以下の CP②－１）～５）のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目及び選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。	

CP②－１）　企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「マネジメント（経営学基礎）」「スタートアップ基礎（起業論）」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「オペレーションズマネジメント」「問題形成と問題解決」「組織行動論」「ビジネスゲームによる経営意思決定」「人的資源管理論」「イノベーション特論」から１科目以上を選択必修科目として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、企業経営の学びを深める。 CP②－２）　市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「マーケティング基礎」を必修科目として履修する。これらの知識やスキルを深めるとともに実践的に習得するため「ビジネスフィールドリサーチⅠ」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」を必修として履修する。加えて、経営課題発見のための応用的知識を選択科目として履修することができる。 CP②－３）　企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容	

を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「アカウンティング入門」「法務リテラシーⅠ」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「アカウンティング応用」「法務リテラシーⅡ」「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」から１科目以上を選択必修として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、経営理論や実践的技法の学びを深めることや会計の実務を習得する。 CP②－４）　目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3 年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約 640 時間設定する。 上記を習得する場として、「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」を必修科目として履修する。 CP②－５）　新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう４年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ」「イノベーションプロジェクトⅡ」「イノベーションプロジェクトⅢ」「イノベーションプロジェクトⅣ」「イノベーションプロジェクトⅤ」「イノベーションプロジェクトⅥ」を設置する。 新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる力を習得するとともに、基礎的な	

知識・スキルとして習得した「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」などの内容を実践する場として「イノベーションプロジェクトⅠ」「イノベーションプロジェクトⅡ」「イノベーションプロジェクトⅢ」「イノベーションプロジェクトⅣ」「イノベーションプロジェクトⅤ」「イノベーションプロジェクトⅥ」を必修科目として履修する。 上記 CP②－１）～５）に従った履修により、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できる「経営に関する知識・スキル」を習得する。 養成する人材像で備える能力のうち「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキル」については、以下の CP③－１）～５）のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。 CP③－１）　システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するため必要となる基礎的な知識・スキルとそれらを応用・実践するために「プログラミングⅠ」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミングⅡ」「ソフトウェア設計・構築」「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」を必修科目として履修する。また、ソフトウェアやシステムに関する開発設計の応用を選択科目の履修により学ぶ。	

CP③－２）　コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するため必要となる基礎的な知識・スキルとそれらを応用・実践するために「プログラミングⅠ」「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミングⅡ」「ソフトウェア設計・構築」を必修科目として履修する。また、情報系数学応用など選択科目の履修により、ソフトウェア構築の応用や高度化に対応する。 CP③－３）　基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「ネットワーク技術」を必修科目として履修する。必修科目で習得した知識やスキルを応用・実践するため、「ネットワーク構築Ⅰ」「情報セキュリティ演習Ⅰ」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。また、他の選択必修科目や選択科目の履修により、ネットワークやセキュリティについて深くあるいは広く学ぶ。 CP③－４）　データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に	

付ける。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため「データ構造と処理法」「データベース」を、それらを演習で習得するために「情報技術演習Ⅰ」を必修科目として履修する。また、「情報技術演習Ⅱ」を選択科目として設定した。 CP③－５）　情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。 CP③－１）～４）を通じて習得した知識・スキルを基に、新たなサービスを実現するためのコンセプト実証システムを設計構築する能力を身に付けられるように、「モバイルサービス概論」「Web システム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」「データサイエンス」「クラウド」「スーパーコンピュータ」「ビッグデータ」「IoT」「AI」から１科目以上を選択必修科目として履修するほか、より応用力を高める際には選択必修科目からさらに選択して学ぶ。 上記 CP③－１）～５）に従った履修により、システム開発に活用するために必要な「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキル」を習得する。 なお、職業選択科目においては、養成する人材像に必要な知識・スキル、実践力を習得していく過程で、さらに学びを深めることができるよう、上記の必修科目・選択必修科目以外に、4 科目以上の履修を行う科目編成となっている。選択科目には、経営では「地方創生とイノベーション」「新興市場における事業開発」「クロステックビジネスデザイン」など、ビジネス基礎で学んだ内容をより深める応用的な理論やケーススタディを学ぶ科目を配置している。情報通信技術では「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」など情報通信	

技術に関する基本的な技術・理論の成り立ちを解説するもの、「情報システムのプロジェクト管理」「モデル化と要求開発」など、情報システムに関するプロジェクトマネジメントや改善等についての知識やスキルをさらに深めることが可能である。選択科目の履修に当たっては、イノベーションプロジェクトやインターンシップなどでの振り返りをもとに、担任となる専任教員とイノベーションマネジャーによる個別面談や履修指導を行うことで、選択必修科目とあわせて適切な履修がなされるよう、指導を行っていく。 養成する人材像で備える能力のうち「国際的コミュニケーション能力」については、以下の CP④－１）～２）のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。 CP④－１）　英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに、英語でのアカデミックリテラシーの習得やより具体的なビジネスの現場でのルール理解やスキル習得を図るため、「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。また、それらを応用・実践するためにビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションで構成される「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」	

「英語ネゴシエーション」から１科目以上を選択必修科目として履修する。さらに選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。 CP④－２）　文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに文化的背景の異なる人々と協働するために「実践英語：多文化理解」「実践英語：日本文化」「英米文学演習」から 1 科目以上を選択必修科目として履修し、英語で文化を学ぶ。また、経営や技術などの専門的な内容について英語で応用・実践するために「実践英語：ファイナンス」「実践英語：イノベーション」「実践英語：製造業」「実践英語：IoT」から１科目以上を選択必修科目として履修し、具体的なテーマや課題を設定し、文化的背景の異なる人々と協働できるよう実践的に学ぶ。さらに、選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。 上記の必修科目・選択必修科目以外に、選択必修科目の中から 2 科目以上の履修を行う科目編成とし、上記 CP④－１）～２）に従った履修により、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付け、「国際的コミュニケーション能力」を習得する。 養成する人材像で備える能力のうち「時代の変化に対応するビジネスの総合力」については以下の	

CP⑤のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。 CP⑤　経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。 CP①～④を通じ習得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を必修科目として履修する。 CP⑤では、経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用し、「時代の変化に対応するビジネスの総合力」を習得する。 これらにより、養成する人材像がもつ「職業的自立を図る能力」「経営に関する知識・スキル」「情報通信技術に関する知識・スキル」「国際的コミュニケーション能力」「時代の変化に対応するビジネスの総合力」について、カリキュラム・ポリシーに従い、必要となる基礎的な知識・スキルと、これを応用・実践し知識・スキルを深める科目を設定し、これを修得するよう科目を編成している。	
(3) 教育課程の不断の見直しについて （中略）	(2) 教育課程の不断の見直しについて （中略）
(4) 社会貢献、地域と一体化した教育	(3) 社会貢献、地域と一体化した教育
[53～58 ページ] (5) 卒業要件 卒業単位数は、基礎科目 20 単位(必修 12 単位、	[47～51 ページ] (5) 卒業要件 卒業単位数は、基礎科目 20 単位(必修 12 単位、

選択必修 8 単位)、職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む必修 68 単位、選択必修 14 単位)、展開科目 20 単位(必修 8 単位、選択必修 12 単位)、総合科目 6 単位(必修)を修得し、合計 128 単位とする。専門職大学の卒業要件である、実験・実習又は実技による授業科目の修得 40 単位は、職業専門科目及び展開科目の必修科目に含まれている。 学長は、本学に 4 年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、情報経営イノベーション学士(専門職)の学位を授与する。 卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。 ・基礎科目 20 単位 －必修 12 単位 イノベーションの志、スタディスキル、英語コア・スキルズⅠ、英語コア・スキルズⅡ、リサーチ入門、キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡ 選択必修 8 単位 ・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間から 2 単位以上 ・数学基礎 A～C のうち 4 単位以上 ・上記 6 単位以上を含む、8 単位以上 ・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む) －必修 68 単位 マネジメント（経営学基礎)、マーケティング基礎、法務リテラシーⅠ、アカウンティング入門、 スタートアップ基礎（起業論)、イノベーションプロジェクトⅠ、イノベーションプロジェクトⅡ、イノベーションプロジェクトⅢ、イノベーションプロジェクトⅣ、イノ	数学基礎 A～C のうち 4 単位以上、数学基礎 A～C の 4 単位以上を含む 8 単位以上を選択必修)、職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む必修 68 単位（追記）)、展開科目 20 単位(必修 8 単位（追記）)、総合科目 6 単位(必修)を修得し、合計 128 単位とする。専門職大学の卒業要件である、実験・実習又は実技による授業科目の修得 40 単位は、職業専門科目及び展開科目の必修科目に含まれている。 学長は、本学に 4 年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、情報経営イノベーション学士(専門職)の学位を授与する。 （追記）

ベーションプロジェクトⅤ、イノベーションプロジェクトⅥ、ビジネスフィールドリサーチⅠ、ビジネスフィールドリサーチⅡ、インターンシップⅠ、インターンシップⅡ、プログラミングⅠ、プログラミングⅡ、データ構造と処理法、コンピュータとソフトウェア基礎、ネットワーク技術、ソフトウェア設計・構築、データベース、情報技術演習Ⅰ、システム設計演習 選択必修 14 単位 ・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論から 2 単位以上 ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位 ・上記 8 単位以上を含む、14 単位以上 ・展開科目 20 単位 －必修 8 単位 ビジネス英語実習Ⅰ、ビジネス英語実習Ⅱ、ビジネス英語実習Ⅲ、ビジネス英語実習Ⅳ 選択必修 12 単位 ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上 ・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上	

・実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上 ・実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上 ・上記 8 単位以上を含む、12 単位以上 ・総合科目 6 単位(必修) 総合理論演習、総合実践演習 (6) 履修モデル （中略） 上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37 科目を必修科目と（削除）した。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7 科目、職業専門科目 24 科目(うちビジネス基礎科目群の 4 科目、ビジネス実践科目群 11 科目、システムデザイン基礎科目群 9 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目、総合科目 2 科目である。あわせて、選択必修科目として 12 科目を設定した。内訳は基礎科目 3 科目、職業専門科目 4 科目(うちビジネス基礎科目群とビジネス応用科目群のうち所定の 2 科目、システムデザイン基礎科目群とシステムデザイン応用科目群のうち所定の 1 科目、ネットワーク・セキュリティ科目群から所定の 1 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目である。これらの科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図している。選択必修科目を設け、それぞれの能力について、基礎となる知識・スキルを習得する科目と、その知識・スキルの応用や実践を行う科目の単位修得を行うことができるよう卒業要件を設定している。そのため履修モデル通りに履修しなかった場合でも、養成する人材像が備える能力を身につけることができ、ディプロマ・ポリシーを実現することが	(6) 履修モデル （中略） 上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37 科目を必修科目と指定した。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7 科目、職業専門科目 24 科目(うちビジネス基礎 4 科目、ビジネス実践 11 科目、システムデザイン基礎 9 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目、総合科目 2 科目である。（追記）これらの科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図している。（追記）

できる。 さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、必修科目と選択必修科目により適切な履修を可能にするとともに、選択科目については学生の希望する進路の実現にむけた選択方法を履修指導する。その際、履修モデルとして以下を提示して履修指導することでディプロマ・ポリシーに応じた知識・スキルの修得を可能とさせる。 （中略） また職業専門科目のうち情報通信技術については、1 年次の「オペレーティングシステム」でコンピュータ操作の基本的な技術・理論の成り立ちを学ぶとともに、2 年次の「ネットワーク構築演習Ⅰ」や 3 年次の「クラウド」などを通じ、これらの技術の知識、スキルを習得する。 グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。具体的にはコミュニケーション力については、2 年次の「英語ビジネスマネジメント」、3 年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4 年次の「英語プレゼンテーション」を通じ英語でビジネスを進めるためのルールの理解やスキルの習得及びその実践を行う。また、3 年次の「実践英語：日本文化」を通じ英語で文化への理解を深め、4 年次の「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」を通じて、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するための幅広い英語力を高める。 職業専門科目のうち経営については、幅広く経営	さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、選択科目を多数用意し、学生の希望する進路の実現にむけた履修モデルとして以下の 3 パターンを展開する。 （中略） 幅広く経営に関する知識や、その知識を応用した課題発見力や解決力、事業の企画・立案や実行に関する実践力を習得するために、経営科目において、2 年次に「マーケティング応用」を通じ実際の企業のマーケティング活動の分析を、「問題形成と問題解決」を通じ問題解決手法をそれぞれ学ぶことで課題発見力・解決力を習得する。3～4 年次に情報通信技術を用いたビジネスやサービスの企画、立案に関する実践力を身に付ける「イノベーション特論」「クロステックビジネスデザイン」と、課題発見や解決の手法を高める「デザインと経営」をそれぞれ履修する。 情報通信技術については、（追記）2 年次の「モバイルサービス概論」や 3 年次の「クラウド」などを通じ、これらの技術の基本的な知識、スキルを習得する。 グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。具体的にはコミュニケーション力については、3 年次の「英語ディス

に関する知識やその知識を応用した課題発見力や解決力、事業の企画・立案や実行に関する実践力を習得する。2 年次に「アカウンティング応用」を通じ企業の経営状況の分析を深め企業の付加価値を高めるための知識を習得する。あわせて、「マーケティング応用」を通じ実際の企業のマーケティング活動の分析を、「問題形成と問題解決」を通じ問題解決手法をそれぞれ学ぶことで課題発見力・解決力を習得する。3～4 年次に情報通信技術を用いたビジネスやサービスの企画・立案に関する実践力を身に付ける「イノベーション特論」「クロステックビジネスデザイン」をそれぞれ履修する。また、これに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する力を習得する。	カッション・ディベート」、4 年次の「英語プレゼンテーション」を通じ習得する。また 2 年次の「英語ビジネスマネジメント」、3 年次の「英語通訳論」、4 年次の「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」を通じて、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するための英語力を高める。
② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデル（資料 12-②-1、12-②-2）	② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデル（資料 12-②-1、12-②-2）
（中略） また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科学史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのように寄与してきたかを学び、サービスを開発するための素地を作る。経営科目では「オペレーションズマネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーションの基本的な知識を、「法務リテラシーⅡ」を通じ情報通信技術や知的財産の取り扱いについて応用的な知識を習得する。グローバルコミュニケーションでは、情報通信技術に関する新たな知識、スキルや、国際化が進む中でプロジェクトを推進するために必要な知識を習得する。具体的には 2 年次の「英語アカデミックリテラシー」「英語通訳論」を通じ	（中略） また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科学史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのように寄与してきたかを学び、サービスを開発するための素地を作る。経営科目では「オペレーションズマネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーションの基本的な知識を（追記）習得する。グローバルコミュニケーションでは、情報通信技術に関する新たな知識、スキルや、国際化が進む中でプロジェクトを推進するために必要な知識を習得する。具体的には 2 年次の「英語アカデミックリテラシー」を通じ、情報通信技術に関する新たな知識やスキルを習得するための基本的な英語力を養成するとともに、

英語コミュニケーション力を身につける。「英語ネゴシエーション」を通じプロジェクトを進めるうえでの交渉力を習得する。また「実践英語：多文化理解」「実践英語：日本文化」を通じ、文化理解と英語コミュニケーション力を習得する。3 年次の「実践英語：製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを広く習得する。3 年次の「実践英語：製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを習得する。	（追記） 3 年次の「実践英語：製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを習得する。また「実践英語：多文化理解」「英語通訳論」「実践英語：日本文化」を通じ、さまざまな文化や背景を持つ人々との意思疎通を図り、協同していくための知識とコミュニケーション力を習得する。またプロジェクトを進めるうえでの交渉力を「英語ネゴシエーション」を通じ習得する。
（中略） 資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサービスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推進する役割を発揮するために、1～2 年次の必修科目を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習得したうえで、2 年次に解析や情報処理の考え方や技法として「情報系数学応用 A」を、プロジェクトの立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システムのプロジェクト管理」を履修する。また、2 年次に「情報セキュリティ演習 I」を通じ情報セキュリティ全般の知識やスキルの定着を図るとともに、3 年次は（削除）「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェア開発の概念や改善手法を（削除）習得する。また、技術の発展事例として「ビッグデータ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキルを習得する。（削除）	（中略） 資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサービスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推進する役割を発揮するために、1～2 年次の必修科目を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習得したうえで、2 年次に解析や情報処理の考え方や技法として「情報系数学応用 A」を、プロジェクトの立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システムのプロジェクト管理」を履修する。（追記） 3 年次は「システムインテグレーション」を通じ、情報通信技術を用いたサービス改善・開発における課題発見力・解決力・プロジェクト管理に関する実践力を、「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェア開発の概念や改善手法をそれぞれ習得する。また、技術の発展事例として「ビッグデータ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキルを習得する。また、経営科目から「組織行動論」を履修し、通じプロジェクトなど集団活動でのマネジメント手法や、組織課題の改善をはかるために必要な知識やスキルを習得する。
（中略） 情報通信技術科目では、2 年次の「Web システム演習」（削除）起業してビジネスやサービスを生み出すための知識やスキルを習得するとともに、2 年	（中略） 情報通信技術科目では、2 年次の「Web システム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」を通じ、起業してビジネスやサービスを生み出すため

次に「情報セキュリティ演習Ⅰ」を通じ情報セキュリティ全般の知識やスキルの定着を図る。新たなサービスを実現するためのコンセプト実証システムを設計構築する能力を身に付けられるように、「モバイルサービス概論」を履修する。	の知識やスキルを習得する（追記）。
あわせて経営科目では、財務・会計分野の（削除）「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。	あわせて経営科目では、財務・会計分野の「アカウンティング応用」「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。
グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力を習得する。あわせて、2年次の「英語ビジネスマネジメント」を通じ英語でビジネスを進めるための具体的なルールの理解やスキルの習得を深める。また、2年次の「実践英語：多文化理解」を通じ英語で文化への理解を深めるとともに、4年次の「実践英語：ファイナンス」を通じ、経営に関する専門分野への理解と国際社会において幅広く活躍するための英語力を高める。	グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力を習得する。あわせて、2年次の「英語ビジネスマネジメント」「実践英語：多文化理解」、4年次の「実践英語：ファイナンス」を通じ、経営に関する専門分野への理解と国際社会において活躍するための英語力を高める。 （追記）
また、学んだ技術を生かし提案したサービスを継続できるよう、起業や事業継続に関する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修する。	
(7)履修指導方法 本学の履修指導としては、以下を実施する。 ①履修指導の手引きを作成し指導を行う(全学年全学生対象) 学務委員会が中心となり、本学部のカリキュラム・ポリシー、教育課程の全体像、単位の考え方、	(7)履修指導方法 本学の履修指導としては、以下を実施する。 ①履修指導の手引きを作成し指導を行う(全学年全学生対象) 学務委員会が中心となり、本学部のカリキュラム・ポリシー、教育課程の全体像、単位の考え方、

学習方法、科目一覧、担当教員一覧、履修規程、履修モデル、卒業要件、履修登録の注意点等を掲載した手引きを作成し、全学生に配布のうえ履修指導に用いる。さらにサイト上でも公開し確認できるようにする。	学習方法、科目一覧、担当教員一覧、履修規程、（追記）卒業要件、履修登録の注意点等を掲載した手引きを作成し、全学生に配布する。さらにサイト上でも公開し確認できるようにする。

新　[資料 12-①　履修モデル]

①　ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を目指す履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 職業倫理	2							
				後期	○ 数学基礎B	2	後期	○ ICTと人間	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択													
		ビジネス応用	選択				前期	○ アカウンティング応用	2	後期	○ イノベーション特論	2	前期	クロステックビジネスデザイン（削除）	2	
							後期	○ 問題形成と問題解決	2							
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択	前期	オペレーティングシステム	2		（削除）								
		システムデザイン応用	選択							後期	○ クラウド	2				
		ネットワークセキュリティ	選択				前期	○ ネットワーク構築Ⅰ	2							
					単位数	26		単位数	22		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	○ 英語ビジネスマネジメント	2	前期	○ 実践英語：日本文化	2	前期	○ 英語プレゼンテーション	2	
										後期	○ 英語ディスカッション・ディベート	2	前期	○ 実践英語：IoT	2	
													後期	○ 実践英語：イノベーション	2	
					単位数	4		単位数	6		単位数	4		単位数	6	20
総合科目			必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	33		合計単位数	37		合計単位数	14	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

新　[資料 12-②-1　履修モデル]

②-1　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、システムデザインの応用分野へ学びを進め、さらに様々な技術間の横断的な開発プロジェクトのリーダーとしてプロジェクト管理について学ぶ履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
				後期	○ 数学基礎C	2	後期	○ 科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択				前期	○ オペレーションズマネジメント	2							
		ビジネス応用	選択				前期	○ 法務リテラシーⅡ	2							
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択				後期	情報系数学応用B	2							
		システムデザイン応用	選択				後期	情報システムのプロジェクト管理	2	前期	ソフトウェアプロセスと品質	2				
										後期	○ ビッグデータ	2				
											（削除）					
		ネットワークセキュリティ	選択				後期	○ 情報セキュリティ演習Ⅰ	2							
					単位数	24		単位数	26		単位数	30		単位数	2	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ（実習）	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				前期	○ 英語アカデミックリテラシー	2	前期	○ 英語通訳論	2	後期	○ 英語ネゴシエーション	2	
							後期	○ 実践英語：多文化理解	2	前期	○ 実践英語：日本文化	2				
										後期	○ 実践英語：製造業	2				
					単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総合科目		―	必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	39		合計単位数	39		合計単位数	8	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

新　[資料 12-②-2　履修モデル]

②-2　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーになる履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
				後期	○ 数学基礎C	2	後期	○ 科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択				前期	○ オペレーションズマネジメント	2							
		ビジネス応用	選択				前期	○ 法務リテラシーⅡ	2							
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ（実習）	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ（実習）	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択							前期	情報系数学応用C	2				
		システムデザイン応用	選択					（削除）					前期	○ スーパーコンピュータ	2	
		ネットワークセキュリティ	選択				前期	○ ネットワーク構築Ⅰ	2	前期	ネットワーク構築Ⅲ	2				
							後期	ネットワーク構築Ⅱ	2							
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ（実習）	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ（実習）	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				前期	○ 英語アカデミックリテラシー	2	前期	○ 英語通訳論	2	後期	○ 英語ネゴシエーション	2	
							後期	○ 実践英語：多文化理解	2	後期	○ 実践英語：日本文化	2				
										後期	○ 実践英語：製造業	2				
					単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総合科目		―	必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	37		合計単位数	39		合計単位数	10	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

新　[資料 12-③　履修モデル]

③　起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	－	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
				後期	○ 数学基礎B	2										
				後期	○ 数学基礎C	2										
					単位数	16		単位数	3		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択													
		ビジネス応用	選択				後期	○ ファイナンス入門	2	後期	地域創生とイノベーション	2	後期	税務会計・会計処理	2	
										後期	○ コーポレートファイナンス	2				
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択				前期	○ モバイルサービス概論	2							
		システムデザイン応用	選択				前期	○ Webシステム演習	2							
		ネットワークセキュリティ	選択				後期	○ 情報セキュリティ演習Ⅰ	2							
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	－	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	○ 英語ビジネスマネジメント	2	後期	○ 英語ディスカッション・ディベート	2	前期	○ 実践英語：ファイナンス	2	
							後期	○ 実践英語：多文化理解	2				前期	○ 英語プレゼンテーション	2	
													後期	○ 英語ネゴシエーション	2	
					単位数	4		単位数	8		単位数	2		単位数	6	20
総合科目			必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	35		合計単位数	35		合計単位数	14	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

旧　　[資料 12-①　履修モデル]

①　ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を目指す履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	イノベーションの志	2	前期	キャリアデザインⅠ	1	後期	キャリアデザインⅡ	1				
				前期	スタディスキル	2										
				前期	英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	リサーチ入門	2										
				後期	英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	数学基礎A	2	前期	職業倫理	2							
				後期	数学基礎B	2	後期	ICTと人間	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	マーケティング基礎	2										
				後期	法務リテラシーⅠ	2										
				後期	アカウンティング基礎	2										
			選択													
		ビジネス応用	選択				前期	マーケティング応用	2	後期	イノベーション特論	2	前期	クロステックビジネスデザイン	2	
							後期	問題形成と問題解決	2				前期	デザインと経営	2	
		ビジネス実践	必修	前期	イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	インターンシップⅠ	12				
				後期	スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	インターンシップⅡ	12				
							後期	ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	プログラミングⅠ	2	前期	ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
				前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	プログラミングⅡ	2	後期	システム設計演習	2							
				後期	ネットワーク技術	2										
			選択		（追記）		前期	モバイルサービス概論	2							
		システムデザイン応用	選択							後期	クラウド	2				
		ネットワークセキュリティ	選択					（追記）								
					単位数	24		単位数	22		単位数	30		単位数	6	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	英語ビジネスマネジメント	2	前期	英語通訳論	2	前期	英語プレゼンテーション	2	
										後期	英語ディスカッション・ディベート	2	前期	実践英語：IoT	2	
													後期	実践英語：イノベーション	2	
					単位数	4		単位数	6		単位数	4		単位数	6	20
総合科目			必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	33		合計単位数	37		合計単位数	16	128
														（追記）		

旧　　[資料 12-②-1　履修モデル]

②-1　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、システムデザインの応用分野へ学びを進め、さらに様々な技術間の横断的な開発プロジェクトのリーダーとしてプロジェクト管理について学ぶ履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	イノベーションの志	2	前期	キャリアデザインⅠ	1	後期	キャリアデザインⅡ	1				
				前期	スタディスキル	2										
				前期	英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	リサーチ入門	2										
				後期	英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	数学基礎A	2	前期	先端グローバル社会	2							
				後期	数学基礎C	2	後期	科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	マーケティング基礎	2										
				後期	法務リテラシーⅠ	2										
				後期	アカウンティング基礎	2										
			選択				前期	オペレーションズマネジメント	2							
		ビジネス応用	選択				後期	組織行動論	2							
		ビジネス実践	必修	前期	イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	ビジネスフィールドリサーチⅠ（実習）	2	前期	インターンシップⅠ（実習）	12				
				後期	スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	インターンシップⅡ（実習）	12				
							後期	ビジネスフィールドリサーチⅡ（実習）	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	プログラミングⅠ（実習）	2	前期	ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
				前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	プログラミングⅡ（実習）	2	後期	システム設計演習	2							
				後期	ネットワーク技術	2										
			選択				後期	情報系数学応用B	2							
		システムデザイン応用	選択				後期	情報システムのプロジェクト管理	2	前期	ソフトウェアプロセスと品質	2				
										後期	システムインテグレーション	2				
										後期	ビッグデータ	2				
		ネットワークセキュリティ	選択					（追記）								
					単位数	24		単位数	24		単位数	32		単位数	2	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	ビジネス英語実習Ⅰ（実習）	2	前期	ビジネス英語実習Ⅲ（実習）	2							
				後期	ビジネス英語実習Ⅱ（実習）	2	後期	ビジネス英語実習Ⅳ（実習）	2							
			選択				前期	英語アカデミックリテラシー	2	前期	英語通訳論	2	後期	英語ネゴシエーション	2	
							後期	実践英語：多文化理解	2	後期	実践英語：日本文化	2				
										後期	実践英語：製造業	2				
					単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総合科目		―	必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	37		合計単位数	41		合計単位数	8	128

（追記）

旧　[資料 12-②-2　履修モデル]

②-2　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーになる履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	イノベーションの志	2	前期	キャリアデザインⅠ	1	後期	キャリアデザインⅡ	1				
				前期	スタディスキル	2										
				前期	英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	リサーチ入門	2										
				後期	英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	数学基礎A	2	前期	先端グローバル社会	2							
				後期	数学基礎C	2	後期	科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	マーケティング基礎	2										
				後期	法務リテラシーⅠ	2										
				後期	アカウンティング基礎	2										
			選択				前期	オペレーションズマネジメント	2							
		ビジネス応用	選択					（追記）								
		ビジネス実践	必修	前期	イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	ビジネスフィールドリサーチⅠ（実習）	2	前期	インターンシップⅠ（実習）	12				
				後期	スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	インターンシップⅡ（実習）	12				
							後期	ビジネスフィールドリサーチⅡ（実習）	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	プログラミングⅠ（実習）	2	前期	ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
				前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	プログラミングⅡ（実習）	2	後期	システム設計演習	2							
				後期	ネットワーク技術	2										
			選択				後期	情報系数学応用B	2	前期	情報系数学応用C	2				
		システムデザイン応用	選択										前期	スーパーコンピュータ	2	
		ネットワークセキュリティ	選択				前期	ネットワーク構築Ⅰ	2	前期	ネットワーク構築Ⅲ	2				
							後期	ネットワーク構築Ⅱ	2							
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	ビジネス英語実習Ⅰ（実習）	2	前期	ビジネス英語実習Ⅲ（実習）	2							
				後期	ビジネス英語実習Ⅱ（実習）	2	後期	ビジネス英語実習Ⅳ（実習）	2							
			選択				前期	英語アカデミックリテラシー	2	前期	英語通訳論	2	後期	英語ネゴシエーション	2	
							後期	実践英語：多文化理解	2	後期	実践英語：日本文化	2				
										後期	実践英語：製造業	2				
					単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総合科目		―	必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	37		合計単位数	39		合計単位数	10	128

（追記）

旧　[資料 12-③　履修モデル]

③　起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	－	必修	前期	イノベーションの志	2	前期	キャリアデザインⅠ	1	後期	キャリアデザインⅡ	1				
				前期	スタディスキル	2										
				前期	英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	リサーチ入門	2										
				後期	英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	数学基礎A	2	前期	先端グローバル社会	2							
				後期	数学基礎B	2										
				後期	数学基礎C	2										
					単位数	16		単位数	3		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	マーケティング基礎	2										
				後期	法務リテラシーⅠ	2										
				後期	アカウンティング基礎	2										
			選択													
		ビジネス応用	選択				前期	アカウンティング応用	2	後期	地域創生とイノベーション	2	後期	税務会計・会計処理	2	
							後期	ファイナンス入門	2	後期	コーポレートファイナンス	2				
		ビジネス実践	必修	前期	イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	インターンシップⅠ	12				
				後期	スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	インターンシップⅡ	12				
							後期	ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	プログラミングⅠ	2	前期	ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	データ構造と処理法	2	前期	データベース	2							
				前期	コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	プログラミングⅡ	2	後期	システム設計演習	2							
				後期	ネットワーク技術	2										
			選択													
		システムデザイン応用	選択				前期	Webシステム演習	2							
							前期	インタラクティブ・システムデザイン	2							
		ネットワークセキュリティ	選択					（追記）								
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	－	必修	前期	ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	英語ビジネスマネジメント	2	後期	英語ディスカッション・ディベート	2	前期	実践英語：ファイナンス	2	
							後期	実践英語：多文化理解	2				前期	英語プレゼンテーション	2	
													後期	英語ネゴシエーション	2	
					単位数	4		単位数	8		単位数	2		単位数	6	20
総合科目			必修							後期	総合理論演習	2	通期	総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	35		合計単位数	35		合計単位数	14	128

（追記）

（新旧対照表）別紙３（設置の趣旨等を記載した書類　資料 19　カリキュラムマップ）

（新旧対照表）教員名簿[教員の氏名等]

新

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
2	専	ﾅｶｼﾞﾏ(ｶﾜﾑﾗ)ﾘｭｳｲﾁ 中嶋(川村)隆一 ＜令和２年４月＞	アカウンティング入門	10	5
			アカウンティング応用	4	2
			ファイナンス	2	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
4	専	ｴｲﾄﾞﾘｱﾝ　ﾃﾞｲﾋﾞｯﾄﾞ ﾁｪｵｯｸ Adrian David Cheok ＜令和２年４月＞	AI	1	1
			ネットワーク技術	5	5
			データサイエンス	2	2
			IoT	2	2

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
5	専	ﾔﾏﾉｳﾁ　ﾏｻﾄ 山内　正人 ＜令和２年４月＞	インターンシップⅠ	12	1
			インターンシップⅡ	12	1
			ネットワーク技術	5	5
			ネットワーク構築Ⅰ	6	3
			ネットワーク構築Ⅱ	2	1
			ネットワーク構築Ⅲ	2	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
7	実専	ﾋﾗﾔﾏ　ﾄｼﾋﾛ 平山　敏弘 ＜令和２年４月＞	情報システムのプロジェクト管理	2	1
			システムインテグレーション	1	1

旧

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
2	専	ﾅｶｼﾞﾏ(ｶﾜﾑﾗ)ﾘｭｳｲﾁ 中嶋(川村)隆一 ＜令和２年４月＞	アカウンティング入門	10	5
			アカウンティング応用	2	1
			ファイナンス	2	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
4	専	ｴｲﾄﾞﾘｱﾝ　ﾃﾞｲﾋﾞｯﾄﾞ ﾁｪｵｯｸ Adrian David Cheok ＜平成32年４月＞	AI	1	1
			ネットワーク技術	5	5
			データサイエンス	2	2
			IoT	1	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
5	専	ﾔﾏﾉｳﾁ　ﾏｻﾄ 山内　正人 ＜平成32年４月＞	インターンシップⅠ	12	1
			インターンシップⅡ	12	1
			ネットワーク技術	5	5
			ネットワーク構築Ⅰ	2	1
			ネットワーク構築Ⅱ	2	1
			ネットワーク構築Ⅲ	2	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
7	実専	ﾋﾗﾔﾏ　ﾄｼﾋﾛ 平山　敏弘 ＜平成32年４月＞	情報システムのプロジェクト管理	2	1
			システムインテグレーション	1	1

			情報セキュリティ演習Ⅰ	6	3
			情報セキュリティ演習Ⅱ	2	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
14	実(研)	ｶﾄｳ　ﾅｵﾄ 加藤　直人 ＜令和２年４月＞	スタディスキル	10	5
			ビッグデータ	2	2
			インターンシップⅠ	12	1
			インターンシップⅡ	12	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
⑤	実(研)	ｶﾏﾀﾆ　ｵｻﾑ 鎌谷　修 ＜令和２年４月＞	情報技術演習Ⅰ	10	5
			情報技術演習Ⅱ	2	1
			IoT	2	2
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
17	実(研)	ｵﾁｱｲ　ｹｲﾋﾛ 落合　慶広 ＜令和２年４月＞	数学基礎Ｂ	10	5
			情報系数学応用Ａ	4	2
			ビッグデータ	2	2
			AI	1	1
			Web システム演習	2	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

			情報セキュリティ演習Ⅰ	2	1
			情報セキュリティ演習Ⅱ	2	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
14	実(研)	ｶﾄｳ　ﾅｵﾄ 加藤　直人 ＜平成32年４月＞	スタディスキル	10	5
			ビッグデータ	1	1
			インターンシップⅠ	12	1
			インターンシップⅡ	12	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
15	実(研)	ｶﾏﾀﾆ　ｵｻﾑ 鎌谷　修 ＜平成32年４月＞	情報技術演習Ⅰ	10	5
			情報技術演習Ⅱ	2	1
			IoT	1	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
17	実(研)	ｵﾁｱｲ　ｹｲﾋﾛ 落合　慶広 ＜平成32年４月＞	数学基礎Ｂ	10	5
			情報系数学応用Ａ	4	2
			ビッグデータ	1	1
			AI	1	1
			Web システム演習	2	1
			総合理論演習	2	1
			総合実践演習	4	1

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)
⑥	実み	ｶｶ゛ミ　ｼｹ゛ｵ 各務　茂雄 ＜令和２年４月＞	ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	1	株式会社 ドワンゴ ICT サービス 本部 本部長 (平 29.1) カドカワ 株式会社 情報 システム部 部長 (平 30.5) 株式会社 KADOKAWA ICT サービス 局　局長 (平 30.10) 株式会社 KADOKAWA Connected 代表取締役 社長 (平 31.4)
			ビジネスフィールドリサーチⅡ	2	1	
			クラウド	2	1	株式会社 KADOKAWA 執行役員 ICT サービス 局　局長 (平 30.10) 株式会社 KADOKAWA Connected 代表取締役 社長 (平 31.4)

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
25	実み	ｻｶｲ　ﾏｻﾖｼ 境　真良 ＜令和２年４月＞	法務リテラシーⅠ 法務リテラシーⅡ	10 4	5 2

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)
24	実み	ｶｶ゛ミ　ｼｹ゛ｵ 各務　茂雄 ＜平成 32 年４月＞	ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	1	株式会社 ドワンゴ ICT サービス 本部 本部長 (平 29.1) カドカワ 株式会社 情報 システム部 部長 (平 30.5) 株式会社 KADOKAWA ICT サービス 局　局長 (平 30.10) (追記)
			ビジネスフィールドリサーチⅡ	2	1	
			(追加)			カドカワ 株式会社 ICT サービス 本部 本部長 (平 30.5)

調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	担当単位数	年間開講数
25	実み	ｻｶｲ　ﾏｻﾖｼ 境　真良 ＜令和２年４月＞	法務リテラシーⅠ 法務リテラシーⅡ	10 2	5 1

（新旧対照表）実務の経験等を有する専任教員一覧

新	旧
番号 16 調書番号	番号 13 調書番号

⑤ ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｶﾏﾀﾆ　ｵｻﾑ 鎌谷　修 ＜令和２年４月＞ 番号 20 調書番号 ⑥ ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｶｶﾞﾐ　ｼｹﾞｵ 各務　茂雄 ＜令和２年４月＞	15 ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｶﾏﾀﾆ　ｵｻﾑ 鎌谷　修 ＜平成 32 年４月＞ 番号 19 調書番号 24 ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｶｶﾞﾐ　ｼｹﾞｵ 各務　茂雄 ＜平成 32 年４月＞

（改善事項）情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

3. 【全体計画審査意見５の回答について】 ＜アドミッション・ポリシーで求める人材が不明確＞ アドミッション・ポリシーの説明において、①②と③若しくは④の項目に当てはまる者を受け入れる方針とあるが、４つの項目の幾つかに当てはまれば良いのか、それとも、４つ全ての項目に当てはまれば良いのか、明確にすること。

（対応）

アドミッション・ポリシーの説明において、受入方針①～④４つの項目の幾つかに当てはまれば良いのか、それとも、４つ全ての項目に当てはまれば良いのかとのご指摘を踏まえ、アドミッション・ポリシーの説明を明確にするため、説明の一部である「①②と③もしくは④の項目」を「①②③④全ての項目」に修正することとする。なお、アドミッション・ポリシーの説明修正に伴い、「入学者選抜方法とアドミッション・ポリシーとの対応表」と「設置の趣旨等を記載した書類」の整合をはかるため、設置の趣旨等を記載した書類にある一般入試の選抜方法に、「国語・外国語(英語)・数学」の「学力検査」だけでなく、「調査書」による「書類審査」を追加した。

＜アドミッション・ポリシー＞

アドミッション・ポリシーの冒頭文を以下に改める。

本学の教育理念・目的に共感し、以下の①②③④全ての項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

＜一般入試の選抜方法＞

一般入試の選抜方法に関して、より明確にするため、「設置の趣旨等を記載した書類」の「9.入学者選抜の概要」(2) 表 4 及び参考資料 21、一般入試箇所に「書類審査」を加える。

①学力検査

・国語　(国語総合(古文、漢文を除く))

・外国語（コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ）

・数学（出題範囲は数学Ⅰ、数学A）

②書類審査

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（26、65、66 ページ）

新	旧
[26 ページ] ■アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針) 本学の教育理念・目的に共感し、<u>以下の①②③④全</u>	[26 ページ] ■アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針) 本学の教育理念・目的に共感し、<u>以下の項目につい</u>

<table>
<tr>
<td>
ての項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

[65 ページ]
(1)入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)
本学の教育理念・目的に共感し、以下の①②③④全ての項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

[66 ページ]
表 4　◆各選抜方法
<table>
<tr><th>入試種別</th><th>入試名称</th><th>選抜方法</th></tr>
<tr><td>一般入試</td><td>3 教科型入試</td><td>①学力検査
・国語
国語総合（古文、漢文を除く）
・外国語
（コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ）
・数学
（数学Ⅰ、数学A）
②書類審査</td></tr>
</table>
</td>
<td>
て、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

[57 ページ]
(1)入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)
本学の教育理念・目的に共感し、以下の項目について、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

[58 ページ]
表 4　◆各選抜方法
<table>
<tr><th>入試種別</th><th>入試名称</th><th>選抜方法</th></tr>
<tr><td>一般入試</td><td>3 教科型入試</td><td>（追記）
・国語
国語総合（古文、漢文を除く）
・外国語
（コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ）
・数学
（数学Ⅰ、数学A）
（追記）</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　資料 13　養成する人材像と 3 つのポリシー

新	旧
アドミッション・ポリシー 本学の教育理念・目的に共感し、以下の①②③④全ての項目に当てはまる人を受け入れる方針である。	アドミッション・ポリシー 本学の教育理念・目的に共感し、以下の項目について、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　資料 21　入学者選抜試験方法とアドミッション・ポリシーとの対応表

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>
<table>
<tr><td>一般入試</td><td>3 教科型入試</td><td>①学力検査
（削除）
国語総合（古文、漢文を除く）
英語（出題範囲はコミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ）
数学（出題範囲は数学Ⅰ、数学A）
②書類審査</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>（参照）
■アドミッション・ポリシー

本学の教育理念・目的に共感し、以下の①②③④全ての項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</td></tr>
</table>
</td><td>
<table>
<tr><td>一般入試</td><td>3 教科型入試</td><td>（追記）
国語・英語・数学　3 教科受験
国語総合（古文、漢文を除く）
英語（出題範囲はコミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ）
数学（出題範囲は数学Ⅰ、数学A）
（追記）</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td>（参照）
■アドミッション・ポリシー

本学の教育理念・目的に共感し、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

（是正事項）情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

4. 【全体計画審査意見１０の回答について】

＜展開科目の必修・選択の設定が不適切＞

展開科目におけるグローバルコミュニケーション科目群について、学生は必修科目「ビジネス英語Ⅰ～Ⅳ」のみ履修し、選択科目を履修しなくとも外国人と協働して仕事をするための能力を身に付けることができるのか不明確なため、明確にすること。例えば、「実践英語（製造業やファイナンス）」や「英語プレゼンテーション」は養成する人材像を踏まえると、重要な科目であると考えられる。展開科目の必修・選択の履修区分を含め、科目の設定を修正すること。その際にはディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとの整合性についても留意すること。

（対応）

選択科目を履修しなくとも外国人と協働して仕事をするための能力を身に付けることができるのか不明確であるとのご指摘、あわせて、展開科目の必修・選択の履修区分を含め、科目の設定を修正することとのご指摘を踏まえ、審査意見１および２への対応を合わせて、カリキュラムや科目設定について見直すとともに、卒業要件を再設定した。

例示いただいた、「実践英語（製造業やファイナンス）」や「英語プレゼンテーション」は養成する人材像を踏まえると、重要な科目であると考えられるとのご指摘も含め、科目の設定を修正した。具体的には、「実践英語（製造業やファイナンス）」については、経営や情報通信技術などの専門性を深めた具体的なテーマについて英語でコミュニケーションをとるための科目から構成される「実践英語：製造業」「実践英語：ファイナンス」「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」から１科目以上を選択必修科目とした。同様に「英語プレゼンテーション」については、ビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションで構成される「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」から１科目以上を選択必修科目とした。

審査意見１および２への回答と一部重複となるが、展開科目の科目設定について、以下に説明する。

国際的コミュニケーション能力として、文化的背景の異なる人々と協働するために、文化の違いやビジネスのルールなどを身に付ける必要があると考え、ディプロマ・ポリシーで具体的に定めている。なお、ディプロマ・ポリシーには説明のため１）、２）など番号を付す。

１）英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。

２）文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

英語の基本的なスキルについては、基礎科目の「英語コア・スキルズⅠ」「英語コア・スキルズⅡ」で、高校までに習得した英語の 4 技能（聞く・読む・話す・書く）の強化を行うとともに、文法や語彙・構文理解などを習得することとしている。また、展開科目では国際コミュニケーション能力を養成するものとしていることから、1 年次から 2 年次にかけては必修科目として「ビジネス英語実習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を履修し、ビジネスの現場で英語を用いたコミュニケーションを図るために必要となる基本的なルールや知識を習得する。2 年間の「ビジネス英語実習」を通じ、日常会話から始まり、ビジネスの場での説明、討論、意見交換、取引などを円滑に行うなど、英語を用いたコミュニケーションの基礎と文化や産業、ビジネスの現場に関する英語での理解を深める素地を形成し、ビジネスにおける国際的コミュニケーションの基礎を身に付ける。

国際的コミュニケーションの基本的な理解についてビジネス英語実習を通じて行ったうえで、外国人と協働して仕事をするための能力を段階的且つ多角的に身に付けるために、選択必修科目を設定することとする。

選択必修科目については、ビジネス英語実習での基礎を踏まえたうえで、カリキュラム・ポリシーに従い編成する。具体的には、カリキュラム・ポリシーの「英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ」という点から、英語でのアカデミックリテラシーの習得や、ビジネス現場でのルールの理解とスキルを習得すること、ビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションをもとに、英語でのビジネスコミュニケーションが実践できるよう、以下のようにそれぞれ選択必修科目を設定する。

ＣＰ④－１）　英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

・英語でのアカデミックリテラシーの習得やビジネス現場でのルール理解とスキルを習得する。
　「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。

・ビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションをもとに、英語でのビジネスコミュニケーションが実践できる。
　「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。

また、カリキュラム・ポリシーの「文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ」という点からは、文化的背景の異なる人々と協働するために英語で文化への理解を深めること、経営や情報通信技術などの専門的な内容について英語でコミュニケーションをとるため具体的なテーマごとに学習を深めることができるよう、以下のとおりそれぞれ選択必修科目を設定する。

ＣＰ④－２）　文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

・文化的背景の異なる人々と協働するために、英語で文化への理解を深める

「実践英語：多文化理解」「英米文学演習」「実践英語：日本文化」から１科目以上を選択必修科目として履修する。

・経営や情報通信技術などの専門的な内容について英語でコミュニケーションをとるため具体的なテーマごとに学習を深める

「実践英語：製造業」「実践英語：ファイナンス」「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」から１科目以上を選択必修科目として履修する。

外国人と協働して仕事をするための能力を身に付けるためには、文化の違いやビジネスのルールなど理解するとともに実践や実例を通じた学習も必要であると考えている。そのために展開科目についてもディプロマ・ポリシーで示す能力を習得するために、それぞれ選択必修科目を設定し、段階的に学修できるよう、展開科目の必修・選択の履修区分を含め、科目の設定を修正した。

（新旧対照表）教育課程等の概要

新	旧
[3～4 ページ]	[3 ページ]
卒業・修了要件及び履修方法	卒業・修了要件及び履修方法
【卒業要件】 次により必修科目 94 単位、選択科目 34 単位以上、計 128 単位以上を修得すること。 卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。 ・基礎科目 20 単位 －必修 12 単位 選択必修 8 単位 ・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間のうち 2 単位以上 ・数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C のうち 4 単位以上 ・上記 6 単位以上を含む、8 単位以上 ・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む)	【卒業要件】 次により必修科目 94 単位、選択科目 34 単位以上、計 128 単位以上を修得すること。 卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。 基礎科目 20 単位以上 選択科目から 8 単位を履修する。うち、数学基礎 A～C から 4 単位以上を履修する。 職業専門科目 82 単位以上 選択科目から 14 単位を履修する。 展開科目 20 単位以上 選択科目から 12 単位を履修する。 総合科目 6 単位（追記） 実習科目の 40 単位 うち臨地実務実習(インターンシップ) 24 単位を含む

ー必修 68 単位 選択必修 14 単位 ・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論から 2 単位以上 ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビックデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位 ・上記 8 単位以上を含む、14 単位以上 ・展開科目 20 単位 ー必修 8 単位 選択必修 12 単位 ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上 ・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上 ・実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上 ・実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上 ・上記 8 単位以上を含む、12 単位以上 ・総合科目 6 単位（必修） 実習科目の 40 単位 うち臨地実務実習（インターンシップ）24 単	（履修科目の登録の上限： 1 年次 46 単位（年間） 2-4 年次 42 単位（年間））

位を含む （履修科目の登録の上限： 1 年次 46 単位（年間） 2-4 年次 42 単位（年間））	

（新旧対照表）学則　別表 2

新	旧
情報経営イノベーション専門職大学 情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科　卒業要件	情報経営イノベーション専門職大学 情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科　卒業要件

科目区分			卒業単位					
			必修	選択必修①	選択必修②	選択	自由	小計
基礎科目	現代社会基礎		12	6 ※1	2	0	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	8	8 ※4	0	6	0	82
		ビジネス応用	0				0	
		ビジネス実践	42				0	
	情報通信技術	システムデザイン基礎	18				0	
		システムデザイン応用	0				0	
		ネットワークセキュリティ	0				0	
展開科目	グローバルコミュニケーション		8	8 ※3	4	0	0	20
総合科目			6	0	0	0	0	6
合計			94	22	6	6	0	128

※１

・　先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間のうち 2 単位以上

・　数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C のうち 4 単位以上

※２

・　オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論から 2 単位以上

・　アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上

・　ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰ

科目区分			卒業単位					
			必修	(追記)	(追記)	選択	自由	小計
基礎科目	現代社会基礎		12	(追記)	(追記)	8	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	8	(追記)	(追記)	14	0	82
		ビジネス応用	0				0	
		ビジネス実践	42				0	
	情報通信技術	システムデザイン基礎	18				0	
		システムデザイン応用	0				0	
		ネットワークセキュリティ	0				0	
展開科目	グローバルコミュニケーション		8	(追記)	(追記)	12	0	20
総合科目			6	(追記)	(追記)	0	0	6
合計			94	(追記)	(追記)	34	0	128

（追記）

から 2 単位以上 ・　モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位 ※３ ・　英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上 ・　英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上 ・　実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上 ・　実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上 備考 ・実験・実習科目から 40 単位以上を修得すること。 ※臨地実務実習(インターンシップⅠ・Ⅱ）含む ・インターンシップ科目の履修条件として、原則以下の科目の単位を修得していることとする。「マネジメント（経営学基礎)」「マーケティング基礎」「法務リテラシーⅠ」「アカウンティング入門」「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」 「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」「ビジネスフィールドリサーチⅠ」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」 ・総計で、卒業単位を 128 単位以上とする。	備考 ・実験・実習科目から 40 単位以上を修得すること。 ※臨地実務実習(インターンシップⅠ・Ⅱ）含む ・インターンシップ科目の履修条件として、原則以下の科目の単位を修得していることとする。 「マネジメント（経営学基礎)」「マーケティング基礎」「法務リテラシーⅠ」「アカウンティング入門」「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」 「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」「ビジネスフィールドリサーチⅠ」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」 ・総計で、卒業単位を 128 単位以上とする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（39～40、41～47、53～58 ページ）

新	旧
[39～40 ページ] ⑩展開科目「グローバルコミュニケーション」	[39～40 ページ] ⑩展開科目「グローバルコミュニケーション」

（中略） 単に英語の 4 技能を高めるだけではなく、実際の業務や研究の場でのルールを理解したうえでコミュニケーションをとることができるよう「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」を配置した。「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」では、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、交渉力などを身に付ける。また、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを英語を通じて身に付ける科目として、（削除）「実践英語：多文化理解」「英米文学演習」「実践英語：日本文化」を配置した。（削除）さまざまなビジネス分野で英語が活用できるよう、主に 3 年次以降には「実践英語：製造業」「実践英語：ファイナンス」「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」などの専門性の高い英語を実践的に学ぶ。	（中略） 単に英語の 4 技能を高めるだけではなく、（追記）文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを英語を通じて身に付ける科目として、「英語ビジネスマネジメント」「英米文学演習」「実践英語：多文化理解」「英米文学演習」「実践英語：日本文化」を配置した。また、実際の業務や研究の場でのルールを理解したうえでコミュニケーションをとることができるよう「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」を配置した。「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」では、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、交渉力などを身に付ける。また、さまざまなビジネス分野で英語が活用できるよう、主に 3 年次以降には「実践英語：製造業」「実践英語：ファイナンス」「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」などの専門性の高い英語を実践的に学ぶ。
[41～47 ページ] (2)カリキュラムと科目設定について （中略） 養成する人材像で備える能力のうち「国際的コミュニケーション能力」については、以下の CP④－１）～２）のカリキュラム・ポリシーに基づき、必修科目および選択必修科目を設定し、その履修により必要な能力を習得する。 CP④－１）　英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実	[41 ページ] （追記）

習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに、英語でのアカデミックリテラシーの習得やより具体的なビジネスの現場でのルール理解やスキル習得を図るため、「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。また、それらを応用・実践するためにビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションで構成される「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。さらに選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。 CP④－２）　文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに文化的背景の異なる人々と協働するために「実践英語：多文化理解」「実践英語：日本文化」「英米文学演習」から 1 科目以上を選択必修科目として履修し、英語で文化を学ぶ。また、経営や技術などの専門的な内容について英語で応用・実践するために「実践英語：ファイナンス」「実践英語：イノベーション」「実践英語：製造業」「実践英語：IoT」から 1 科目以上を選択必修科目として履修し、具体的なテーマや課題を設定し、文化的背景の異なる人々と協働できるよう実践的に学ぶ。さらに、選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。	

上記の必修科目・選択必修科目以外に、選択必修科目の中から 2 科目以上の履修を行う科目編成とし、上記 CP④－１）～２）に従った履修により、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付け、「国際的コミュニケーション能力」を習得する。 （中略）	
(3)教育課程の不断の見直しについて （中略）	(2)教育課程の不断の見直しについて （省略）
(4)社会貢献、地域と一体化した教育	(3)社会貢献、地域と一体化した教育
[53～58 ページ] (5) 卒業要件 卒業単位数は、基礎科目 20 単位(必修 12 単位、選択必修 8 単位)、職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む必修 68 単位、選択必修 14 単位)、展開科目 20 単位(必修 8 単位、選択必修 12 単位)、総合科目 6 単位(必修)を修得し、合計 128 単位とする。専門職大学の卒業要件である、実験・実習又は実技による授業科目の修得 40 単位は、職業専門科目及び展開科目の必修科目に含まれている。 学長は、本学に 4 年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、情報経営イノベーション学士(専門職)の学位を授与する。	[47～51 ページ] (5) 卒業要件 卒業単位数は、基礎科目 20 単位(必修 12 単位、数学基礎 A～C のうち 4 単位以上、数学基礎 A～C の 4 単位以上を含む 8 単位以上を選択必修)、職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む必修 68 単位（追記）)、展開科目 20 単位(必修 8 単位（追記）)、総合科目 6 単位(必修)を修得し、合計 128 単位とする。専門職大学の卒業要件である、実験・実習又は実技による授業科目の修得 40 単位は、職業専門科目及び展開科目の必修科目に含まれている。 学長は、本学に 4 年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、情報経営イノベーション学士(専門職)の学位を授与する。
卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。 ・基礎科目 20 単位 －必修 12 単位 イノベーションの志、スタディスキル、英語	（追記）

コア・スキルズⅠ、英語コア・スキルズⅡ、リサーチ入門、キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡ 選択必修 8 単位 ・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間から 2 単位以上 ・数学基礎 A～C のうち 4 単位以上 ・上記 6 単位以上を含む、8 単位以上 ・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む) －必修 68 単位 マネジメント（経営学基礎）、マーケティング基礎、法務リテラシーⅠ、アカウンティング入門、 スタートアップ基礎（起業論）、イノベーションプロジェクトⅠ、イノベーションプロジェクトⅡ、イノベーションプロジェクトⅢ、イノベーションプロジェクトⅣ、イノベーションプロジェクトⅤ、イノベーションプロジェクトⅥ、ビジネスフィールドリサーチⅠ、ビジネスフィールドリサーチⅡ、インターンシップⅠ、インターンシップⅡ、 プログラミングⅠ、プログラミングⅡ、データ構造と処理法、コンピュータとソフトウェア基礎、ネットワーク技術、ソフトウェア設計・構築、データベース、情報技術演習Ⅰ、システム設計演習 選択必修 14 単位 ・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論から 2 単位以上 ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演	

習Ⅰから 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位 ・上記 8 単位以上を含む、14 単位以上 ・展開科目 20 単位 －必修 8 単位 ビジネス英語実習Ⅰ、ビジネス英語実習Ⅱ、ビジネス英語実習Ⅲ、ビジネス英語実習Ⅳ 選択必修 12 単位 ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上 ・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上 ・実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上 ・実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上 ・上記 8 単位以上を含む、12 単位以上 ・総合科目 6 単位(必修) 総合理論演習、総合実践演習	
(6) 履修モデル （中略） 上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37 科目を必修科目と（削除）した。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7 科目、職業専門科目 24 科目(うちビジネス基礎科目群の 4 科目、ビジネス実践科目群 11 科目、システムデザイン基礎科目群 9 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目、総合科目 2 科	(6) 履修モデル （中略） 上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37 科目を必修科目と指定した。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7 科目、職業専門科目 24 科目(うちビジネス基礎 4 科目、ビジネス実践 11 科目、システムデザイン基礎 9 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目、総合科目 2 科目である。（追記）これら

目である。あわせて、選択必修科目として 12 科目を設定した。内訳は基礎科目 3 科目、職業専門科目 4 科目(うちビジネス基礎科目群とビジネス応用科目群のうち所定の 2 科目、システムデザイン基礎科目群とシステムデザイン応用科目群のうち所定の 1 科目、ネットワーク・セキュリティ科目群から所定の 1 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目である。これらの科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図している。選択必修科目を設け、それぞれの能力について、基礎となる知識・スキルを習得する科目と、その知識・スキルの応用や実践を行う科目の単位修得を行うことができるよう卒業要件を設定している。そのため履修モデル通りに履修しなかった場合でも、養成する人材像が備える能力を身につけることができ、ディプロマ・ポリシーを実現することができる。	の科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図している。(追記)
さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、必修科目と選択必修科目により適切な履修を可能にするとともに、選択科目については学生の希望する進路の実現にむけた選択方法を履修指導する。その際、履修モデルとして以下を提示して履修指導することでディプロマ・ポリシーに応じた知識・スキルの修得を可能とさせる。	さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、選択科目を多数用意し、学生の希望する進路の実現にむけた履修モデルとして以下の３パターンを展開する。
（中略） また職業専門科目のうち情報通信技術については、1 年次の「オペレーティングシステム」でコンピュータ操作の基本的な技術・理論の成り立ちを学ぶとともに、2 年次の「ネットワーク構築演習Ⅰ」	（中略） 幅広く経営に関する知識や、その知識を応用した課題発見力や解決力、事業の企画・立案や実行に関する実践力を習得するために、経営科目において、2 年次に「マーケティング応用」を通じ実際の企業

や3年次の「クラウド」などを通じ、これらの技術の知識、スキルを習得する。 グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。具体的にはコミュニケーション力については、2 年次の「英語ビジネスマネジメント」、3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」を通じ英語でビジネスを進めるためのルールの理解やスキルの習得及びその実践を行う。また、3 年次の「実践英語：日本文化」を通じ英語で文化への理解を深め、4 年次の「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」を通じて、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するための幅広い英語力を高める。 職業専門科目のうち経営については、幅広く経営に関する知識やその知識を応用した課題発見力や解決力、事業の企画・立案や実行に関する実践力を習得する。2 年次に「アカウンティング応用」を通じ企業の経営状況の分析を深め企業の付加価値を高めるための知識を習得する。あわせて、「マーケティング応用」を通じ実際の企業のマーケティング活動の分析を、「問題形成と問題解決」を通じ問題解決手法をそれぞれ学ぶことで課題発見力・解決力を習得する。3～4年次に情報通信技術を用いたビジネスやサービスの企画・立案に関する実践力を身に付ける「イノベーション特論」「クロステックビジネスデザイン」をそれぞれ履修する。また、これに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する力を習得する。	のマーケティング活動の分析を、「問題形成と問題解決」を通じ問題解決手法をそれぞれ学ぶことで課題発見力・解決力を習得する。3～4年次に情報通信技術を用いたビジネスやサービスの企画、立案に関する実践力を身に付ける「イノベーション特論」「クロステックビジネスデザイン」と、課題発見や解決の手法を高める「デザインと経営」をそれぞれ履修する。 情報通信技術については、（追記）2年次の「モバイルサービス概論」や3年次の「クラウド」などを通じ、これらの技術の基本的な知識、スキルを習得する。 グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。具体的にはコミュニケーション力については、3 年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」を通じ習得する。また2年次の「英語ビジネスマネジメント」、3 年次の「英語通訳論」、4年次の「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」を通じて、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するための英語力を高める。
② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発	② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発

揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデル（資料 12-②-1、12-②-2） （中略） また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科学史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのように寄与してきたかを学び、サービスを開発するための素地を作る。経営科目では「オペレーションズマネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーションの基本的な知識を、「法務リテラシーⅡ」を通じ情報通信技術や知的財産の取り扱いについて応用的な知識を習得する。グローバルコミュニケーションでは、情報通信技術に関する新たな知識、スキルや、国際化が進む中でプロジェクトを推進するために必要な知識を習得する。具体的には 2 年次の「英語アカデミックリテラシー」「英語通訳論」を通じ英語コミュニケーション力を身につける。「英語ネゴシエーション」を通じプロジェクトを進めるうえでの交渉力を習得する。また「実践英語：多文化理解」「実践英語：日本文化」を通じ、文化理解と英語コミュニケーション力を習得する。3 年次の「実践英語：製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを広く習得する。3 年次の「実践英語：製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを習得する。 （中略） 資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサービスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推進する役割を発揮するために、1～2 年次の必修科目を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習得したうえで、2 年次に解析や情報処理の考え方や技法として「情報系数学応用 A」を、プロジェクトの立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システムのプロジェクト管理」を履修する。また、2 年次に「情報セキュリティ演習Ⅰ」を通じ情報セキュリティ全般の知識やスキルの定着を図るとともに、3 年次は	揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデル（資料 12-②-1、12-②-2） （中略） また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科学史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのように寄与してきたかを学び、サービスを開発するための素地を作る。経営科目では「オペレーションズマネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーションの基本的な知識を（追記）習得する。グローバルコミュニケーションでは、情報通信技術に関する新たな知識、スキルや、国際化が進む中でプロジェクトを推進するために必要な知識を習得する。具体的には 2 年次の「英語アカデミックリテラシー」を通じ、情報通信技術に関する新たな知識やスキルを習得するための基本的な英語力を養成するとともに、(追記) 3 年次の「実践英語：製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを習得する。また「実践英語：多文化理解」「英語通訳論」「実践英語：日本文化」を通じ、さまざまな文化や背景を持つ人々との意思疎通を図り、協同していくための知識とコミュニケーション力を習得する。またプロジェクトを進めるうえでの交渉力を「英語ネゴシエーション」を通じ習得する。 （中略） 資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサービスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推進する役割を発揮するために、1～2 年次の必修科目を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習得したうえで、2 年次に解析や情報処理の考え方や技法として「情報系数学応用 A」を、プロジェクトの立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システムのプロジェクト管理」を履修する。（追記） 3 年次は「システムインテグレーション」を通じ、情報通信技術を用いたサービス改善・開発における課題発見

（削除）「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェア開発の概念や改善手法を（削除）習得する。また、技術の発展事例として「ビッグデータ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキルを習得する。（削除）	力・解決力・プロジェクト管理に関する実践力を、「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェア開発の概念や改善手法をそれぞれ習得する。また、技術の発展事例として「ビッグデータ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキルを習得する。また、経営科目から「組織行動論」を履修し、通じプロジェクトなど集団活動でのマネジメント手法や、組織課題の改善をはかるために必要な知識やスキルを習得する。
（中略） 情報通信技術科目では、2年次の「Webシステム演習」（削除）起業してビジネスやサービスを生み出すための知識やスキルを習得するとともに、2年次に「情報セキュリティ演習Ⅰ」を通じ情報セキュリティ全般の知識やスキルの定着を図る。新たなサービスを実現するためのコンセプト実証システムを設計構築する能力を身に付けられるように、「モバイルサービス概論」を履修する。	（中略） 情報通信技術科目では、2年次の「Webシステム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」を通じ、起業してビジネスやサービスを生み出すための知識やスキルを習得する（追記）。
あわせて経営科目では、財務・会計分野の（削除）「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。	あわせて経営科目では、財務・会計分野の「アカウンティング応用」「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。
グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力を習得する。あわせて、2年次の「英語ビジネスマネジメント」を通じ英語でビジネスを進めるための具体的なルールの理解やスキルの習得を深める。また、	グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力を習得する。あわせて、2年次の「英語ビジネスマネジメント」「実践英語：多文化理解」、4年次の「実践英語：ファイナンス」を通じ、経営に関する専門分

2 年次の「実践英語：多文化理解」を通じ英語で文化への理解を深めるとともに、4 年次の「実践英語：ファイナンス」を通じ、経営に関する専門分野への理解と国際社会において幅広く活躍するための英語力を高める。 　また、学んだ技術を生かし提案したサービスを継続できるよう、起業や事業継続に関する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修する。	野への理解と国際社会において活躍するための英語力を高める。 　（追記）

（是正事項）情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

5. 【全体計画審査意見１２の回答について】

＜臨地実習の計画が不適切＞

臨地実務実習について、目的である「イノベーション人材としてのスキルを修得させる」ことが達成できる計画となっているか疑義があるため、以下の２点を明らかにすること。

(1)臨地実務実習施設について、実習先において目的を達成できる実習内容となっているか不明確である。実習先ごとの学生の具体的実習内容と、その実習内容が実施可能である施設の個々の選定理由を明らかにし、臨地実務実習先の教育にふさわしい施設であるかを明らかとすること。また、必要に応じて実習先を改めること。

（対応）

臨地実務実習施設について、熟議を重ね、実習先として選定をしているが、今回、実習先において目的を達成できる実習内容となっているか不明確であるとのご指摘を踏まえ、臨地実務実習先の教育にふさわしい施設であることを、実習先ごとの実習内容、及びその実習内容が実施可能である施設の個々の選定理由についてより詳細に示すことで明らかにした。なお、本学の実習内容等に照らし、改めて学内で再選定をした結果、2 施設については実習先を改めた。

＜「実習先の選定理由」の明確化＞

全実習先の選定基準を以下のとおり明確にし、全実習先の選定基準と到達目標との整合をはかった。

（ア）当該施設の事業内容が、本学の教育内容と共通性がある。

（イ）当該施設の経営理念や方針が、本学の教育の理念や人材養成と合致する。

（ウ）当該施設の業務で実習科目の目的や到達目標に応じた実習が実施可能である。

（エ）実習指導を十分に行えるよう、従業員 10 名以上の施設。

＜「臨地実務実習施設の概要」における「当該施設の選定理由」の明確化＞

実習先ごとの選定理由について、様式第 7 号の 4(その 3)臨地実務実習施設の概要内にある「当該施設の選定理由」を観点毎に以下のとおり明確にした。

・「(ア）当該施設の事業内容が、本学の教育内容と共通性がある。」に関して、当該施設毎の会社概要及び事業内容を具体的に記載し、情報通信技術・経営に関する本学の学びと共通性があることを明確にした。

・「(イ）当該施設の経営理念や方針が、本学の教育の理念や人材養成と合致する。」に関して、当該施設毎の経営理念、ビジョン、もしくは行動指針等を記載し、本学部の目的と合致することを明確にした。

・「(ウ）当該施設の業務で実習科目の目的や到達目標に応じた実習が可能である。」に関して、当該施設毎の業務を具体的に記載し、本学の実習科目の目的や到達目標に応じた実習が実施可能であることを明確にした。

＜実習先の変更＞

実習先である「株式会社 Oneteam」及び「株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー」の 2 社に関しては、再選定の過程で本学の実習内容等に照らして、実習先として以下の施設に変更した。

・株式会社エボラブルアジア

・ファンタステクノロジー株式会社

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（72 ページ）

新	旧
[72 ページ] 10.実習の具体的計画 （中略） (2)インターンシップ(実習)先の選定基準と確保状況等 ①実習先の選定基準 実習の目的を達成するため、受け入れ施設については以下の要件を設定している。 （ア）当該施設の事業内容が、本学の教育内容と共通性がある。 （イ）当該施設の経営理念や方針が、本学の教育の理念や人材養成と合致する。 （ウ）当該施設の業務で実習科目の目的や到達目標に応じた実習が可能である。 （エ）実習指導を十分に行えるよう、従業員 10 名以上の施設。	[64 ページ] 10.実習の具体的計画 （中略） (2)インターンシップ(実習)先の選定基準と確保状況等 ①実習先の選定基準 実習の目的を達成するため、受け入れ施設については以下の要件を設定している。 （ア）インターンシップの到達目標を達成するために必要な作業、体験、課題と実習指導・フォローが可能な施設 （イ）実習指導を十分に行えるよう、従業員 10 名以上の施設 （ウ）教育理念や育成人材像に共感し、ともに育成を目指すことに同意頂いた施設 （追記）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　資料 17　実習巡回計画表

新

◆インターンシップⅠ

期間：6月～7月末日（8週間40日間）

実習施設名	エリア	人数
株式会社ＮＨＫメディアテクノロジー	東京都渋谷区	5
株式会社MapleSystems	東京都中央区	4
株式会社Schoo	東京都渋谷区	5
株式会社ネクストビート	東京都渋谷区	10
株式会社ペライチ	東京都渋谷区	3
株式会社システムコンサルタント	東京都墨田区	10
株式会社浜野製作所	東京都墨田区	4
株式会社ポリグロッツ	東京都新宿区	1
フュージョン株式会社	東京都千代田	4
株式会社アウトソーシングテクノロジー	東京都千代田	15
大日本印刷	東京都新宿区	15
マンパワーグループ株式会社	東京都港区	15
日本サードパーティー	東京都品川区	10
株式会社ゆめみ	東京都世田谷区	10
デロイト　トーマツ　ベンチャーサポート株式会社	東京都千代田区	10
ジョルダン株式会社	東京都新宿区	10
株式会社スターシステム	東京都港区	10
SAP株式会社	東京都千代田区	15
株式会社エボラブルアジア	東京都港区	3
株式会社システムリンク	東京都中央区	5
ファンタステクノロジー株式会社	東京都渋谷区	2
株式会社ウフル	東京都港区	10
三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社	東京都中央区	10
株式会社LEARNie	東京都渋谷区	1
株式会社ハウテレビジョン	東京都渋谷区	3
SHIFT株式会社	東京都港区	10
株式会社SYG	東京都千代田区	10
学内待機者		

旧

◆インターンシップⅠ

期間：6月～7月末日（8週間40日間）

実習施設名	エリア	人数
株式会社ＮＨＫメディアテクノロジー	東京都渋谷区	5
株式会社MapleSystems	東京都中央区	4
株式会社Schoo	東京都渋谷区	5
株式会社ネクストビート	東京都渋谷区	10
株式会社ペライチ	東京都渋谷区	3
株式会社システムコンサルタント	東京都墨田区	10
株式会社浜野製作所	東京都墨田区	4
株式会社ポリグロッツ	東京都新宿区	1
フュージョン株式会社	東京都千代田	4
株式会社アウトソーシングテクノロジー	東京都千代田	15
大日本印刷株式会社	東京都新宿区	15
マンパワーグループ株式会社	東京都港区	15
日本サードパーティー株式会社	東京都品川区	10
株式会社ゆめみ	東京都世田谷区	10
デロイト　トーマツ　ベンチャーサポート株式会社	東京都千代田区	10
ジョルダン株式会社	東京都新宿区	10
株式会社スターシステム	東京都港区	10
SAP株式会社	東京都千代田区	15
株式会社ONE　TEAM	東京都中央区	3
株式会社システムリンク	東京都中央区	5
株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー	東京都千代田区	2
株式会社ウフル	東京都港区	10
三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社	東京都中央区	10
株式会社LEARNie	東京都渋谷区	1
株式会社ハウテレビジョン	東京都渋谷区	3
SHIFT株式会社	東京都港区	10
株式会社SYG	東京都千代田区	10
学内待機者		

◆インターンシップⅡ

期間：10月～11月末日（8週間40日間）

実習施設名	エリア	人数
株式会社ＮＨＫメディアテクノロジー	東京都渋谷区	5
株式会社MapleSystems	東京都中央区	4
株式会社Schoo	東京都渋谷区	5
株式会社ネクストビート	東京都渋谷区	10
株式会社ペライチ	東京都渋谷区	3
株式会社システムコンサルタント	東京都墨田区	10
株式会社浜野製作所	東京都墨田区	4
株式会社ポリグロッツ	東京都新宿区	1
フュージョン株式会社	東京都千代田	4
株式会社アウトソーシングテクノロジー	東京都千代田	15
大日本印刷	東京都新宿区	15
マンパワーグループ株式会社	東京都港区	15
日本サードパーティー	東京都品川区	10
株式会社ゆめみ	東京都世田谷区	10
デロイト　トーマツ　ベンチャーサポート株式会社	東京都千代田区	10
ジョルダン株式会社	東京都新宿区	10
株式会社スターシステム	東京都港区	10
SAP株式会社	東京都千代田区	15
株式会社エポラブルアジア	東京都港区	3
株式会社システムリンク	東京都中央区	5
ファンタステクノロジー株式会社	東京都渋谷区	2
株式会社ウフル	東京都港区	10
三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社	東京都中央区	10
株式会社LEARNie	東京都渋谷区	1
株式会社ハウテレビジョン	東京都渋谷区	3
SHIFT株式会社	東京都港区	10
株式会社SYG	東京都千代田区	10
学内待機者		

◆インターンシップⅡ

期間：10月～11月末日（8週間40日間）

実習施設名	エリア	人数
株式会社ＮＨＫメディアテクノロジー	東京都渋谷区	5
株式会社MapleSystems	東京都中央区	4
株式会社Schoo	東京都渋谷区	5
株式会社ネクストビート	東京都渋谷区	10
株式会社ペライチ	東京都渋谷区	3
株式会社システムコンサルタント	東京都墨田区	10
株式会社浜野製作所	東京都墨田区	4
株式会社ポリグロッツ	東京都新宿区	1
フュージョン株式会社	東京都千代田	4
株式会社アウトソーシングテクノロジー	東京都千代田	15
大日本印刷株式会社	東京都新宿区	15
マンパワーグループ株式会社	東京都港区	15
日本サードパーティー株式会社	東京都品川区	10
株式会社ゆめみ	東京都世田谷区	10
デロイト　トーマツ　ベンチャーサポート株式会社	東京都千代田区	10
ジョルダン株式会社	東京都新宿区	10
株式会社スターシステム	東京都港区	10
SAP株式会社	東京都千代田区	15
株式会社ONE　TEAM	東京都中央区	3
株式会社システムリンク	東京都中央区	5
株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー	東京都千代田区	2
株式会社ウフル	東京都港区	10
三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社	東京都中央区	10
株式会社LEARNie	東京都渋谷区	1
株式会社ハウテレビジョン	東京都渋谷区	3
SHIFT株式会社	東京都港区	10
株式会社SYG	東京都千代田区	10
学内待機者		

（新旧対照表）臨地実務実習施設の確保状況説明書

新

インターンシップⅠ

臨地実務実習施設

施設番号	施設の名称	受入予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数
19	株式会社エボラブルアジア	3 人	320 時間	960 人・時間
21	ファンタステクノロジー株式会社	2 人	320 時間	640 人・時間

インターンシップⅡ

臨地実務実習施設

施設番号	施設の名称	受入予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数
19	株式会社エボラブルアジア	3 人	320 時間	960 人・時間
21	ファンタステクノロジー株式会社	2 人	320 時間	640 人・時間

旧

インターンシップⅠ

臨地実務実習施設

施設番号	施設の名称	受入予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数
19	株式会社 ONE　TEAM	3 人	320 時間	960 人・時間
21	株式会社デジタル・ヒューマン・テクノロジー	2 人	320 時間	640 人・時間

インターンシップⅡ

臨地実務実習施設

施設番号	施設の名称	受入予定学生数	当該施設実習時間数	受入予定学生・時間数
19	株式会社 ONE　TEAM	3 人	320 時間	960 人・時間
21	株式会社デジタル・ヒューマン・テクノロジー	2 人	320 時間	640 人・時間

（新旧対照表）臨地実務実習施設一覧

安全上の観点により、臨地実務実習施設一覧を省略いたします。

（是正事項）情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

(2) 学生が作成する実習日誌とインターンシップノートの関連性が不明確である。また、ルーブリック評価による成績評価と「インターンシップⅠ」及び「インターンシップⅡ」のシラバスにおける成績評価の基準及び方法で示す総合評価に食い違いがあり、どのように成績評価点が付与されるか不明確であるため、改めること。

（対応）

学生が作成する実習日誌とインターンシップノートの関連性が不明確であり、ルーブリック評価による成績評価と「インターンシップⅠ」及び「インターンシップⅡ」のシラバスにおける成績評価の基準及び方法で示す総合評価に食い違いがあるとのご指摘を踏まえ、以下の通り明確にした。

＜実習日誌とインターンシップノートの関連性について＞

上記 2 点については同様のものであり、設置の趣旨等を記載した書類、インターンシップ要綱、シラバス内にある「インターンシップノート」を全て「実習日誌」に変更した。

＜ルーブリック評価による成績評価と「インターンシップⅠ」及び「インターンシップⅡ」のシラバスにおける成績評価の基準及び方法で示す総合評価に食い違いについて＞

各インターンシップのシラバスにある「試験および成績評価の方法と基準」を、設置の趣旨等を記載した書類内にある実習の評価方法・評価基準に反映させ、整合させた。なお、ルーブリック評価については、実習中における実習先指導者からの評価として活用する。

（試験および成績評価の方法と基準）

・事前課題 10%

・インターンシップ中の評価 60%

・事後課題（実習日誌、インターンシップ報告書、報告会でのプレゼンテーション等）30%で総合評価する。

（設置の趣旨等を記載した書類(抜粋)：評価方法）

・評価方法について

評価は、インターンシップ評価基準に基づいて、以下の方法で総合的に判断して評価する。

（ア）実習事前指導における課題内容の評価(目標設定・社会人スキル・実習先事前調査等)

（イ）実習中における実習担当専任教員からの評価(インターンシップの出欠、実習日誌の内容)

（ウ）実習中における実習先指導者からの評価(実習中の評価(下記：ルーブリック評価基準参照)・取り組み姿勢、インターンシップ中に与えられた業務の成果)

（エ）実習事後指導における課題内容の評価(実習日誌の内容、インターンシップ報告会への取り組みや内容でのプレゼンテーション、報告書等)

（新旧対照表）シラバス

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>[専任全科目：63～64 ページ]
[総合科目・実習科目：10～11 ページ]
インターンシップⅠ
３．授業計画
<table><tr><td>事前指導
2日目</td><td>実践スキル（論理的思考・プレゼンテーション技法）</td></tr><tr><td></td><td>実践スキル（実践に必要な専門知識の復習）</td></tr><tr><td></td><td>その他の準備（実習日誌の説明、作成）</td></tr><tr><td></td><td>その他の準備（受け入れ企業の事前調査の実施）</td></tr></table>
４．試験および成績評価の方法と基準
事前課題 10%、インターンシップ中の評価 60%
事後課題（実習日誌、インターンシップ報告書、報告会でのプレゼンテーション等）30%
で総合評価する。</td><td>[専任全科目：63～64 ページ]
[総合科目・実習科目：10～11 ページ]
インターンシップⅠ
３．授業計画
<table><tr><td>事前指導
2日目</td><td>実践スキル（論理的思考・プレゼンテーション技法）</td></tr><tr><td></td><td>実践スキル（実践に必要な専門知識の復習）</td></tr><tr><td></td><td>その他の準備（インターンシップノートの説明、作成）</td></tr><tr><td></td><td>その他の準備（受け入れ企業の事前調査の実施）</td></tr></table>
４．試験および成績評価の方法と基準
事前課題 10%、インターンシップ中の評価 60%
事後課題（インターンシップノート、インターンシップ報告書、報告会でのプレゼンテーション等）30%
で総合評価する。</td></tr>
<tr><td>[専任全科目：65～67 ページ]
[総合科目・実習科目：12～14 ページ]
インターンシップⅡ
３．授業計画
<table><tr><td>事前指導
2日目</td><td>実践スキル（専門的に必要な専門知識の復習）</td></tr><tr><td></td><td>その他の準備（実習日誌の説明、作成）</td></tr><tr><td></td><td>その他の準備（受け入れ企業の事前調査の実施）</td></tr><tr><td></td><td>その他の準備（受け入れ企業からの事前課題への取り組み）</td></tr></table>
４．試験および成績評価の方法と基準
事前課題１０％
インターンシップ中の評価６０％
事後課題（実習日誌、インターンシップ報告書、</td><td>[専任全科目：65～67 ページ]
[総合科目・実習科目：12～14 ページ]
インターンシップⅡ
３．授業計画
<table><tr><td>事前指導
2日目</td><td>実践スキル（専門的に必要な専門知識の復習）</td></tr><tr><td></td><td>その他の準備（インターンシップノートの説明、作成）</td></tr><tr><td></td><td>その他の準備（受け入れ企業の事前調査の実施）</td></tr><tr><td></td><td>その他の準備（受け入れ企業からの事前課題への取り組み）</td></tr></table>
４．試験および成績評価の方法と基準
事前課題１０％
インターンシップ中の評価６０％
事後課題（インターンシップノート、インターン</td></tr>
</table>

報告会でのプレゼンテーション等）３０％ で総合評価する。	シップ報告書、報告会でのプレゼンテーション等）３０％ で総合評価する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（74、76～77、79 ページ）

新	旧
[74 ページ] インターンシップで身に付けた能力を定着させるため、「実習日誌(デジタル)」を作成し、1 日ごとにスケジュール管理、目標、インターンシップ内容、学びの内容や身に付いた能力、反省点、インターンシップ先からのコメント記載欄を用意し、漏れなく管理することで学生は自らの振り返りにするとともに大学としても成績評価の指標とする。 インターンシップ終了後はインターンシップ報告書を別途作成し、実習生だけではなく 1，2 年生や 4 年生も参加可能な全学生の学びの場として報告会を実施する。	[66 ページ] インターンシップで身に付けた能力を定着させるため、「インターンシップノート(デジタル)」を作成し、1 日ごとにスケジュール管理、目標、インターンシップ内容、学びの内容や身に付いた能力、反省点、インターンシップ先からのコメント記載欄を用意し、漏れなく管理することで学生は自らの振り返りにするとともに大学としても成績評価の指標とする。 インターンシップ終了後はインターンシップ報告書を別途作成し、実習生だけではなく 1，2 年生や 4 年生も参加可能な全学生の学びの場として報告会を実施する。
[76～77 ページ] （評価方法・評価基準） ・評価方法について 評価は、インターンシップ評価基準に基づいて、以下の方法で総合的に判断して評価する。 (ア)実習事前指導における課題内容の評価(目標設定・社会人スキル・実習先事前調査等) (イ)実習中における実習担当専任教員からの評価(実習日誌の内容) (ウ)実習中における実習先指導者からの評価(実習中の評価(下記：ルーブリック評価基準参照)・取り組み姿勢、インターンシップ中に与えられた業務の成果) (エ)実習事後指導における課題内容の評価(実習日誌の内容、インターンシップ報告会でのプレゼンテーション、報告書等)	[68～69 ページ] （評価方法・評価基準） ・評価方法について 評価は、インターンシップ評価基準に基づいて、以下の方法で総合的に判断して評価する。 (ア)実習担当専任教員からの評価(インターンシップの出欠、インターンシップノートの内容、報告会への取り組み、インターンシップ報告書) (イ)実習先指導者からの評価(実習中の評価(下記：ルーブリック評価基準参照)・取り組み姿勢、インターンシップ中に与えられた業務の成果) （追記）

[79 ページ] （実習事前指導内容） （中略） (エ)その他の準備 ・実習日誌の説明、作成 ・受け入れ企業の事前調査の実施 ・企業の仕組みを理解し、自らの専門分野や興味関心とどのような繋がりがあるのか理解する ・企業から与えられる事前課題への取り組み （実習事後指導内容） （中略） (イ)言語化と意味づけ ・実習日誌を用いて現場での体験を振り返り、自らの意識と行動の変化を確認する。	[70～71 ページ] （実習事前指導内容） （中略） (エ)その他の準備 ・インターンシップノートの説明、作成 ・受け入れ企業の事前調査の実施 ・企業の仕組みを理解し、自らの専門分野や興味関心とどのような繋がりがあるのか理解する ・企業から与えられる事前課題への取り組み （実習事後指導内容） （中略） (イ)言語化と意味づけ ・インターンシップノートを用いて現場での体験を振り返り、自らの意識と行動の変化を確認する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　資料 18　インターンシップ要綱（4～5 ページ、10 ページ、11～12 ページ）

新	旧
[4～5 ページ] ５）インターンシップ事前・事後指導について （中略） (実習事前指導内容) 1. 動機付け （中略） 4. その他の準備 ・実習日誌の説明、作成 （中略） (実習事後指導内容) （中略） 2. 言語化と意味づけ ・実習日誌を用いて現場での体験を振り返り、自らの意識と行動の変化を確認する。 （中略）	[4～5 ページ] ５）インターンシップ事前・事後指導について （中略） (実習事前指導内容) 1. 動機付け （中略） 4. その他の準備 ・インターンシップノートの説明、作成 （中略） (実習事後指導内容) （中略） 2. 言語化と意味づけ ・インターンシップノートを用いて現場での体験を振り返り、自らの意識と行動の変化を確認する。 （中略）

[10 ページ] ８）インターンシップ中に各学生が行うべきこと。 ・毎週土曜日 17 時までに担当教員へインターンシップ週報を送る。 ・同インターンシップ先メーリングリストに週報を送る。 ※上記は実習日誌に沿って報告すること。 ・体調不良等で欠席する場合、必ず大学へ電話連絡を入れること。 ※自己都合の遅刻欠席については、当日必ず大学に来校すること。	[10 ページ] ８）インターンシップ中に各学生が行うべきこと。 ・毎週土曜日 17 時までに担当教員へインターンシップ週報を送る。 ・同インターンシップ先メーリングリストに週報を送る。 ※上記はインターンシップノートに沿って報告すること。 ・体調不良等で欠席する場合、必ず大学へ電話連絡を入れること。 ※自己都合の遅刻欠席については、当日必ず大学に来校すること。
９）インターンシップ終了後の提出物 □実習日誌 □インターンシップ報告レポート ★提出日・提出方法 インターンシップ終了後 1 週間以内に、デベロップメントセンターへメールにて提出 提出先：○○△△@i-university.ac.jp 題目：学籍番号・氏名・「インターンシップ終了後提出物」	９）インターンシップ終了後の提出物 □インターンシップノート □インターンシップ報告レポート ★提出日・提出方法 インターンシップ終了後 1 週間以内に、デベロップメントセンターへメールにて提出 提出先：○○△△@i-university.ac.jp 題目：学籍番号・氏名・「インターンシップ終了後提出物」
[11～12 ページ] １０）その他：インターンシップの注意事項 （中略） ■成績評価方法 (評価方法・評価基準) ・評価方法について インターンシップ事前課題の内容に加え、①インターンシップの出欠、実習日誌内容、報告会の取り組み、インターンシップ報告レポート②実習中の評価・取り組み姿勢、インターンシップ中に与えられた業務の成果によって、総合的に判断して行います。	[11～12 ページ] １０）その他：インターンシップの注意事項 （中略） ■成績評価方法 (評価方法・評価基準) ・評価方法について インターンシップ事前課題の内容に加え、①インターンシップの出欠、インターンシップノート内容、報告会の取り組み、インターンシップ報告レポート②実習中の評価・取り組み姿勢、インターンシップ中に与えられた業務の成果によって、総合的に判断して行います。

（是正事項）情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

6. 【全体計画審査意見 15 の回答について】
＜専任教員数が設置基準を満たしていない＞
専任教員数について、専門職大学設置基準の規定を満たしていないため、適切に改めること。

（対応）

専任教員数について、本学の必要教員数は 26 名以上であるが、補正申請時では合計 28 名で教員組織の編成を行った。このうち専門職大学設置基準第 36 条第 3 項等の規程に基づく、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」について、「専門職大学設置基準」の認識に誤りがあったため、以下の教員について再度「実務経験を有する専任教員(実専)」として申請し、専任教員数並びに教員組織を改めた。

＜専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)の人数について＞

本学部の種類(経済学部)と一学科(収容定員 800 名)で必要な専任教員数を算出すると、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」は 3 名まで配置することが可能であるが、補正申請時では 6 名の申請をしており、専門職大学設置基準に従い、2 名として再補正申請を行う。

＜実務経験を有する専任教員(実専)について＞

以下で示す 5 名中 4 名の「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」は、「実務経験を有する専任教員(実専)」としてふさわしい実務経験や業績、実務能力を有すると判断した。当該教員 4 名については、本学の定めに基づき、「実務経験を有する専任教員(実専)」としての業務内容、勤務日数も他の専任教員同様の水準で勤務可能であるとの承諾を得た。

本学では、実務家としての豊富な経験や先端的な技術や理論を教育研究に反映するため、「実務経験を有する専任教員(実専)」を多く採用する計画である。特に自ら起業しその事業を継続させている経験や、ビジネスや情報通信技術の先端的な事例などを教育研究に活用していくため、実務を続けながら「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」として従事頂く方の採用も計画していた。「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」候補者は、自ら起業をしている方、特に企業や研究へのコンサルティングやアドバイザーを主とした業務をされている方を配置予定であった。ただし、本学として設置基準の認識に誤りがあり、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」の人数に相違があったことから、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」候補者との相談を進め、現職では本人の裁量によって業務のバランスが取れること、後進の育成に注力したいとの希望もあり、本学を本務とすることとなった。さらに、勤務日数を 2 日から 4 日とする。

具体的な業務としては、当初想定していた、ビジネスの最先端事例や開発中の技術について、本学の教育研究に活用していくことに変わりはなく、授業担当の他、学生からの学習・履修相談対応や実務も踏まえた教育研究活動への参画をする。また、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」の業務内容とし

ない各種委員会・センターでの業務、入学者選抜などの大学運営にも参画する。学生が新たな視点や実務上必要なスキルを習得するために、理論と実践の架橋となる教育研究を継続的に行う。

その他、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」として申請している各務茂雄に関しては、「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」に関する設置基準上の「1 年につき、6 単位以上の授業の担当」に満たさない。そのため、この度の再補正申請において、担当科目を追加し設置基準を満たすことで「専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)」として再補正申請を行う。

・阿部川久広　実み　→　実専
・江端浩人　　実み　→　実専
・乘浜誠二　　実み　→　実専
・松村太郎　　実み　→　実専
・各務茂雄　　実み　→　再度「実み」として申請

これにより、専任教員合計 28 名のうち、実務経験を有する専任教員(実専)を 20 名、このうち、専門職大学設置基準第 36 条第 2 項 1 号 2 号 3 号等いずれかに該当する専任教員を 11 名、さらに実務経験を有する専任教員のうち、専門職大学設置基準第 36 条第 3 項等の規程に基づく、専任教員以外で専任教員とみなすもの(実み)を 2 名とした。

（新旧対照表）教員名簿[教員の氏名等]

新					旧				
調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	調書番号	専任等区分	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
①	実専	ｴﾊﾞﾀ　ﾋﾛﾄ 江端　浩人 ＜令和２年４月＞	事業構想 大学院大学 事業構想 研究科 教授 (平 24.4) エバーパーク合同 会社 代表社員 (平 30.7) 江端浩人 事務所 代表 (平 30.4) 株式会社 スポーツ ニッポン 新聞社 (令元.5)	4 日	22	実み	ｴﾊﾞﾀ　ﾋﾛﾄ 江端　浩人 ＜令和２年４月＞	事業構想 大学院大学 事業構想 研究科 教授 (平 24.4) エバーパーク合同 会社 代表社員 (平 30.7) 江端浩人 事務所 代表 (平 30.4) (追記)	2 日

			エバーパーク合同会社 代表社員 (平30.7) 江端浩人 事務所 代表 (平30.4) 株式会社 スポーツ ニッポン 新聞社 (令元.5)	2日
調書番号	専任等区分	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
②	実専	ｱﾍﾞｶﾜ　ﾋｻﾋﾛ 阿部川　久広 ＜令和2年4月＞	アイティメディア株式会社 シニアヴァイスプレジデント (平21.9) 翻訳学校 フェロー アカデミー 非常勤講師 (平17.4)	4日
			アイティメディア株式会社 シニアヴァイスプレジデント (平21.9)	2日
調書番号	専任等区分	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
③	実専	ﾉﾘﾊﾏ　ｾｲｼﾞ 乗浜　誠二 ＜令和2年4月＞	株式会社ナレッジコンスタント 代表取締役 (平6.5)	4日
			株式会社ナレッジコンスタント 代表取締役 (平6.5)	2日
調書番号	専任等区分	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
④	実専	ﾏﾂﾑﾗ　ﾀﾛｳ 松村　太郎 ＜令和2年4月＞	フォークス株式会社 代表取締役 (平27.4) キャスタリア株式会社 取締役 研究責任者 (平19.10)	4日
			フォークス株式会社 代表取締役 (平27.4) キャスタリア株式会社 取締役 研究責任者 (平19.10)	月4回

			エバーパーク合同会社 代表社員 (平30.7) 江端浩人 事務所 代表 (平30.4) (追記)	3日
調書番号	専任等区分	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
23	実み	ｱﾍﾞｶﾜ　ﾋｻﾋﾛ 阿部川　久広 ＜平成32年4月＞	アイティメディア株式会社 シニアヴァイスプレジデント (平21.9) 翻訳学校 フェロー アカデミー 非常勤講師 (平17.4)	2日
			アイティメディア株式会社 シニアヴァイスプレジデント (平21.9)	3日
調書番号	専任等区分	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
26	実み	ﾉﾘﾊﾏ　ｾｲｼﾞ 乗浜　誠二 ＜平成32年4月＞	株式会社ナレッジコンスタント 代表取締役 (平6.5)	2日
			株式会社ナレッジコンスタント 代表取締役 (平6.5)	3～4日
調書番号	専任等区分	ﾌﾘｶﾞﾅ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	現　職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
27	実み	ﾏﾂﾑﾗ　ﾀﾛｳ 松村　太郎 ＜平成32年4月＞	フォークス株式会社 代表取締役 (平27.4) キャスタリア株式会社 取締役 研究責任者 (平19.10)	2日
			フォークス株式会社 代表取締役 (平27.4) キャスタリア株式会社 取締役 研究責任者 (平19.10)	3日

（新旧対照表）実務の経験等を有する専任教員一覧

新	旧
番号 1 調書番号 ① 専任等区分 実専 ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｴﾊﾞﾀ　ﾋﾛﾄ 江端　浩人 ＜令和２年４月＞ 番号 3 調書番号 ② 専任等区分 実専 ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｱﾍﾞｶﾜ　ﾋｻﾋﾛ 阿部川　久広 ＜令和２年４月＞ 番号 4 調書番号 ③	番号 17 調書番号 22 専任等区分 実み ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｴﾊﾞﾀ　ﾋﾛﾄ 江端　浩人 ＜平成 32 年４月＞ 番号 18 調書番号 23 専任等区分 実み ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｱﾍﾞｶﾜ　ﾋｻﾋﾛ 阿部川　久広 ＜平成 32 年４月＞ 番号 21 調書番号 26

専任等区分 実専 ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ﾉﾘﾊﾏ　ｾｲｼﾞ 乗浜　誠二 ＜令和２年４月＞ 番号 5 調書番号 ④	専任等区分 実み ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ﾉﾘﾊﾏ　ｾｲｼﾞ 乗浜　誠二 ＜平成 32 年４月＞ 番号 22 調書番号 27
専任等区分 実専 ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ﾏﾂﾑﾗ　ﾀﾛｳ 松村　太郎 ＜令和２年４月＞ 番号 20 調書番号 ⑥	専任等区分 実み ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ﾏﾂﾑﾗ　ﾀﾛｳ 松村　太郎 ＜平成 32 年４月＞ 番号 19 調書番号 24
ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｶｶﾞﾐ　ｼｹﾞｵ 各務　茂雄 ＜令和２年４月＞	ﾌﾘｶﾞﾅ・氏名・＜就任(予定)年月＞ ｶｶﾞﾐ　ｼｹﾞｵ 各務　茂雄 ＜平成 32 年４月＞

（是正事項）情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

7. 【全体計画審査意見２０の回答について】
＜学生へのサポート体制が不明確＞
入学生全員が同じＰＣ（文言は説明文と同様）環境で授業を受けられるようあらかじめ大学が手配すると説明があるが、学生へのノートＰＣの故障や盗難といったトラブルのサポート体制が不明確であるため、明らかとすること。例えば、ＰＣが故障し授業に持ち込めなかった学生への保証はどうするのか、また、イノベーションマネジメント局内に担当者を置き、一時的なサポートを行うとあるが、学内担当者のＰＣサポートの専門性が不明確であるため、サポート体制について改めて説明すること。

（対応）
入学生全員が同じＰＣ（文言は説明文と同様）環境で授業を受けられるようあらかじめ大学が手配すると説明があるが、学生へのノートＰＣの故障や盗難といったトラブルのサポート体制が不明確であるため、明らかとすることとのご指摘をいただき、次の通り説明を行う。

＜PC 故障時の保証及び PC とトラブル時のサポート体制＞
本学では要件を満たす PC を大学として手配し、入学生全員が同じ PC 環境で授業を受けられるよう準備する。PC の故障や破損が発生した場合は、購入時に加入した動産保険をもとに、原則無償で修理・交換が可能であるが、修理・交換等のため授業に持ち込めなかった学生を対象に、イノベーションマネジメント局において同環境の貸与用 PC を在籍学生数の 3%程度（開学時 10 台程度、完成年度で 25 台程度）を用意し学生の申請に基づき必要な期間の貸し出しを行うこととしている。盗難の場合も同様に、新たな PC を入手するまでの期間、授業に支障がないように PC を貸し出す。なお、学生には、PC 上だけでなく、大学で契約するクラウドサーバ上などバックアップを取るようその方法も周知し、故障や盗難といったトラブル時でも支障なく授業が受けられるよう指導を行う。

＜イノベーションマネジメント局内担当者＞
イノベーションマネジメント局内には、PC 操作について精通しているだけでなく、Certified Internet Web Professional (CIW)、Cisco Certified Network Associate (CCNA)、symantec SCTA Virus Protection & Integrated Client Security、家電製品総合エンジニア等、PC だけでなくネットワーク、セキュリティに関する資格を持った職員、LMS など本学の学習環境に精通している職員などを複数名配置し、PC 本体のトラブルだけでなく、PC を用いた学習環境全般について教員や学生からの問い合わせに常時対応できるよう、サポート体制を置く。

＜ネットワーク環境等について＞
設置の趣旨等を記載した書類にも記載の通り、本学においては、すべての授業において PC を含めた情報端末を複数使用することが想定されることから、開学時よりネットワーク環境の強化を行う。具体的には、すでにどの大学でも実施が一般的な内容ではあるが、キャンパス内に Wi-Fi 環境を整備し、すべての

学生・教員が授業内外で活動するに十分なインターネット接続を確保する。その際、学生・教員とも複数の機器を活用しシステムやサービスの開発を行うことや、大容量のデータ通信が想定されるため、通常の大学より強固なものを設置する予定である。また、ほぼすべての授業において PC を使用すること、クラウド環境を整備しこれを活用した授業進行を想定していること、学生・教員とも 1 人 1 台ノート PC を持参して授業や課外活動等を展開することから、一度にアクセスが集中しても耐えられるサーバー等の環境を準備する。上記の環境を整備し、全教職員、学生が一斉に使用する場合であっても支障がないよう、電源の数、ネットワーク回線等に十分に配慮するとともに、高度で大容量の作業でもストレス無く実装できるよう環境を整える。なお、PC などの電子機器の利用に必要な電源（コンセント）を 1 教室当たり 60 個以上配置した。配置場所としては壁面だけでなく床面にも配置し、1 カ所に集中しないよう分散を図っており、教室等では、机上での利用に適した配置とする。そのために必要な電源供給設備は用意している。

＜PC について＞

設置の趣旨等を記載した書類にも記載の通り、本学においては、全学生が使用するノート PC については、プログラミング等の基礎的なスキルだけではなく、先端的な情報通信技術を活用したサービスの開発、運用も想定されることから、あらかじめ上記要件を満たす PC を大学として手配し、入学生全員が同じ PC 環境で授業を受けられるよう準備することとした。本学に入学が想定される学生はすでに PC を保有していることが想定されるが、学習やサポートを円滑に進めるため、指定する同一機種の購入を促す。また、セキュリティ面での安全を確保するため、大学でウィルスソフトを指定するとともに、その他必要なソフトウェアのインストールとあわせて、大学入学時のガイダンス等にて支援を行う。PC は 4 年にわたる大学生活全般において使用することが必須となることから、4 年間のサポート契約および動産保険等を付加することを必須とする。PC 購入に関しては、学生募集時や入学案内時に丁寧に説明しご理解をいただくよう努める。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（63～64 ページ）

新	旧
[63～64 ページ] ⑶情報通信技術環境について （中略） 上記スペックの PC を入学生が各自で購入・調達することは難しい可能性が高いことから、あらかじめ上記要件を満たす PC を大学として手配し、入学生全員が同じ PC 環境で授業を受けられるよう準備することとした。なお PC 購入に当たってはマルチドライブなどの周辺機器を合わせて準備する。また、セキュリティ面での安全を確保するため、大学	[55～56 ページ] ⑶情報通信技術環境について （中略） 上記スペックの PC を入学生が各自で購入・調達することは難しい可能性が高いことから、あらかじめ上記要件を満たす PC を大学として手配し、入学生全員が同じ PC 環境で授業を受けられるよう準備することとした。なお PC 購入に当たってはマルチドライブなどの周辺機器を合わせて準備する。また、セキュリティ面での安全を確保するため、大学

でウィルスソフトを指定するとともに、その他必要なソフトウェアのインストールとあわせて、大学入学時のガイダンス等にて支援を行う。PC は 4 年にわたる大学生活全般において使用することが必須となることから、4 年間のサポート契約および動産保険等を付加することを必須とする。PC 購入に関しては、学生募集時や入学案内時に丁寧に説明しご理解をいただくよう努める。 サポート体制については、イノベーションマネジメント局内に担当者を置き、一次的なサポートを行う。故障やメンテナンス等が発生した際には、サポート契約を結ぶ取引先業者にもヘルプデスクとして支援してもらい、問題発生後にすぐ対応できるよう体制を整える。導入時にはオリエンテーションの一環として全学生一律に PC 操作や導入サポートを行う機会を設け、授業開始に支障がないようにする。また、在学中に PC の故障や破損が発生した場合は、購入時に加入した動産保険をもとに、原則無償で修理・交換が可能であるが、修理・交換等のため授業に持ち込めなかった学生を対象に、イノベーションマネジメント局において同環境の貸与用 PC を在籍学生数の 3%程度（開学時 10 台程度、完成年度で 25 台程度）を用意し学生の申請に基づき必要な期間の貸し出しを行うこととしている。また、盗難の場合も同様に、新たな PC を入手するまでの期間、授業に支障がないように PC を貸し出す。なお、学生には、PC 上だけでなく、大学で契約するクラウドサーバ上などバックアップを取るようその方法も周知し、故障や盗難といったトラブル時でも支障なく授業が受けられるよう、指導を行う。 また、イノベーションマネジメント局内には、PC 操作について精通しているだけでなく、Certified Internet Web Professional (CIW)、Cisco Certified Network Associate (CCNA)、symantec SCTA Virus Protection & Integrated Client Security、家電製品総合エンジニア等、PC だけでなくネットワ	でウィルスソフトを指定するとともに、その他必要なソフトウェアのインストールとあわせて、大学入学時のガイダンス等にて支援を行う。PC は 4 年にわたる大学生活全般において使用することが必須となることから、4 年間のサポート契約および動産保険等を付加することを必須とする。（追記） サポート体制については、イノベーションマネジメント局内に担当者を置き、一次的なサポートを行う。故障やメンテナンス等が発生した際には、サポート契約を結ぶ取引先業者にもヘルプデスクとして支援してもらい、問題発生後にすぐ対応できるよう体制を整える。導入時にはオリエンテーションの一環として全学生一律に PC 操作や導入サポートを行う機会を設け、授業開始に支障がないようにする。また、在学中に PC の故障や破損が発生した場合は、購入時に加入した動産保険をもとに、原則無償で修理・交換が可能である（追記）。

ーク、セキュリティに関する資格を持った職員、LMS など本学の学習環境に精通している職員などを複数名配置し、PC 本体のトラブルだけでなく、PC を用いた学習環境全般について教員や学生からの問い合わせに常時対応できるよう、サポート体制を置く。 （中略） なお、PC などの電子機器の利用に必要な電源（コンセント）を 1 教室当たり 60 個以上配置した。配置場所としては壁面だけでなく床面にも配置し、1 カ所に集中しないよう分散を図っており、教室等では、机上での利用に適した配置とする。そのために必要な電源供給設備は用意している。	（中略） 以上、ネットワーク環境、操作支援等において十分なサポートを行うことで教育の充実を図っていく。

【審査意見以外への対応事項】
6 月 29 日の実地審査にて「共同学習の場の充実」についてのご意見を頂いたため、共同学習の場についての説明をするとともに、設置の趣旨等を記載した書類において説明を追記する。

共同学習の場としては、演習室全 10 教室のうち 5 教室の机や椅子をグループワークでの作業等が可能な教室とし（別紙 4：教室レイアウト図）、授業を行っていない教室を活用する予定となっている。自習やゼミ活動でのディスカッションなど授業時間外での学習や、正規科目外のプロジェクト活動を行う場合に活用する。その他、教員の研究室に隣接する研究フリースペースやキャリアセンター等は、オープンな場所であり共同学習の場としても、活用を推進していく。なお、教員や学生の教室利用に関しては、Web 上での予約を可能とし、授業実施以外の時間は原則全ての教室を開放し、共同学習を促進する。完成年度において想定している教室稼働率は平均 35%となっているため、余裕を持って教室を利用することが可能である。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（61～62 ページ）

新	旧
[61～62 ページ] (2)校舎等施設の整備計画 （中略） 施設の内訳としては、講義室 7 室、演習室 10 室、実習室 2 室、研究室 27 室、図書館、学長室、会議室、事務室、医務室、学生自習室 1 室、学生控室を有し講義科目だけではなく演習、実習科目等様々な授業形態に対応可能な施設設備(表 2)を設ける。なお、インターネット活用時の利便性向上のため無線 LAN 環境を整備する。 また、共同学習の場としては、演習室全 10 教室のうち 5 教室の机や椅子をグループワークでの作業等が可能な教室とし（資料 20）、授業を行っていない教室を活用する予定となっている。自習やゼミ活動でのディスカッションなど授業時間外での学習や、正規科目外のプロジェクト活動を行う場合に活用する。その他、教員の研究室に隣接する研究フリースペースやキャリアセンター等は、オープンな場所であり共同学習の場としても、活用を推進していく。なお、教員や学生の教室利用に関しては、Web 上での予約を可能とし、授業実施以外の時間は原則	[53～55 ページ] (2)校舎等施設の整備計画 （中略） 施設の内訳としては、講義室 7 室、演習室 10 室、実習室 2 室、研究室 27 室、図書館、学長室、会議室、事務室、医務室、学生自習室 1 室、学生控室を有し講義科目だけではなく演習、実習科目等様々な授業形態に対応可能な施設設備(表 2)を設ける。なお、インターネット活用時の利便性向上のため無線 LAN 環境を整備する。 （追記）

全ての教室を開放し、共同学習を促進する。 （中略） なお、授業を行う学生数は各授業 40 名以下であり、収容定員 800 名の場合、完成年度で最大 20 クラス分の教室が必要となる。教育課程の特色でもあり校舎外での学びとなる 3 年次の臨地実務実習(インターンシップ)などを勘案すると、同時に 20 クラス分の教室利用は無いため、教室稼働に支障は生じない(資料 15)。なお、完成年度において想定している教室稼働率は平均 35%となっている。	（中略） なお、授業を行う学生数は各授業 40 名以下であり、収容定員 800 名の場合、完成年度で最大 20 クラス分の教室が必要となる。教育課程の特色でもあり校舎外での学びとなる 3 年次の臨地実務実習(インターンシップ)などを勘案すると、同時に 20 クラス分の教室利用は無いため、教室稼働に支障は生じない(資料 15)。（追記）

別紙目次

別紙１：　カリキュラムマップ

別紙２：　カリキュラム構成図

別紙３：カリキュラムマップ新旧対照表

別紙４：教室等レイアウト図

情報経営イノベーション専門職大学　情報経営イノベーション学部　カリキュラムマップ

必修科目…太字・科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

CP①
基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。

1)自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。
2)グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。
3)変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力や数的処理能力などの内容を学ぶ。

CP②
職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。

1)企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。
2)市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。
3)企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。
4)目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。
5)新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」を設置する。

CP③
職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。

1)システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。
2)コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。
3)基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。
4)データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。
5)情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

CP④
展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。

1)英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。
2)文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

CP⑤
総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

		1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
基礎科目	現代社会基礎科目群	●イノベーションの志		●キャリアデザインⅠ			●キャリアデザインⅡ		
		●スタディスキル	●リサーチ入門						
		●英語コア・スキルズⅠ	●英語コア・スキルズⅡ						
		○数学基礎A	○数学基礎B	○職業倫理	○科学史				
			○数学基礎C	○先端グローバル社会	○ICTと人間				
職業専門科目	経営 ビジネス基礎科目群	●マネジメント（経営学基礎）		○オペレーションズマネジメント					
		●マーケティング基礎	●法務リテラシーⅠ						
			●アカウンティング入門						
	経営 ビジネス応用科目				○問題形成と問題解決	○ビジネスゲームによる経営意思決定	○イノベーション特論	デザインと経営	
					○組織行動論	○人的資源管理論		クロステックビジネスデザイン	
				マーケティング応用			地域創生とイノベーション	新興市場における事業開発	
				○アカウンティング応用	○ファイナンス入門		○コーポレートファイナンス		税務会計・会計処理
				○法務リテラシーⅡ					
	経営 ビジネス実践科目群	●イノベーションプロジェクトⅠ	●イノベーションプロジェクトⅡ	●イノベーションプロジェクトⅢ	●イノベーションプロジェクトⅣ	●イノベーションプロジェクトⅤ		●イノベーションプロジェクトⅥ	
			●スタートアップ基礎（起業論）	●ビジネスフィールドリサーチⅠ	●ビジネスフィールドリサーチⅡ	●インターンシップⅠ	●インターンシップⅡ		
	情報通信技術 システムデザイン基礎科目群	●プログラミングⅠ	●プログラミングⅡ	●ソフトウェア設計・構築	●情報技術演習Ⅰ				
		●データ構造と処理法	●ネットワーク技術	●データベース	●システム設計演習				
		●コンピュータとソフトウェア基礎		情報系数学応用A	情報系数学応用B	情報系数学応用C			
		オペレーティングシステム	コンピュータアーキテクチャ	○モバイルサービス概論	○データサイエンス				
	情報通信技術 システムデザイン応用科目				情報システムのプロジェクト管理	情報技術演習Ⅱ	システムインテグレーション		
						ソフトウェアプロセスと品質			
						モデル化と要求開発			
				○Webシステム演習			○クラウド	○スーパーコンピュータ	
				○インタラクティブ・システムデザイン			○ビッグデータ	○AI	
							○IoT		
	情報通信技術 ネットワークセキュリティ科目			○ネットワーク構築Ⅰ	ネットワーク構築Ⅱ	ネットワーク構築Ⅲ			
					○情報セキュリティ演習Ⅰ	情報セキュリティ演習Ⅱ			
展開科目	グローバルコミュニケーション	●ビジネス英語実習Ⅰ	●ビジネス英語実習Ⅱ	●ビジネス英語実習Ⅲ	●ビジネス英語実習Ⅳ				
				○英語アカデミック・リテラシー	○英語ビジネスマネジメント	○英語通訳論	○英語ディスカッション・ディベート	○英語プレゼンテーション	○英語ネゴシエーション
					○実践英語：多文化理解	○実践英語：日本文化		○実践英語：ファイナンス	○実践英語：イノベーション
					○英米文学演習		○実践英語：製造業	○実践英語：IoT	
総合科目							●総合理論演習	●総合実践演習	

DP①　職業的自立を図る能力
1)自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
2)グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
3)変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

DP②　経営に関する知識・スキル
1)企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
2)市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
3)企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
4)新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

DP③　情報通信技術に関する知識・スキル

1)システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
2)コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
3)基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
4)データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
5)情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

DP④国際的コミュニケーション能力
1)英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
2)文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

DP⑤時代の変化に対応するビジネスの総合力
経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

■想定される
　進路・就職先
一般企業
情報通信技術の
開発企業

■養成する人材像

変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材。

情報経営イノベーション専門職大学　情報経営イノベーション学部　カリキュラム構成図（現代社会基礎科目群）

DP①　職業的に自立を図る能力

1）自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
2）グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
3）変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

CP①基礎科目・現代社会基礎科目

生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。

●　＝必修科目
○　＝選択必修科目　枠内から1科目以上を修得する
□　＝選択科目

CP①基礎科目・現代社会基礎科目

	1　年　次	2　年　次	3　年　次	4　年　次
1) ・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。	●イノベーションの志 ●スタディスキル	●キャリアデザインⅠ	●キャリアデザインⅡ キャリア	
2) グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ	●英語コア・スキルズⅠ ●リサーチ入門	●英語コア・スキルズⅡ ○先端グローバル社会 ○職業倫理	○ICTと人間 ○科学史 グローバル	
3) 変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力、数的処理能力などの内容を学ぶ	○数学基礎A ○数学基礎C	○数学基礎B ※数学基礎A~Cより2科目以上修得する	数的論理力	

カリキュラム構成図（ビジネス領域）

DP②　経営に関する知識・スキル

1）企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
2）市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
3）企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
4）新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

CP②職業専門科目のうち経営科目

企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。

- ●＝必修科目
- ○＝選択必修科目　枠内から1科目以上を修得する
- □＝選択科目

CP②職業専門科目のうち経営科目

1）
企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。

2）
市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。

3）
企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。

4）
目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。

5）
新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」を設置する。

	1　年　次	2　年　次	3　年　次	4　年　次
マネジメント・組織	●マネジメント（経営学基礎） ●スタートアップ基礎（起業論）	○オペレーションズマネジメント ○問題形成と問題解決 ○組織行動論	○ビジネスゲームによる経営意思決定 ○人的資源管理論	○イノベーション特論 デザインと経営 クロステックビジネスデザイン
マーケティング・リサーチ	●マーケティング基礎 ●ビジネスフィールドリサーチⅠ	マーケティング応用 ●ビジネスフィールドリサーチⅡ		地域創生とイノベーション 新興市場における事業開発
会計・ファイナンス・法律	●アカウンティング入門 ●法務リテラシーⅠ	○アカウンティング応用 ○ファイナンス入門 ○法務リテラシーⅡ	○コーポレートファイナンス	税務会計・会計処理
実践			●インターンシップⅠ	●インターンシップⅡ
起業教育・実践	●イノベーションプロジェクトⅠ	●イノベーションプロジェクトⅡ ●イノベーションプロジェクトⅢ ●イノベーションプロジェクトⅣ	●イノベーションプロジェクトⅤ	●イノベーションプロジェクトⅥ

カリキュラム構成図（情報通信技術領域）

DP③　情報通信技術に関する知識・スキル

1）システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
2）コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
3）基本なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
4）データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
5）情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

CP③職業専門科目のうち情報通信技術科目

情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。

- ●　＝必修科目
- ○　＝選択必修科目　枠内から1科目以上を修得する
- ＝選択科目

CP③職業専門科目のうち情報通信技術科目

1）
システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。

2）
コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。

3）
基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。

4）
データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。

5）
情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

	1　年　次	2　年　次	3　年　次	4　年　次
	●プログラミングⅠ ●コンピュータとソフトウェア基礎 ●データ構造と処理法	●プログラミングⅡ ●ネットワーク技術	●ソフトウェア設計・構築 ●データベース	●システム設計演習 ●情報技術演習Ⅰ
システム開発・設計	●プログラミングⅠ ●コンピュータとソフトウェア基礎	●プログラミングⅡ コンピュータアーキテクチャ	●ソフトウェア設計・構築	●システム設計演習 ●情報技術演習Ⅰ 情報システムのプロジェクト管理
システム開発・設計			ソフトウェアプロセスと品質 情報技術演習Ⅱ	システムインテグレーション
ソフトウェア構築	●プログラミングⅠ ●コンピュータとソフトウェア基礎 オペレーティングシステム	●プログラミングⅡ	●ソフトウェア設計・構築 情報系数学応用A	情報系数学応用B
ソフトウェア構築			モデル化と要求開発 情報系数学応用C	
ネットワーク・セキュリティ	●ネットワーク技術	○ネットワーク構築Ⅰ	○情報セキュリティ演習Ⅰ ネットワーク構築Ⅱ	情報セキュリティ演習Ⅱ ネットワーク構築Ⅲ
データベース	●データ構造と処理法	●データベース	●情報技術演習Ⅰ	情報技術演習Ⅱ
応用	○モバイルサービス概論 ○ Webシステム演習 ○インタラクティブ・システムデザイン	○データサイエンス	○クラウド ○ビックデータ ○ IoT	○スーパーコンピュータ ○ AI

＊　左記の科目は、「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できる」科目であり、CP③-１）～４）のそれぞれで示す科目構成の中で再掲する。

＊　CP③-１）～４）で習得した能力を基に、情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

カリキュラム構成図（グローバルコミュニケーション領域）

DP④国際的コミュニケーション能力

1） 英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。

2） 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

CP④展開科目・グローバルコミュニケーション科目

文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。

- ● ＝必修科目
- ○ ＝選択必修科目 枠内から1科目以上を修得する
- ＝選択科目

CP④展開科目・グローバルコミュニケーション科目

	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
1）英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。	●ビジネス英語実習Ⅰ ●ビジネス英語実習Ⅱ	●ビジネス英語実習Ⅲ ●ビジネス英語実習Ⅳ		
◆ルール（ビジネス・アカデミック）の理解とスキル 英語でビジネスを進めるためのルール理解、スキル習得		○英語アカデミックリテラシー ○英語ビジネスマネジメント	○英語通訳論	
◆ルール（ビジネスコミュニケーション）の理解と実践 英語でビジネスコミュニケーションを行うためのルール理解と実践				○英語ディスカッション・ディベート ○英語プレゼンテーション ○英語ネゴシエーション
2）文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ ◆文化の理解 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語で文化を学ぶ。		○実践英語：多文化理解 ○実践英語：日本文化 ○英米文学演習		
◆実践英語（ビジネス、ICT） 経営や技術などの専門的な内容について、英語でコミュニケーションをとることができるよう、具体的なテーマごとに学ぶ。			○実践英語：製造業 ○実践英語：IoT	○実践英語：ファイナンス ○実践英語：イノベーション

カリキュラム構成図（総合科目）

DP⑤　時代の変化に対応するビジネスの総合力

１）経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

CP⑤総合科目

理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

●　＝必修科目

○　＝選択必修科目
枠内から1科目以上を修得する

＝選択科目

CP⑤　総合科目

・経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

１　年　次	２　年　次	３　年　次	４　年　次
		●総合理論演習	●総合実践演習

情報経営イノベーション専門職大学　情報経営イノベーション学部　カリキュラムマップ

必修科目…太字・科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

CP①
基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。

1)自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。
2)グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。
3)変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力や数的処理能力などの内容を学ぶ。

CP②
職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。

1)企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。
2)市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。
3)企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。
4)目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。
5)新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」を設置する。

CP③
職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。

1)システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。
2)コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。
3)基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。
4)データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。
5)情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

CP④
展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。

1)英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。
2)文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

CP⑤
総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目	現代社会基礎科目群		**●イノベーションの志**		**●キャリアデザインⅠ**			**●キャリアデザインⅡ**		
			●スタディスキル	**●リサーチ入門**						
			●英語コア・スキルズⅠ	**●英語コア・スキルズⅡ**						
			○数学基礎A	○数学基礎B	○職業倫理	○科学史				
				○数学基礎C	○先端グローバル社会	○ICTと人間				
職業専門科目	経営	ビジネス基礎科目群	**●マネジメント(経営学基礎)**		○オペレーションズマネジメント					
			●マーケティング基礎	**●法務リテラシーⅠ**						
				●アカウンティング入門						
		ビジネス応用科目				○問題形成と問題解決	○ビジネスゲームによる経営意思決定	○イノベーション特論	デザインと経営	
						○組織行動論	○人的資源管理論		クロステックビジネスデザイン	
					マーケティング応用			地域創生とイノベーション	新興市場における事業開発	
					○アカウンティング応用	○ファイナンス入門		○コーポレートファイナンス		税務会計・会計処理
					○法務リテラシーⅡ					
		ビジネス実践科目群	**●イノベーションプロジェクトⅠ**	**●イノベーションプロジェクトⅡ**	**●イノベーションプロジェクトⅢ**	**●イノベーションプロジェクトⅣ**	**●イノベーションプロジェクトⅤ**		**●イノベーションプロジェクトⅥ**	
				●スタートアップ基礎(起業論)	**●ビジネスフィールドリサーチⅠ**	**●ビジネスフィールドリサーチⅡ**	**●インターンシップⅠ**	**●インターンシップⅡ**		
	情報通信技術	システムデザイン基礎科目群	**●プログラミングⅠ**	**●プログラミングⅡ**	**●ソフトウェア設計・構築**	**●情報技術演習Ⅰ**				
			●データ構造と処理法	**●ネットワーク技術**	**●データベース**	**●システム設計演習**				
			●コンピュータとソフトウェア基礎		情報系数学応用A	情報系数学応用B	情報系数学応用C			
			オペレーティングシステム	コンピュータアーキテクチャ	○モバイルサービス概論	○データサイエンス				
		システムデザイン応用科目				情報システムのプロジェクト管理	情報技術演習Ⅱ	システムインテグレーション		
							ソフトウェアプロセスと品質			
							モデル化と要求開発			
					○Webシステム演習			○クラウド	○スーパーコンピュータ	
					○インタラクティブ・システムデザイン			○ビッグデータ	○AI	
								○IoT		
		ネットワーク・セキュリティ科目			○ネットワーク構築Ⅰ	ネットワーク構築Ⅱ	ネットワーク構築Ⅲ			
						○情報セキュリティ演習Ⅰ	情報セキュリティ演習Ⅱ			
展開科目	グローバルコミュニケーション		**●ビジネス英語実習Ⅰ**	**●ビジネス英語実習Ⅱ**	**●ビジネス英語実習Ⅲ**	**●ビジネス英語実習Ⅳ**				
					○英語アカデミック・リテラシー	○英語ビジネスマネジメント	○英語通訳論	○英語ディスカッション・ディベート	○英語プレゼンテーション	○英語ネゴシエーション
						○実践英語：多文化理解	○実践英語：日本文化		○実践英語：ファイナンス	○実践英語：イノベーション
						○英米文学演習		○実践英語：製造業	○実践英語：IoT	
総合科目								**●総合理論演習**	**●総合実践演習**	

DP①　職業的自立を図る能力
1)自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
2)グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
3)変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

DP②　経営に関する知識・スキル
1)企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
2)市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
3)企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
4)新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

DP③　情報通信技術に関する知識・スキル

1)システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
2)コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
3)基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
4)データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
5)情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

DP④国際的コミュニケーション能力
1)英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
2)文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

DP⑤時代の変化に対応するビジネスの総合力
経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

■想定される
進路・就職先
一般企業
情報通信技術の
開発企業

■養成する人材像

変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材。

新

情報経営イノベーション専門職大学　情報経営イノベーション学部　カリキュラムマップ

必修科目は下線

【卒業要件】 必修科目94単位、選択科目34単位以上、計128単位を習得すること。
基礎科目　20単位以上
選択科目から8単位を履修する。うち、数学基礎A～Cから4単位以上を履修する。
職業専門科目　82単位以上　選択科目から14単位を履修する。
展開科目　20単位以上　選択科目から12単位を履修する。
総合科目　6単位
履修科目の登録の上限：1年次46単位（年間）、2-4年次42単位（年間）

CP①
基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業の自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。
・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。
・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。
・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、職業倫理や数学などの内容を学ぶ。

CP②
職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。
・企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。
・市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。
・企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。
・目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。
・新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通した必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」を設置する。

CP③
職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。
・システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。
・コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。
・基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。
・データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。
・情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

CP④
展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。
・英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。
・文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

CP⑤
総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

			1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
基礎科目	現代社会基礎科目群		**イノベーションの志**		**キャリアデザインⅠ**			**キャリアデザインⅡ**		
			スタディスキル	**リサーチ入門**						
			英語コア・スキルズⅠ	**英語コア・スキルズⅡ**						
			数学基礎A	数学基礎B	職業倫理	科学史				
				数学基礎C	先端グローバル社会	ICTと人間				
職業専門科目	経営	ビジネス基礎科目群	**マネジメント（経営学基礎）**		オペレーションズマネジメント					
			マーケティング基礎	**法務リテラシーⅠ**						
				アカウンティング入門						
		ビジネス応用科目			マーケティング応用			地域創生とイノベーション	新興市場における事業開発	
					アカウンティング応用	ファイナンス入門		コーポレートファイナンス		税務会計・会計処理
					法務リテラシーⅡ			イノベーション特論	クロステックビジネスデザイン	
						問題形成と問題解決	ビジネスゲームによる経営意思決定		デザインと経営	
						組織行動論	人的資源管理論			
		ビジネス実践科目群	**イノベーションプロジェクトⅠ**	**イノベーションプロジェクトⅡ**	**イノベーションプロジェクトⅢ**	**イノベーションプロジェクトⅣ**	**イノベーションプロジェクトⅤ**		**イノベーションプロジェクトⅥ**	
				スタートアップ基礎（起業論）	**ビジネスフィールドリサーチⅠ**	**ビジネスフィールドリサーチⅡ**	**インターンシップⅠ**	**インターンシップⅡ**		
	情報通信技術	システムデザイン基礎科目群	**プログラミングⅠ**	**プログラミングⅡ**	**ソフトウェア設計・構築**	**情報技術演習Ⅰ**				
			データ構造と処理法	**ネットワーク技術**	**データベース**	**システム設計演習**				
			コンピュータとソフトウェア基礎		情報系数学応用A	情報系数学応用B	情報系数学応用C			
			オペレーティングシステム	コンピュータアーキテクチャ	モバイルサービス概論	データサイエンス				
		システムデザイン応用科目			Webシステム演習		情報技術演習Ⅱ			
					インタラクティブ・システムデザイン		ソフトウェアプロセスと品質	システムインテグレーション		
						情報システムのプロジェクト管理	モデル化と要求開発	クラウド	スーパーコンピュータ	
								ビッグデータ	AI	
								IoT		
		ネットワーク・セキュリティ科目			ネットワーク構築Ⅰ	ネットワーク構築Ⅱ	ネットワーク構築Ⅲ			
						情報セキュリティ演習Ⅰ	情報セキュリティ演習Ⅱ			
展開科目	グローバルコミュニケーション		**ビジネス英語実習Ⅰ**	**ビジネス英語実習Ⅱ**	**ビジネス英語実習Ⅲ**	**ビジネス英語実習Ⅳ**				
					英語アカデミック・リテラシー	英語ビジネスマネジメント	英語通訳論	英語ディスカッション・ディベート	英語プレゼンテーション	英語ネゴシエーション
						実践英語：多文化理解	実践英語：日本文化		実践英語：ファイナンス	実践英語：イノベーション
						英米文学演習		実践英語：製造業	実践英語：IoT	
総合科目								**総合理論演習**	**総合実践演習**	

DP①　職業的自立を図る能力
・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

DP②　経営に関する知識・スキル
・企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
・市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
・企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
・新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

DP③　情報通信技術に関する知識・スキル
・システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
・コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
・基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
・データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
・情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

DP④国際的コミュニケーション能力
・英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
・文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

DP⑤時代の変化に対応するビジネスの総合力
・経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

■想定される
進路・就職先
一般企業
情報通信技術の開発企業
起業

■養成する人材像
変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献

裏

別紙４

※ 安全上の観点により図面は省略いたします。
①教室等レイアウト図
　　2F 研究フリースペース
　　演習室（共同学習、アクティブラーニング等）例